

「大学等における学生支援の取組状況に関する調査(平成27年度)」
集計報告(単純集計)

平成 29 年 2 月
独立行政法人 日本学生支援機構

このたび、大学、短期大学、高等専門学校における学生支援の取組状況について調査を行い、その結果をまとめました。調査結果は次のとおりです。

【調査の概要】

1. 目的

大学、短期大学、高等専門学校における学生支援の取組状況について調査し、学生支援に関するニーズを把握する。

2. 対象校

全国の各大学、短期大学及び高等専門学校 1, 176 校

3. 調査方法

当機構ホームページ上にダウンロード用の回答票 (Excel ファイル) を掲載し、同ホームページ上の送信フォームより回答を受け付けた。

4. 調査時期

2015 (平成 27) 年 8 月 1 日 (隔年調査)

5. 回答校数

1,131 校 (総回収率 96.2%)

区分	対象校数	回答校数	回収率
大学	779	754	96.8%
国立	86	85	98.8%
公立	86	83	96.5%
私立	607	586	96.5%
短期大学	340	322	94.7%
公立	17	17	100.0%
私立	323	305	94.4%
高等専門学校	57	55	96.5%
国立	51	49	96.1%
公立	3	3	100.0%
私立	3	3	100.0%
総計	1,176	1,131	96.2%

※「大学」には大学院大学、「短期大学」には短期大学部も含む。

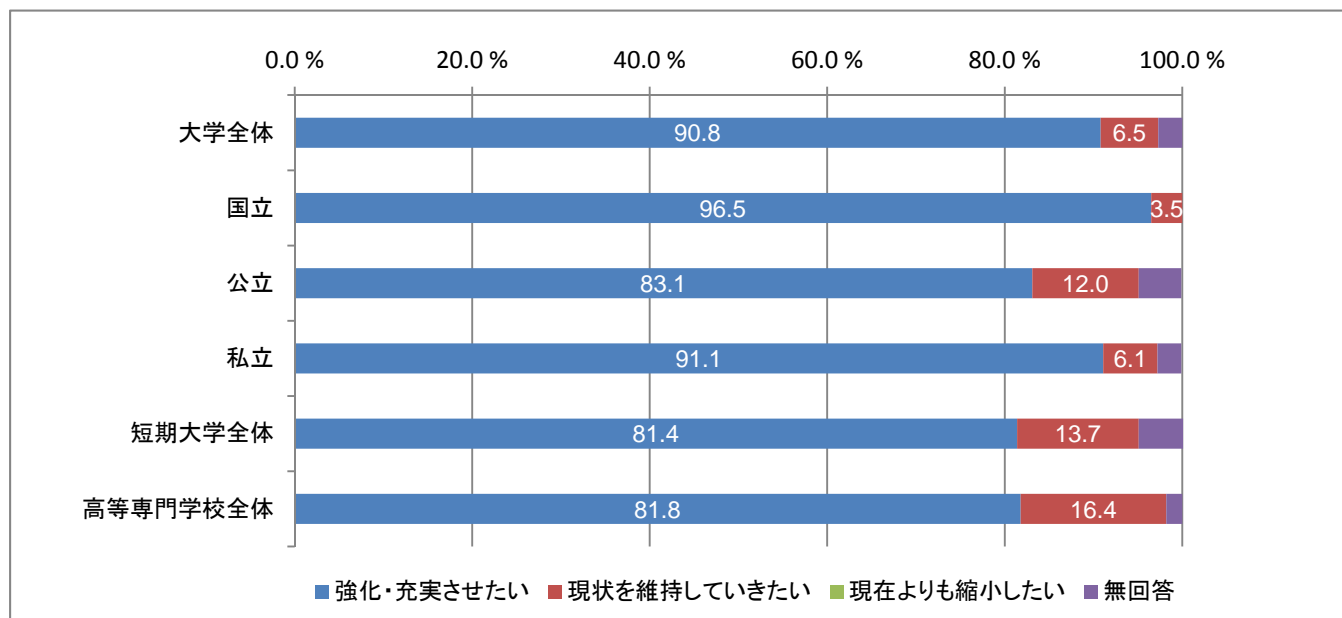
6. 調査内容

- I 学長等の認識 (P3～P14)
- II 学生支援に関する組織等 (P15～P22)
- III キャリア教育・就職支援 (P23～P36)
- IV 生活支援 (P37～P50)
- V 課外活動支援／ピア・サポート／ボランティア (P51～P63)
- VI 学生相談 (P64～P82)
- VII 成績不振学生・不登校学生等 (P83～P89)

I 学長等の認識

学生支援の取組全般に関する各学校の方針

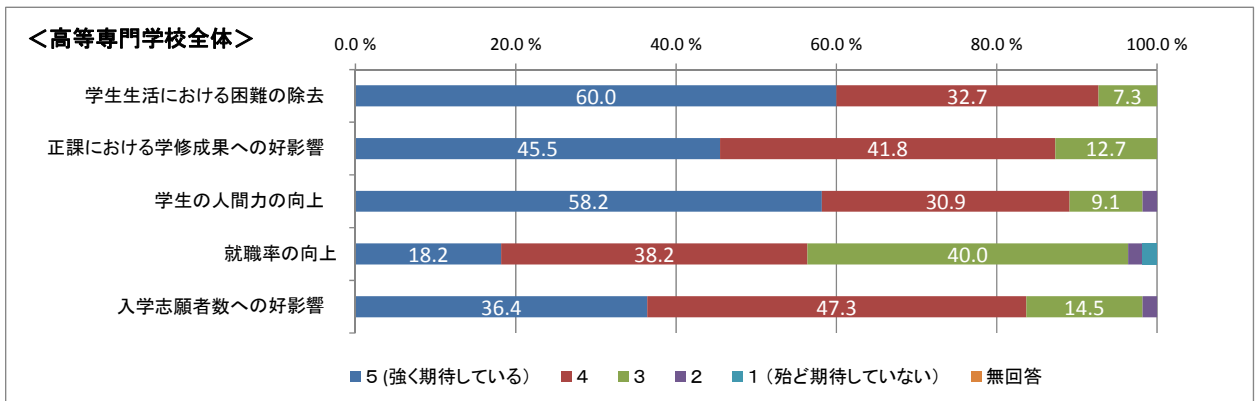
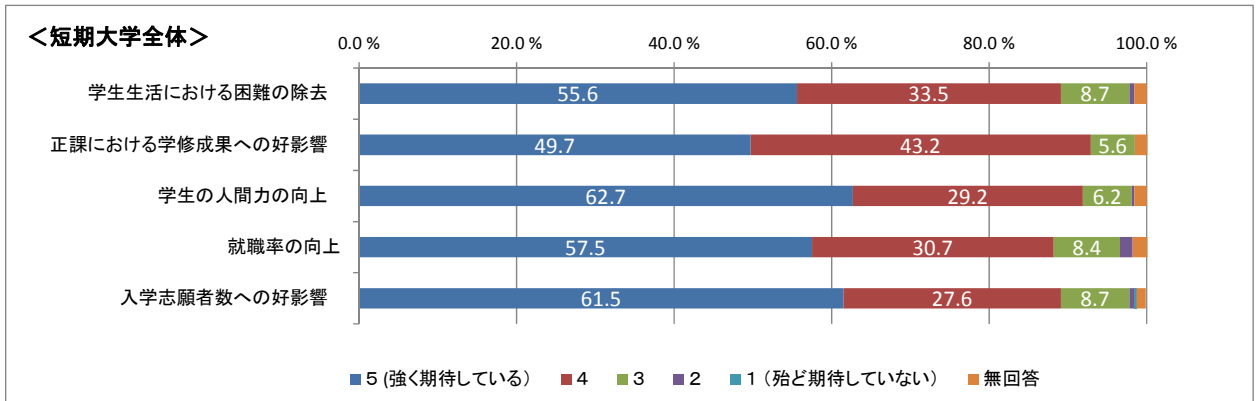
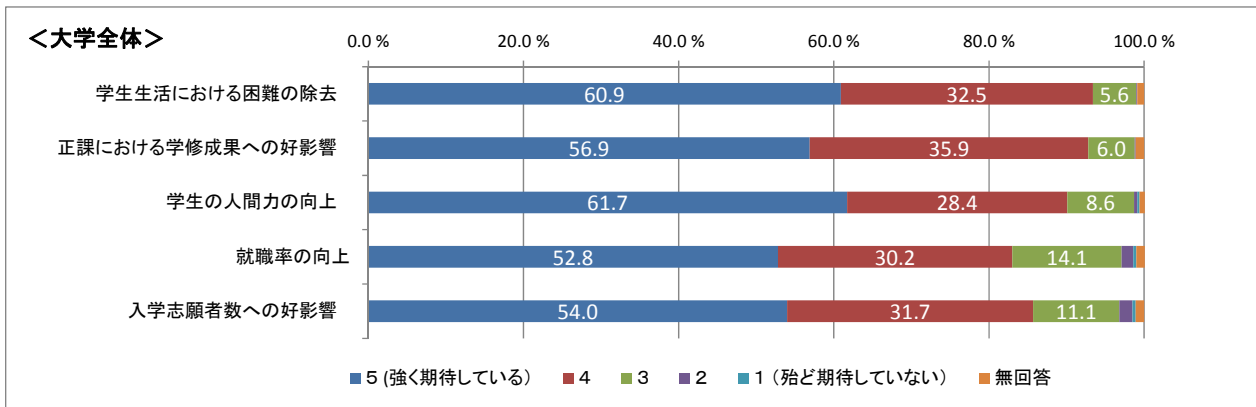
学生支援の取組全般に関する各学校の方針について、8割以上の学校が「強化・充実させたい」と回答している。



		強化・充実させたい	現状を維持していきたい	現在よりも縮小したい	無回答
大学 全体		90.8	6.5	0.0	2.7
	国立	96.5	3.5	0.0	0.0
	公立	83.1	12.0	0.0	4.8
	私立	91.1	6.1	0.0	2.7
短期大学 全体		81.4	13.7	0.0	5.0
高等専門学校 全体		81.8	16.4	0.0	1.8

学生支援の成果として期待すること

学生支援の成果として期待することについて、5(強く期待している)と4(期待している)の回答率の合計が最も多かったのは、大学全体では、「学生生活における困難の除去」93.4%、短期大学(以下本文中において「短大」という)全体では、「正課における学修成果への好影響」92.9%であり、その他のいずれの項目も約8割以上であった。高等専門学校(以下本文中において「高専」という)全体では、「学生生活における困難の除去」92.7%であり、「就職率の向上」56.4%を除いて、いずれも8割以上であった。



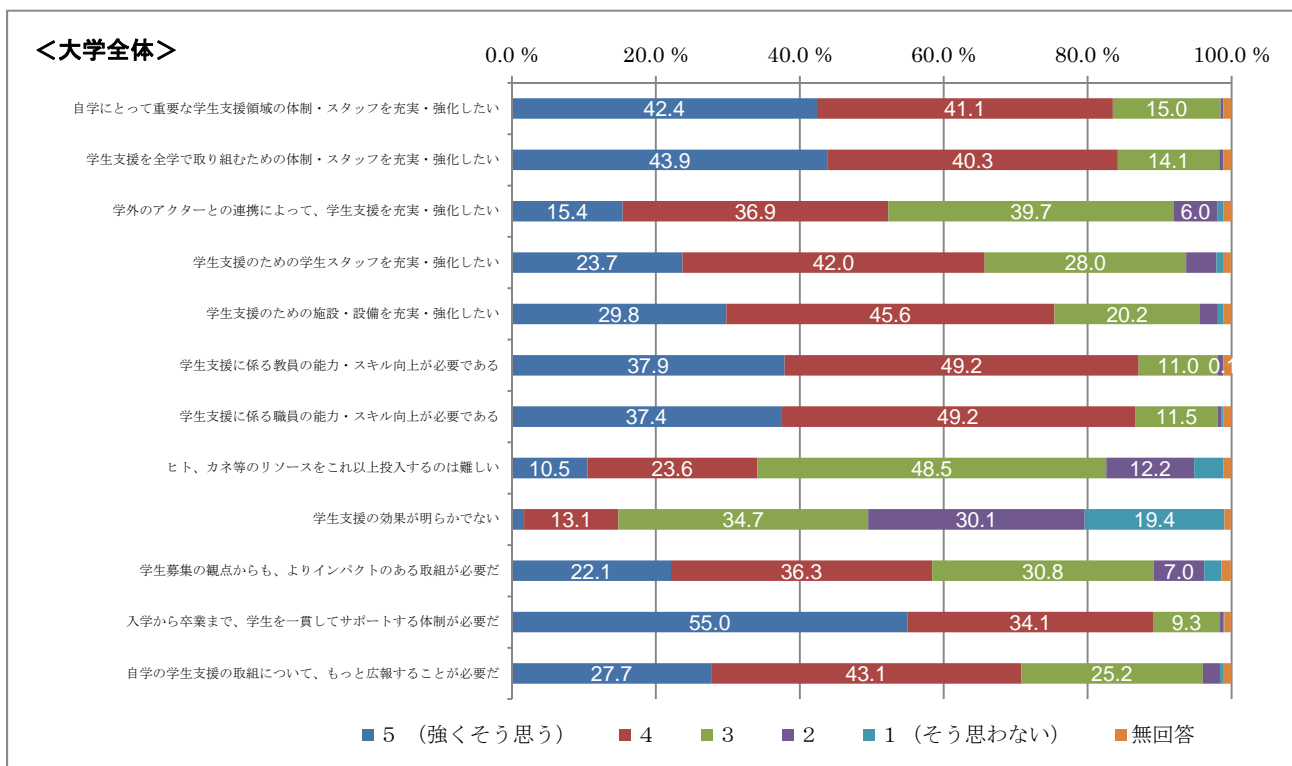
		5 (強く期待している)	4	3	2	1 (殆ど期待していない)	無回答	
難学生 の除去 生活に おける 困	大学 全体	60.9	32.5	5.6	0.1	0.0	0.9	
		国立	71.8	27.1	1.2	0.0	0.0	0.0
		公立	55.4	39.8	3.6	0.0	0.0	1.2
		私立	60.1	32.3	6.5	0.2	0.0	1.0
	短期大学 全体	55.6	33.5	8.7	0.6	0.0	1.6	
	高等専門学校 全体	60.0	32.7	7.3	0.0	0.0	0.0	
果正課 への好 影響 おける 学修 成	大学 全体	56.9	35.9	6.0	0.1	0.0	1.1	
		国立	54.1	38.8	7.1	0.0	0.0	0.0
		公立	43.4	48.2	7.2	0.0	0.0	1.2
		私立	59.2	33.8	5.6	0.2	0.0	1.2
	短期大学 全体	49.7	43.2	5.6	0.0	0.0	1.6	
	高等専門学校 全体	45.5	41.8	12.7	0.0	0.0	0.0	
学生 の人間 力の向 上	大学 全体	61.7	28.4	8.6	0.4	0.3	0.7	
		国立	55.3	29.4	14.1	0.0	1.2	0.0
		公立	50.6	34.9	12.0	0.0	1.2	1.2
		私立	64.2	27.3	7.3	0.5	0.0	0.7
	短期大学 全体	62.7	29.2	6.2	0.3	0.0	1.6	
	高等専門学校 全体	58.2	30.9	9.1	1.8	0.0	0.0	
就職 率の向 上	大学 全体	52.8	30.2	14.1	1.5	0.4	1.1	
		国立	57.6	29.4	10.6	2.4	0.0	0.0
		公立	43.4	25.3	27.7	1.2	1.2	1.2
		私立	53.4	31.1	12.6	1.4	0.3	1.2
	短期大学 全体	57.5	30.7	8.4	1.6	0.0	1.9	
	高等専門学校 全体	18.2	38.2	40.0	1.8	1.8	0.0	
影響 入学 志願者 数への 好	大学 全体	54.0	31.7	11.1	1.7	0.4	1.1	
		国立	44.7	40.0	11.8	3.5	0.0	0.0
		公立	41.0	32.5	20.5	3.6	1.2	1.2
		私立	57.2	30.4	9.7	1.2	0.3	1.2
	短期大学 全体	61.5	27.6	8.7	0.6	0.3	1.2	
	高等専門学校 全体	36.4	47.3	14.5	1.8	0.0	0.0	

学生支援を進めるための方策や課題

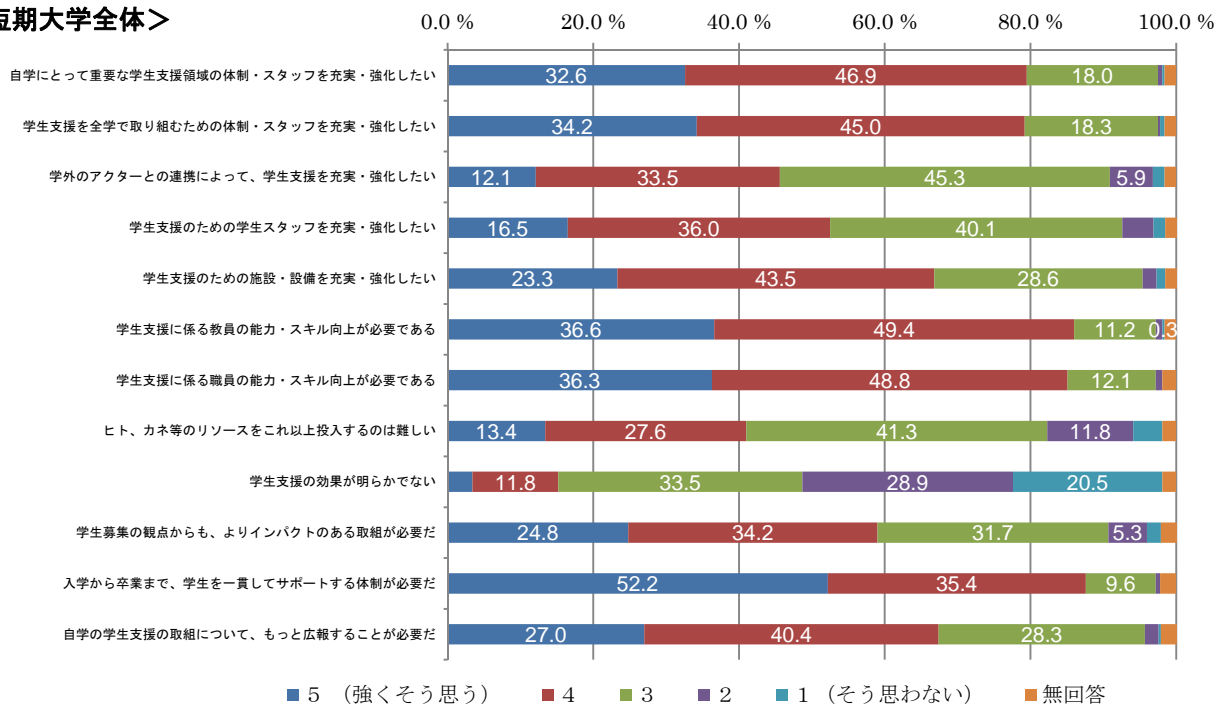
学生支援を進めるための方策や課題について、5(強く思う)と4(そう思う)を合わせた回答率をみると、全ての学校種に共通して「入学から卒業まで、学生を一貫してサポートする体制が必要だ」「学生支援に係る教員の能力・スキル向上が必要である」「学生支援に係る職員の能力・スキル向上が必要である」の割合が大きい。高専全体では、「ヒト、カネ等のリソースをこれ以上投入するのは難しい」が他の学校種に比べて大きな割合となっている。

「学生募集の観点からも、インパクトのある取組が必要だ」と回答した中で、どのような取組を構想(想定)しているか、に対する自由記述の回答としては、奨学金、授業料の減免、キャリア支援・インターンシップの充実、入学前教育、修学・学習支援の強化等があった。

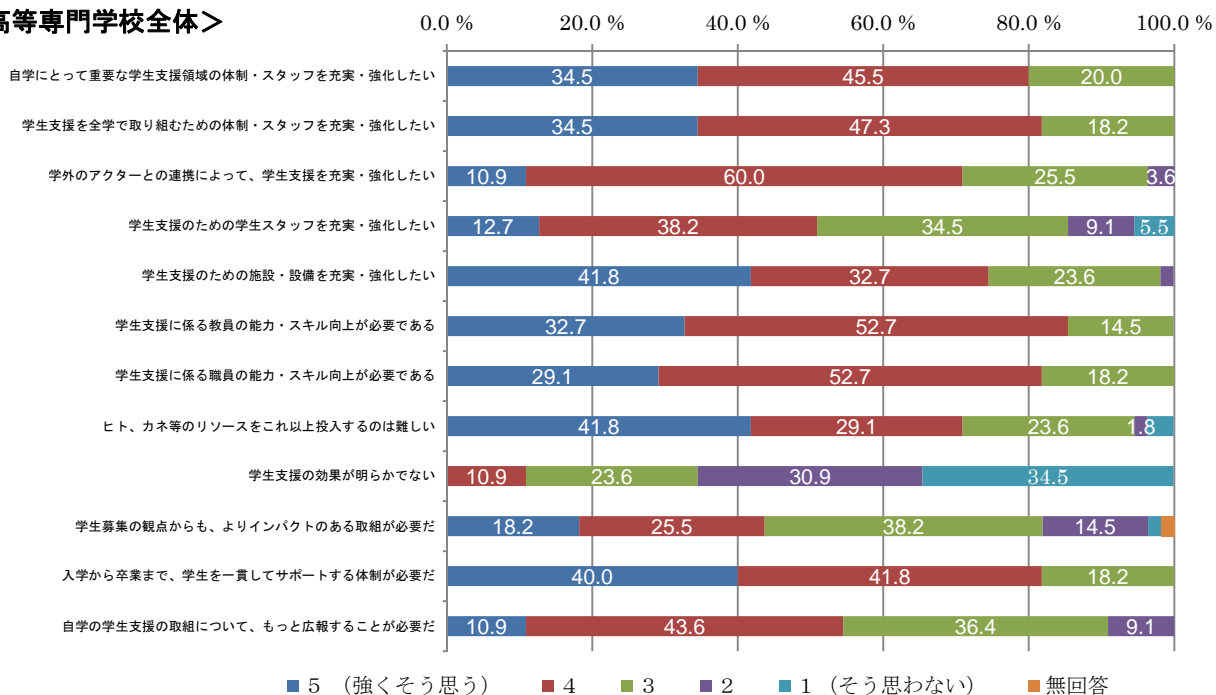
また、その他克服すべき課題としては、留年・退学者の減少、学生の学力問題への対応、障害のある学生への対応、経済的困難者に対する経済的支援の充実、学生支援のための教職員の連携強化、教職員の意識改革、安定した定員確保等があった。



<短期大学全体>



<高等専門学校全体>

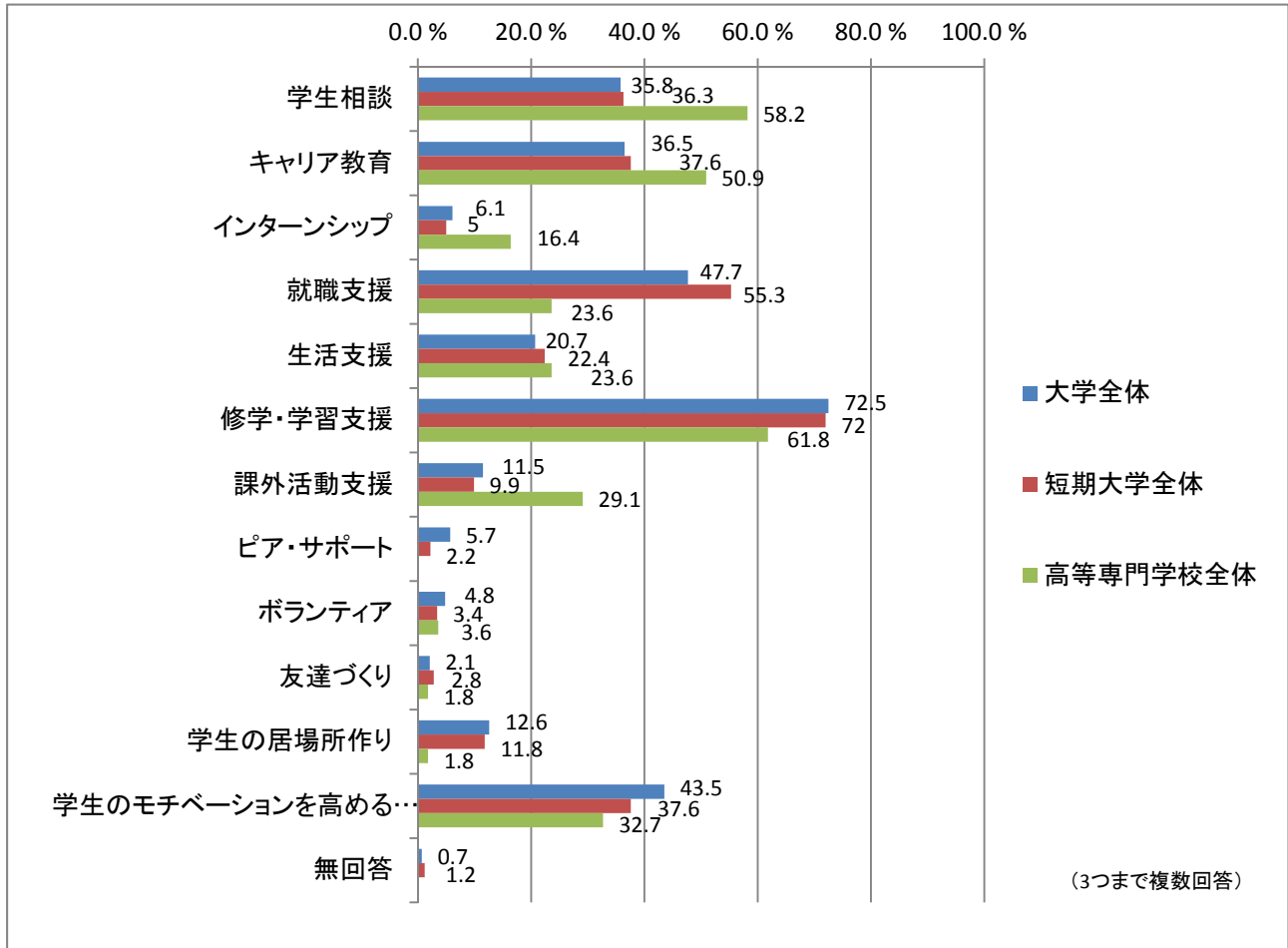


		5 (強く思う)	4	3	2	1 (そう思わない)	無回答	
強化した実・領域の要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	42.4	41.1	15.0	0.3	0.1	1.1	
		国立	56.5	29.4	14.1	0.0	0.0	0.0
		公立	36.1	45.8	16.9	0.0	0.0	1.2
		私立	41.3	42.2	14.8	0.3	0.2	1.2
	短期大学 全体	32.6	46.9	18.0	0.6	0.3	1.6	
高等専門学校 全体	34.5	45.5	20.0	0.0	0.0	0.0		
強化した実・領域の要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	43.9	40.3	14.1	0.5	0.1	1.1	
		国立	51.8	38.8	9.4	0.0	0.0	0.0
		公立	41.0	38.6	19.3	0.0	0.0	1.2
		私立	43.2	40.8	14.0	0.7	0.2	1.2
	短期大学 全体	34.2	45.0	18.3	0.3	0.6	1.6	
高等専門学校 全体	34.5	47.3	18.2	0.0	0.0	0.0		
強化した実・領域の要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	15.4	36.9	39.7	6.0	0.9	1.2	
		国立	18.8	38.8	40.0	1.2	1.2	0.0
		公立	16.9	41.0	36.1	4.8	0.0	1.2
		私立	14.7	36.0	40.1	6.8	1.0	1.4
	短期大学 全体	12.1	33.5	45.3	5.9	1.6	1.6	
高等専門学校 全体	10.9	60.0	25.5	3.6	0.0	0.0		
強化した実・領域の要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	23.7	42.0	28.0	4.2	0.9	1.1	
		国立	25.9	44.7	22.4	5.9	1.2	0.0
		公立	13.3	50.6	30.1	4.8	0.0	1.2
		私立	24.9	40.4	28.5	3.9	1.0	1.2
	短期大学 全体	16.5	36.0	40.1	4.3	1.6	1.6	
高等専門学校 全体	12.7	38.2	34.5	9.1	5.5	0.0		
強化した実・領域の要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	29.8	45.6	20.2	2.5	0.8	1.1	
		国立	35.3	44.7	17.6	2.4	0.0	0.0
		公立	28.9	41.0	24.1	2.4	2.4	1.2
		私立	29.3	46.6	20.0	2.6	0.7	1.2
	短期大学 全体	23.3	43.5	28.6	1.9	1.2	1.6	
高等専門学校 全体	41.8	32.7	23.6	1.8	0.0	0.0		
強化した実・領域の要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	37.9	49.2	11.0	0.7	0.1	1.1	
		国立	40.0	47.1	12.9	0.0	0.0	0.0
		公立	31.3	43.4	21.7	2.4	0.0	1.2
		私立	38.6	50.3	9.2	0.5	0.2	1.2
	短期大学 全体	36.6	49.4	11.2	0.9	0.3	1.6	
高等専門学校 全体	32.7	52.7	14.5	0.0	0.0	0.0		
強化した実・領域の要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	37.4	49.2	11.5	0.5	0.3	1.1	
		国立	35.3	47.1	17.6	0.0	0.0	0.0
		公立	31.3	47.0	19.3	1.2	0.0	1.2
		私立	38.6	49.8	9.6	0.5	0.3	1.2
	短期大学 全体	36.3	48.8	12.1	0.9	0.0	1.9	
高等専門学校 全体	29.1	52.7	18.2	0.0	0.0	0.0		
強化した実・領域の要 自 学 に と つ て 重 ん	大学 全体	10.5	23.6	48.5	12.2	4.1	1.1	
		国立	15.3	28.2	37.6	14.1	4.7	0.0
		公立	14.5	24.1	47.0	10.8	2.4	1.2
		私立	9.2	22.9	50.3	12.1	4.3	1.2
	短期大学 全体	13.4	27.6	41.3	11.8	4.0	1.9	
高等専門学校 全体	41.8	29.1	23.6	1.8	3.6	0.0		

		5 (強く思う)	4	3	2	1 (そう思わない)	無回答	
が学 明生 ら支 か援 で の 効 果 不 い	大学 全体	1.7	13.1	34.7	30.1	19.4	0.9	
		国立	1.2	9.4	30.6	31.8	27.1	0.0
		公立	3.6	14.5	30.1	28.9	21.7	1.2
		私立	1.5	13.5	36.0	30.0	17.9	1.0
	短期大学 全体	3.4	11.8	33.5	28.9	20.5	1.9	
	高等専門学校 全体	0.0	10.9	23.6	30.9	34.5	0.0	
取ンか学 組バから がクも募 必ト、集 要のよ だの るあり るイ 点	大学 全体	22.1	36.3	30.8	7.0	2.4	1.3	
		国立	14.1	40.0	28.2	12.9	4.7	0.0
		公立	14.5	28.9	42.2	12.0	1.2	1.2
		私立	24.4	36.9	29.5	5.5	2.2	1.5
	短期大学 全体	24.8	34.2	31.7	5.3	1.9	2.2	
	高等専門学校 全体	18.2	25.5	38.2	14.5	1.8	1.8	
るしで入 体て、学 制サ学 がポ生 必ーを 要ト業 だす貫 ま	大学 全体	55.0	34.1	9.3	0.5	0.1	0.9	
		国立	58.8	32.9	8.2	0.0	0.0	0.0
		公立	45.8	42.2	9.6	0.0	1.2	1.2
		私立	55.8	33.1	9.4	0.7	0.0	1.0
	短期大学 全体	52.2	35.4	9.6	0.6	0.0	2.2	
	高等専門学校 全体	40.0	41.8	18.2	0.0	0.0	0.0	
だすての自 る、取学 こも組の とつに学 がとつ生 必広い支 要報 援	大学 全体	27.7	43.1	25.2	2.4	0.4	1.2	
		国立	25.9	42.4	28.2	2.4	1.2	0.0
		公立	20.5	47.0	27.7	2.4	1.2	1.2
		私立	29.0	42.7	24.4	2.4	0.2	1.4
	短期大学 全体	27.0	40.4	28.3	1.9	0.3	2.2	
	高等専門学校 全体	10.9	43.6	36.4	9.1	0.0	0.0	

学生支援において特に重視すべき領域

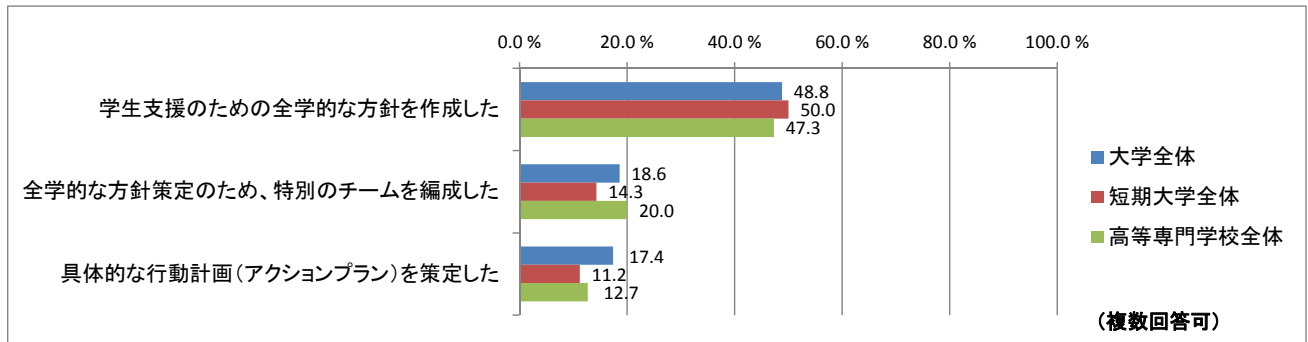
学生支援において特に重視すべき領域について、各学校種ともに最も回答率が高かったのは「修学・学習支援」(大学全体72.5%、短大全体72.0%、高専全体61.8%)であった。次いで大学全体・短大全体では、「就職支援」「学生のモチベーションを高める取組」と続き、全ての領域でほぼ同様の傾向であった。一方、高専全体では「学生相談」「キャリア教育」の回答率が高くなっており、学校種間の差が見られた。



	学生相談	キャリア教育	インターンシップ	就職支援	生活支援	修学・学習支援	課外活動支援	ピア・サポート	ボランティア	友達づくり	学生の居場所作り	学生のモチベーションを高める取組	無回答
大学 全体	35.8	36.5	6.1	47.7	20.7	72.5	11.5	5.7	4.8	2.1	12.6	43.5	0.7
国立	55.3	37.6	10.6	52.9	31.8	68.2	10.6	5.9	3.5	1.2	4.7	20.0	0.0
公立	43.4	43.4	7.2	45.8	27.7	56.6	10.8	6.0	4.8	1.2	13.3	36.1	1.2
私立	31.9	35.3	5.3	47.3	18.1	75.4	11.8	5.6	4.9	2.4	13.7	48.0	0.7
短期大学 全体	36.3	37.6	5.0	55.3	22.4	72.0	9.9	2.2	3.4	2.8	11.8	37.6	1.2
高等専門学校 全体	58.2	50.9	16.4	23.6	23.6	61.8	29.1	0.0	3.6	1.8	1.8	32.7	0.0

学生支援のための全学的方針等

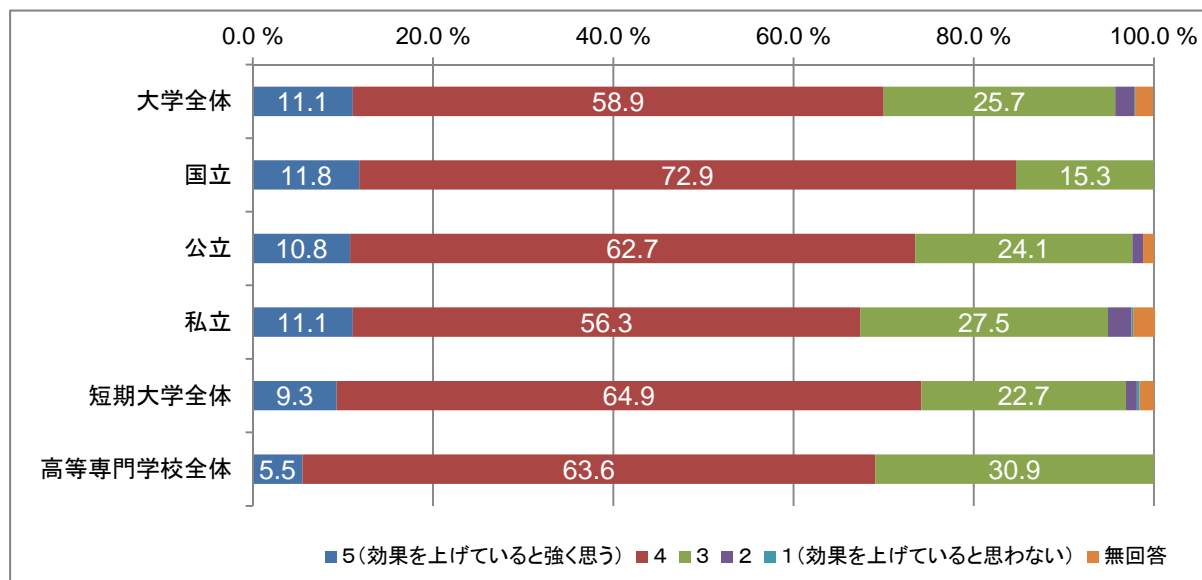
学生支援のための全学的方針等について、各学校種ともに最も回答率が高かったのは、「学生支援のための全学的な方針を作成した」であり、約5割の学校で取り組まれている。



	学生支援のための全学的な方針を作成した	全学的な方針策定のため、特別のチームを編成した	具体的な行動計画(アクションプラン)を策定した	無回答
大学 全体	48.8	18.6	17.4	34.0
国立	47.1	15.3	20.0	37.6
公立	39.8	7.2	14.5	44.6
私立	50.3	20.6	17.4	31.9
短期大学 全体	50.0	14.3	11.2	38.8
高等専門学校 全体	47.3	20.0	12.7	27.3

学生支援の取組の効果

学生支援の取組の効果について、5(効果を上げていると強く思う)と4(効果を上げていると思う)を合わせた回答率をみると、全学校種において60%以上で効果を上げていると回答している。特に国立大学は、80%を超えている。



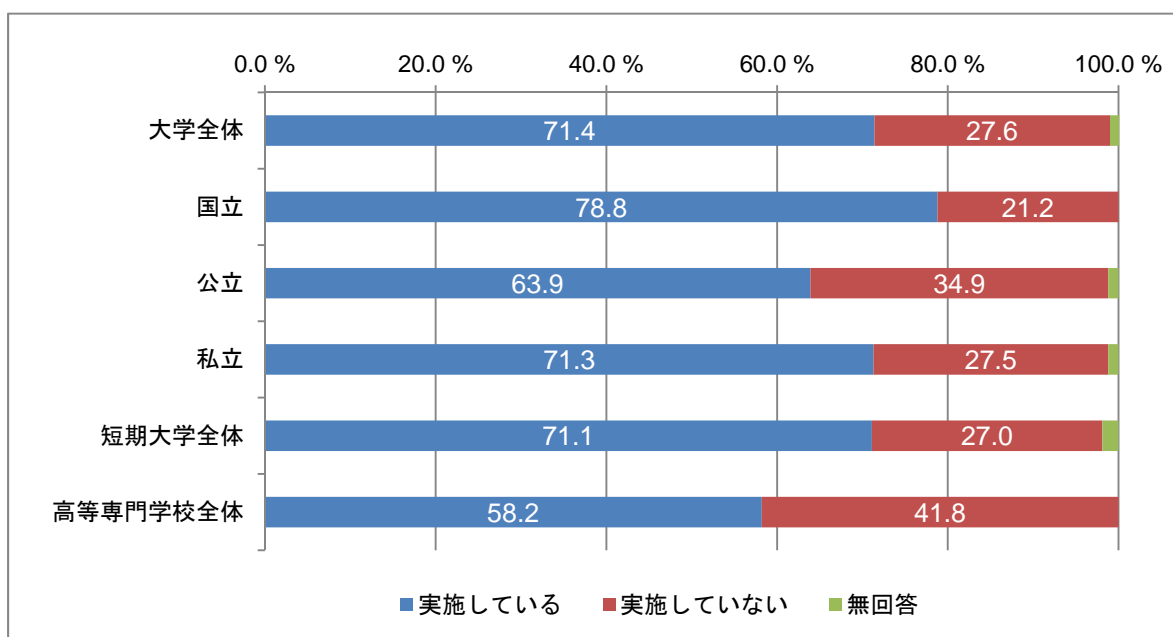
	5 (効果を上げ ていると強く 思う)	4	3	2	1 (効果を上げ ていると思わ ない)	無回答
大学 全体	11.1	58.9	25.7	2.1	0.1	2.0
国立	11.8	72.9	15.3	0.0	0.0	0.0
公立	10.8	62.7	24.1	1.2	0.0	1.2
私立	11.1	56.3	27.5	2.6	0.2	2.4
短期大学 全体	9.3	64.9	22.7	1.2	0.3	1.6
高等専門学校 全体	5.5	63.6	30.9	0.0	0.0	0.0

学生支援の効果を測定するための評価の実施率及び評価の指標

学生支援の効果を測定するための評価の実施について、学校種別でみると、大学全体と短大全体では70%以上が「実施している」と回答しており、大学全体を設置者別でみると、最も高いのは国立大学であり、78.8%で実施されている。

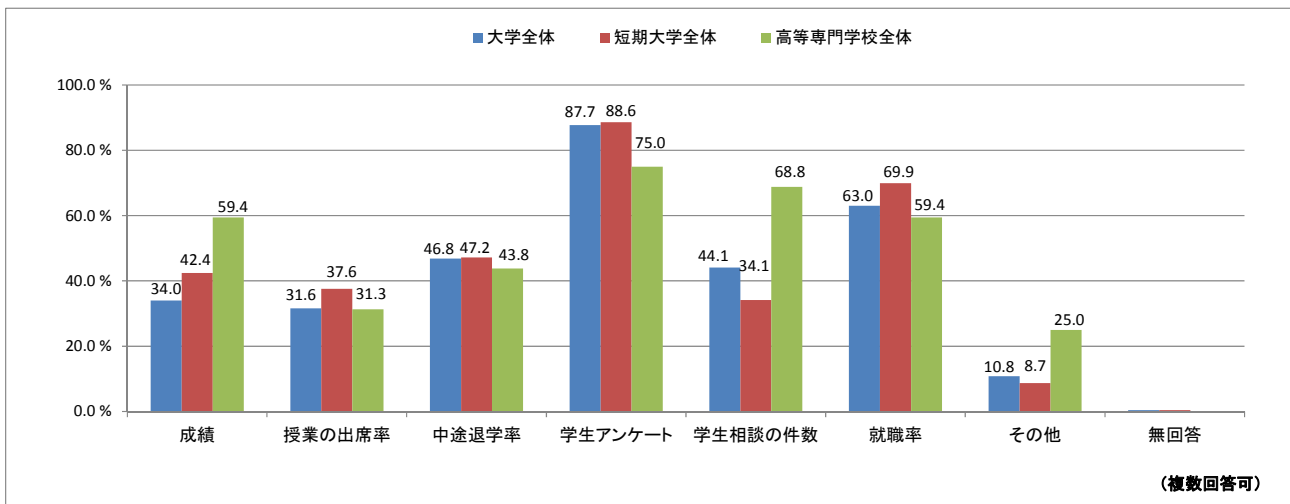
学生支援の効果を測定するための評価の指標で、全学校種共通で最も高かったのは「学生アンケート」であった。次いで、大学全体・短大全体では「就職率」が高かった。高専全体では、大学全体・短大全体に比べ、「学生相談の件数」「成績」が高い。「その他」としては、保護者や卒業生に対するアンケート、資格取得率、課外活動での活躍等があった。

<評価の実施率>



		実施している	実施していない	無回答
大学 全体		71.4	27.6	1.1
	国立	78.8	21.2	0.0
	公立	63.9	34.9	1.2
	私立	71.3	27.5	1.2
短期大学 全体		71.1	27.0	1.9
高等専門学校 全体		58.2	41.8	0.0

<評価の指標>

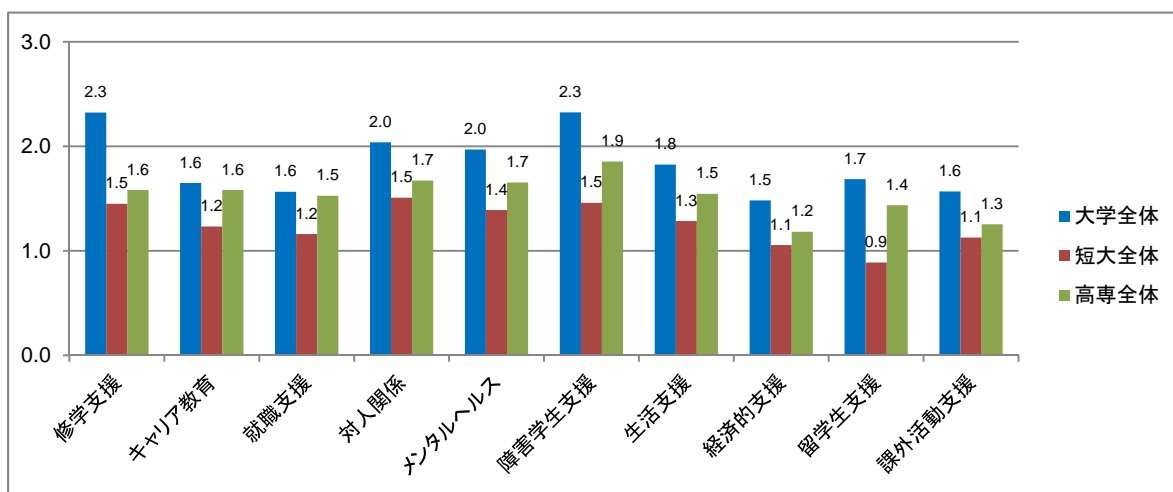


	成績	授業の出席率	中途退学率	学生アンケート	学生相談の件数	就職率	その他	無回答
大学 全体	34.0	31.6	46.8	87.7	44.1	63.0	10.8	0.4
国立	23.9	14.9	26.9	89.6	61.2	65.7	11.9	0.0
公立	20.8	13.2	34.0	88.7	49.1	66.0	20.8	0.0
私立	37.3	36.6	51.7	87.3	40.7	62.2	9.3	0.5
短期大学 全体	42.4	37.6	47.2	88.6	34.1	69.9	8.7	0.4
高等専門学校 全体	59.4	31.3	43.8	75.0	68.8	59.4	25.0	0.0

Ⅱ 学生支援に関する組織等

学生支援に関する組織等の支援内容別組織数

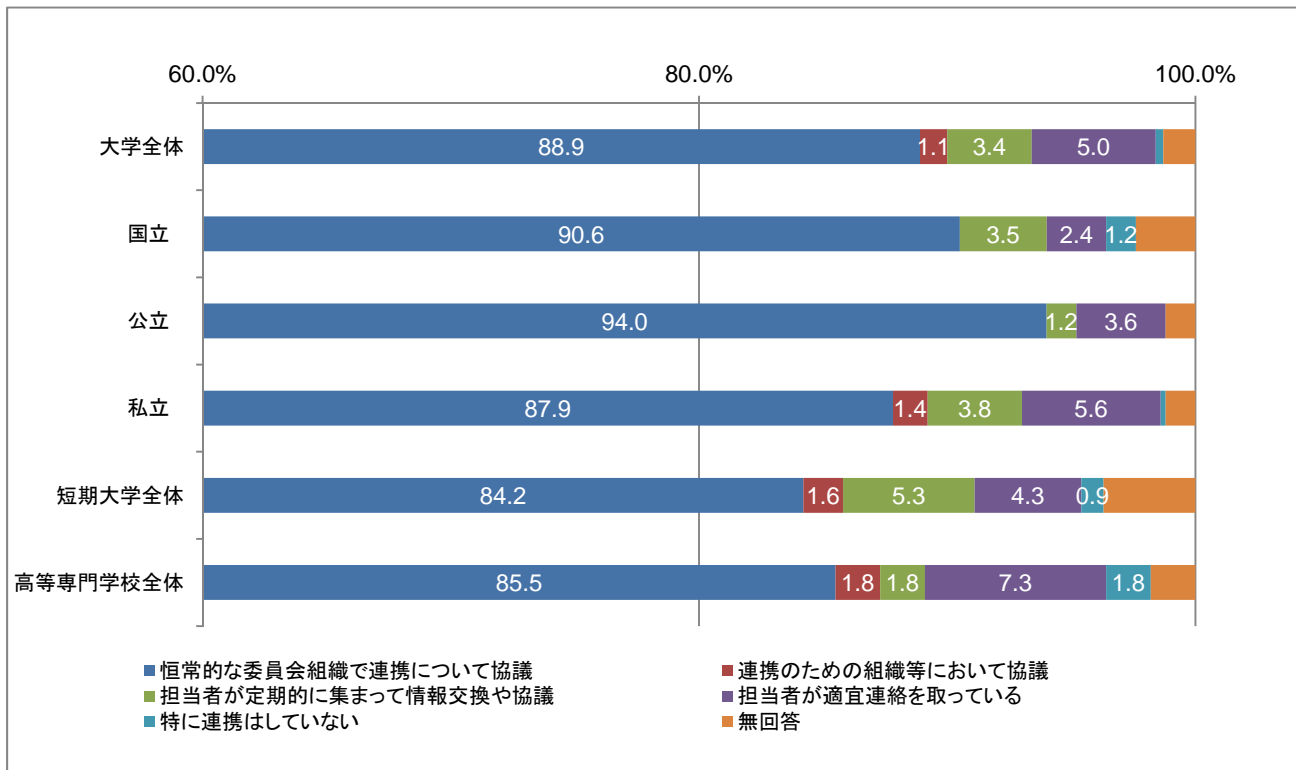
学生支援に関する組織等の支援内容別組織数(1学校当たりの平均組織数)について、全学校種に共通して「障害学生支援」(大学全体 2.3、短大全体 1.5、高専全体 1.9)の領域が多く、大学全体・短大全体においては「修学支援」も多い領域となっている。一方、高専全体では「対人関係」(1.7)、「メンタルヘルス」(1.7)が多い領域となっている。



領域	平成27年度			<参考> 平成25年度		
	大学全体	短大全体	高専全体	大学全体	短大全体	高専全体
修学支援	2.3	1.5	1.6	2.3	1.5	1.5
キャリア教育	1.6	1.2	1.6	1.7	1.3	1.5
就職支援	1.6	1.2	1.5	1.5	1.3	1.5
対人関係	2.0	1.5	1.7	2.1	1.6	1.6
メンタルヘルス	2.0	1.4	1.7	2.0	1.5	1.6
障害学生支援	2.3	1.5	1.9	2.3	1.6	1.8
生活支援	1.8	1.3	1.5	1.8	1.4	1.4
経済的支援	1.5	1.1	1.2	1.5	1.2	1.1
留学生支援	1.7	0.9	1.4	1.7	1.0	1.3
課外活動支援	1.6	1.1	1.3	1.5	1.2	1.1

組織間での連携のための委員会・組織等の設置状況

組織間での連携のための協議等については、各学校種とも「恒常的な委員会組織で連携について協議」と回答した割合が最も高く、大学全体で88.9%、短大全体84.2%、高専全体で85.5%でいずれも8割を超えている。



	恒常的な委員会組織で連携について協議	連携のための組織等において協議	担当者が定期的に集まって情報交換や協議	担当者が適宜連絡を取っている	特に連携はしていない	無回答
平成27年度	大学 全体	88.9	1.1	3.4	5.0	1.3
	国立	90.6	0.0	3.5	2.4	2.4
	公立	94.0	0.0	1.2	3.6	1.2
	私立	87.9	1.4	3.8	5.6	1.2
	短期大学 全体	84.2	1.6	5.3	4.3	3.7
	高等専門学校 全体	85.5	1.8	1.8	7.3	1.8

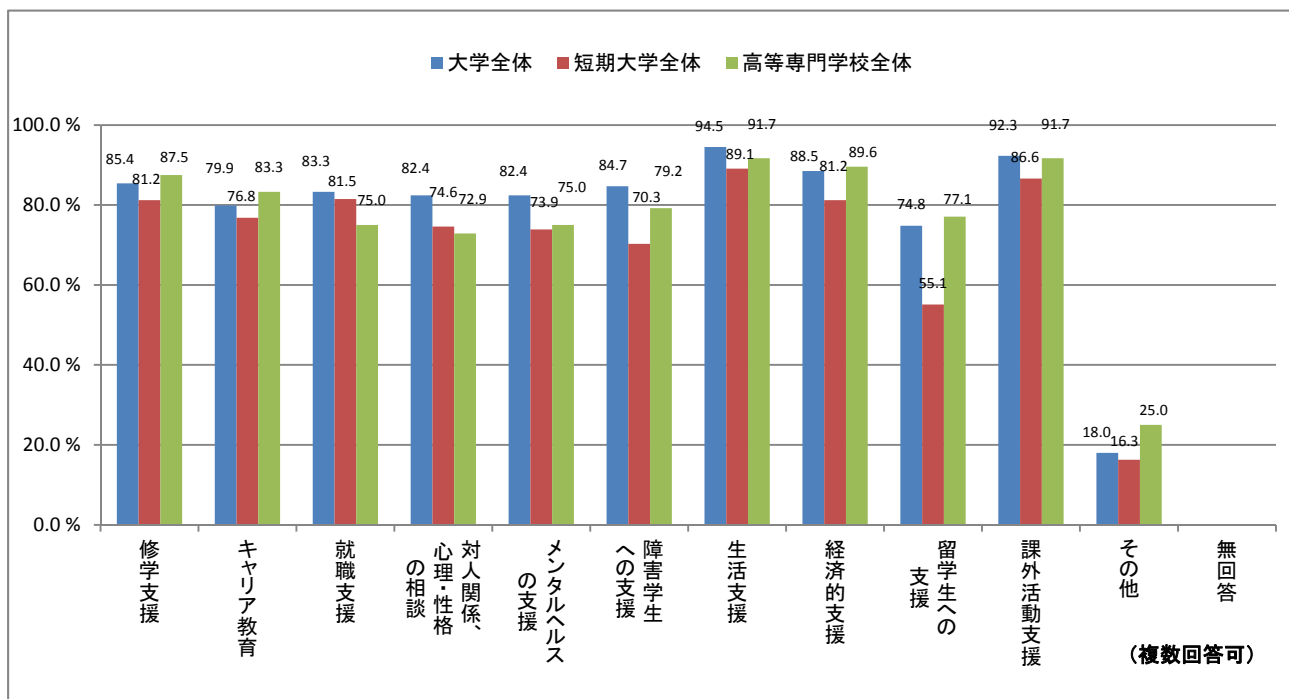
<参考>

平成25年度	大学 全体	87.0	2.0	2.4	5.4	2.6
	国立	95.3	1.2	2.4	1.2	0.0
	公立	84.4	0.0	3.9	3.9	6.5
	私立	86.1	2.4	2.3	6.2	2.4
	短期大学 全体	82.7	2.7	4.6	6.1	3.6
	高等専門学校 全体	85.2	0.0	1.9	11.1	0.0

組織間での連携のための委員会・組織等が所掌する支援内容

組織間での連携のための委員会・組織等が所掌する支援内容について、各学校種とも「生活支援」が最も高くなっており、次いで「課外活動支援」となっている。前回調査と比較すると概ね大きな変化は見られないが、高専全体で「障害学生への支援」が89.1%から79.2%に減少した(9.9ポイント減)。

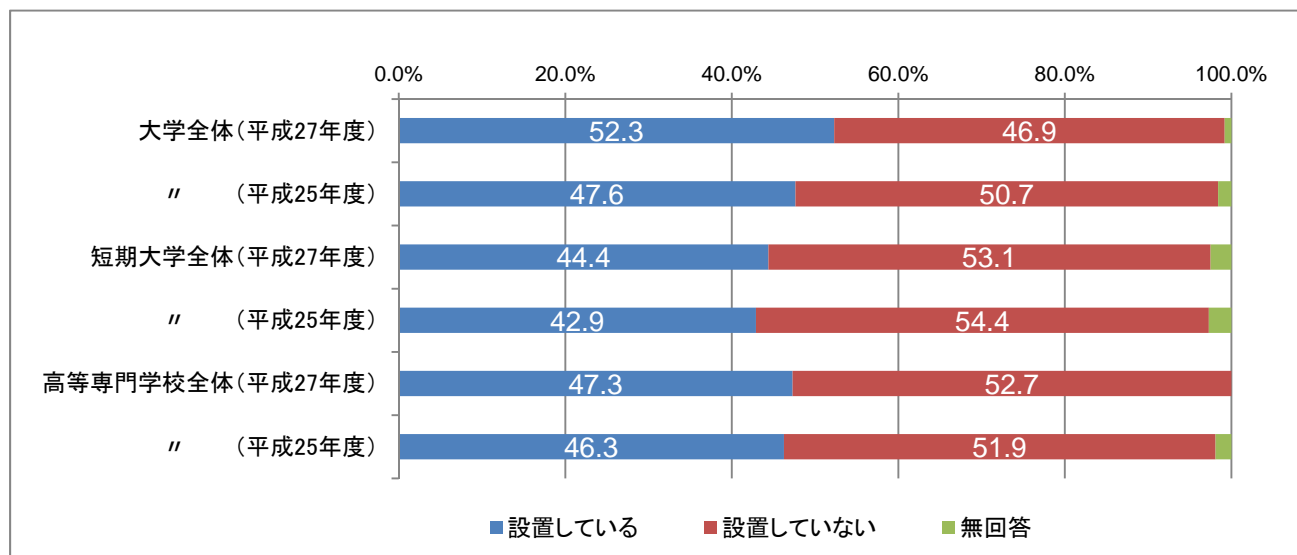
「その他」としては、ハラスメント等人権問題に関する支援、ボランティア支援、学生寮に関すること、健康管理や学生の防災・安全に関すること等があった。



		修学支援	キャリア教育	就職支援	対人関係、心理・性格の相談	メンタルヘルスの支援	障害学生への支援	生活支援	経済的支援	留学生への支援	課外活動支援	その他	無回答
平成27年度	大学 全体	85.4	79.9	83.3	82.4	82.4	84.7	94.5	88.5	74.8	92.3	18.0	0.1
	国立	92.2	94.8	96.1	84.4	85.7	98.7	100.0	100.0	90.9	97.4	23.4	0.0
	公立	85.9	76.9	85.9	76.9	80.8	82.1	93.6	85.9	73.1	89.7	12.8	0.0
	私立	84.3	78.2	81.1	83.0	82.2	83.0	93.9	87.2	72.7	92.0	18.0	0.2
	短期大学 全体	81.2	76.8	81.5	74.6	73.9	70.3	89.1	81.2	55.1	86.6	16.3	0.0
高等専門学校 全体	87.5	83.3	75.0	72.9	75.0	79.2	91.7	89.6	77.1	91.7	25.0	0.0	
<参考>													
平成25年度	大学 全体	84.2	80.2	82.2	78.7	80.2	80.9	91.2	86.5	73.6	88.4	17.5	0.5
	国立	90.2	87.8	82.9	78.0	74.4	90.2	98.8	98.8	81.7	93.9	23.2	1.2
	公立	76.9	87.7	90.8	78.5	83.1	75.4	86.2	84.6	69.2	89.2	16.9	0.0
	私立	84.1	78.1	81.0	78.9	80.6	80.0	90.6	84.7	72.8	87.5	16.6	0.4
	短期大学 全体	81.9	81.1	86.5	78.6	78.3	73.7	89.3	79.0	60.5	87.2	13.2	0.7
高等専門学校 全体	93.5	82.6	73.9	78.3	76.1	89.1	89.1	84.8	78.3	91.3	15.2	0.0	

学生の抱える課題に対して包括的に対応することを目的とする領域横断的かつ恒常的な組織の設置状況

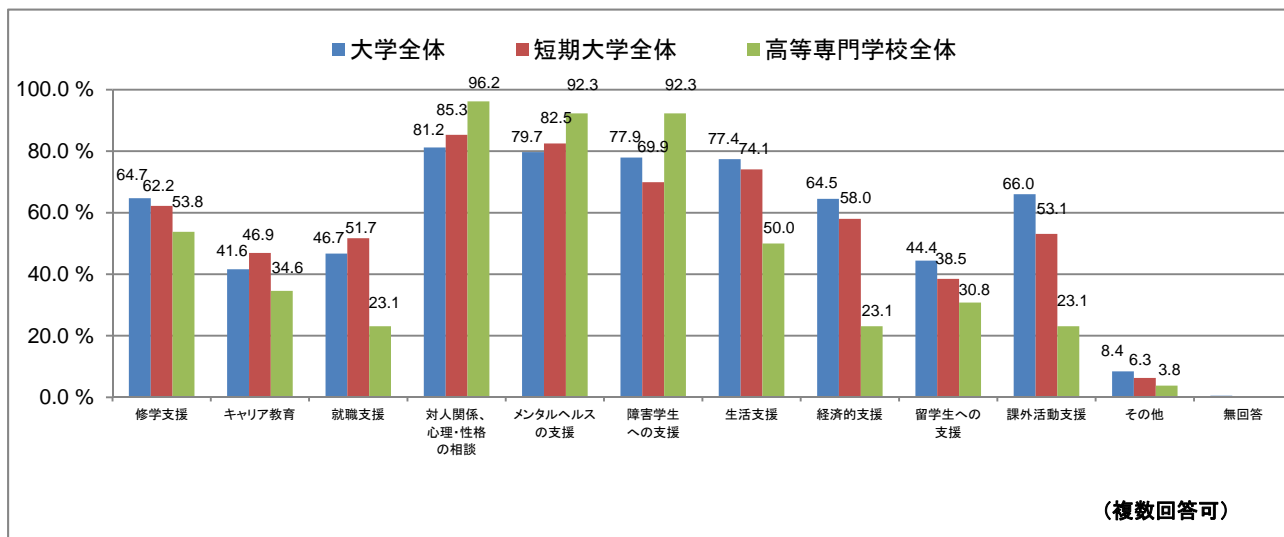
領域横断的かつ恒常的な組織の設置状況について、「設置している」と回答があったのは、大学全体 52.3%、短大全体 44.4%、高専全体 47.3%であり、大学全体を設置者別で見ると、国立大学が特に高く、68.2%であった。全学校種において前回調査と比較して、設置率が高くなっている。



	平成27年度			<参考> 平成25年度		
	設置している	設置していない	無回答	設置している	設置していない	無回答
大学 全体	52.3	46.9	0.8	47.6	50.7	1.6
国立	68.2	31.8	0.0	67.1	32.9	0.0
公立	32.5	66.3	1.2	31.2	67.5	1.3
私立	52.7	46.4	0.9	47.0	51.1	1.9
短期大学 全体	44.4	53.1	2.5	42.9	54.4	2.7
高等専門学校 全体	47.3	52.7	0.0	46.3	51.9	1.9

学生の抱える課題に対して包括的に対応することを目的とする領域横断的かつ恒常的な組織が所掌する支援内容

領域横断的かつ恒常的な組織が所掌する支援内容について、各学校種とも「対人関係・心理・性格の相談」に関するもの、「メンタルヘルスの支援」に関するものが高かった。前回調査との比較で最も増加したのは、大学全体では、「就職支援」「生活支援」（ともに4.7ポイント増）、短大全体では、「生活支援」（5.3ポイント増）、高専全体では、「留学生への支援」（18.8ポイント増）であった。



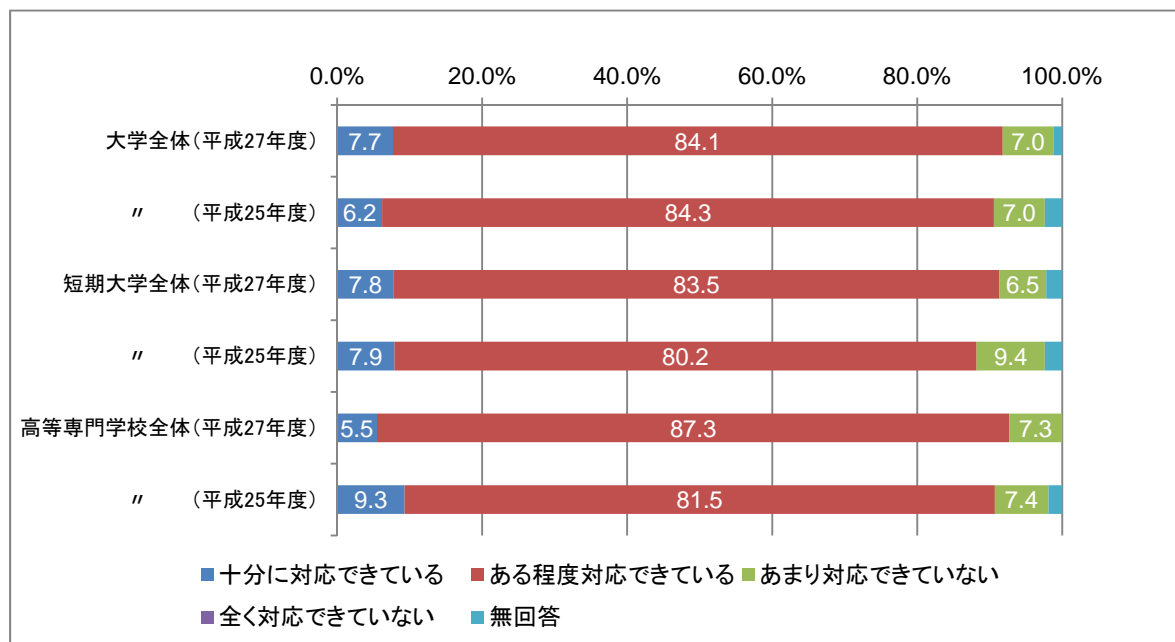
		修学支援	キャリア教育	就職支援	対人関係・心理・性格の相談	メンタルヘルスの支援	障害学生への支援	生活支援	経済的支援	留学生への支援	課外活動支援	その他	無回答
平成27年度	大学 全体	64.7	41.6	46.7	81.2	79.7	77.9	77.4	64.5	44.4	66.0	8.4	0.5
	国立	67.2	58.6	74.1	79.3	82.8	84.5	77.6	69.0	51.7	74.1	10.3	0.0
	公立	59.3	51.9	70.4	74.1	77.8	77.8	70.4	59.3	44.4	55.6	14.8	0.0
	私立	64.7	37.5	39.5	82.2	79.3	76.7	78.0	64.1	43.0	65.4	7.4	0.6
	短期大学 全体	62.2	46.9	51.7	85.3	82.5	69.9	74.1	58.0	38.5	53.1	6.3	0.0
高等専門学校 全体	53.8	34.6	23.1	96.2	92.3	92.3	50.0	23.1	30.8	23.1	3.8	0.0	

<参考>

平成25年度	大学 全体	65.1	41.5	42.0	81.0	78.4	76.4	72.7	60.5	41.8	63.1	10.2	1.4
	国立	68.4	57.9	63.2	77.2	73.7	80.7	73.7	64.9	40.4	63.2	10.5	1.8
	公立	66.7	54.2	54.2	87.5	83.3	75.0	79.2	70.8	58.3	70.8	8.3	4.2
	私立	64.2	36.9	36.5	81.2	79.0	75.6	72.0	58.7	40.6	62.4	10.3	1.1
	短期大学 全体	64.5	43.3	47.5	80.9	79.4	72.3	68.8	59.6	39.7	58.9	5.7	0.7
高等専門学校 全体	36.0	16.0	12.0	96.0	96.0	100.0	32.0	12.0	12.0	12.0	4.0	0.0	

学生の抱える多様で複合的な課題に対する、学校の組織の対応状況

学生の抱える多様で複合的な課題に対する、学校の組織の対応状況について、各学校種とも、「十分に対応できている」「ある程度対応できている」を合わせると、9割前後で「対応できている」との結果であり、前回調査からは微増している。



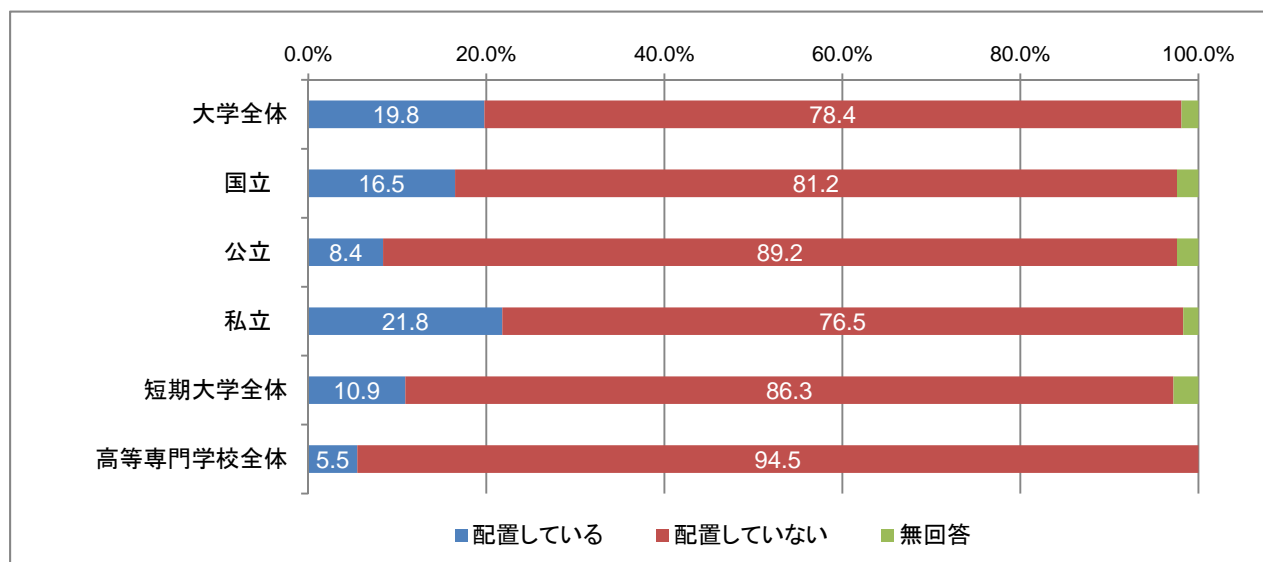
		十分に対応できている	ある程度対応できている	あまり対応できていない	全く対応できていない	無回答
平成27年度	大学 全体	7.7	84.1	7.0	0.0	1.2
	国立	8.2	88.2	2.4	0.0	1.2
	公立	6.0	86.7	6.0	0.0	1.2
	私立	7.8	83.1	7.8	0.0	1.2
	短期大学 全体	7.8	83.5	6.5	0.0	2.2
高等専門学校 全体	5.5	87.3	7.3	0.0	0.0	

<参考>

		十分に対応できている	ある程度対応できている	あまり対応できていない	全く対応できていない	無回答
平成25年度	大学 全体	6.2	84.3	7.0	0.0	2.4
	国立	10.6	85.9	1.2	0.0	2.4
	公立	5.2	88.3	5.2	0.0	1.3
	私立	5.7	83.5	8.1	0.0	2.6
	短期大学 全体	7.9	80.2	9.4	0.0	2.4
高等専門学校 全体	9.3	81.5	7.4	0.0	1.9	

学習アドバイザーやアカデミック・プランナー等の専門知識・技能を有するスタッフの配置状況

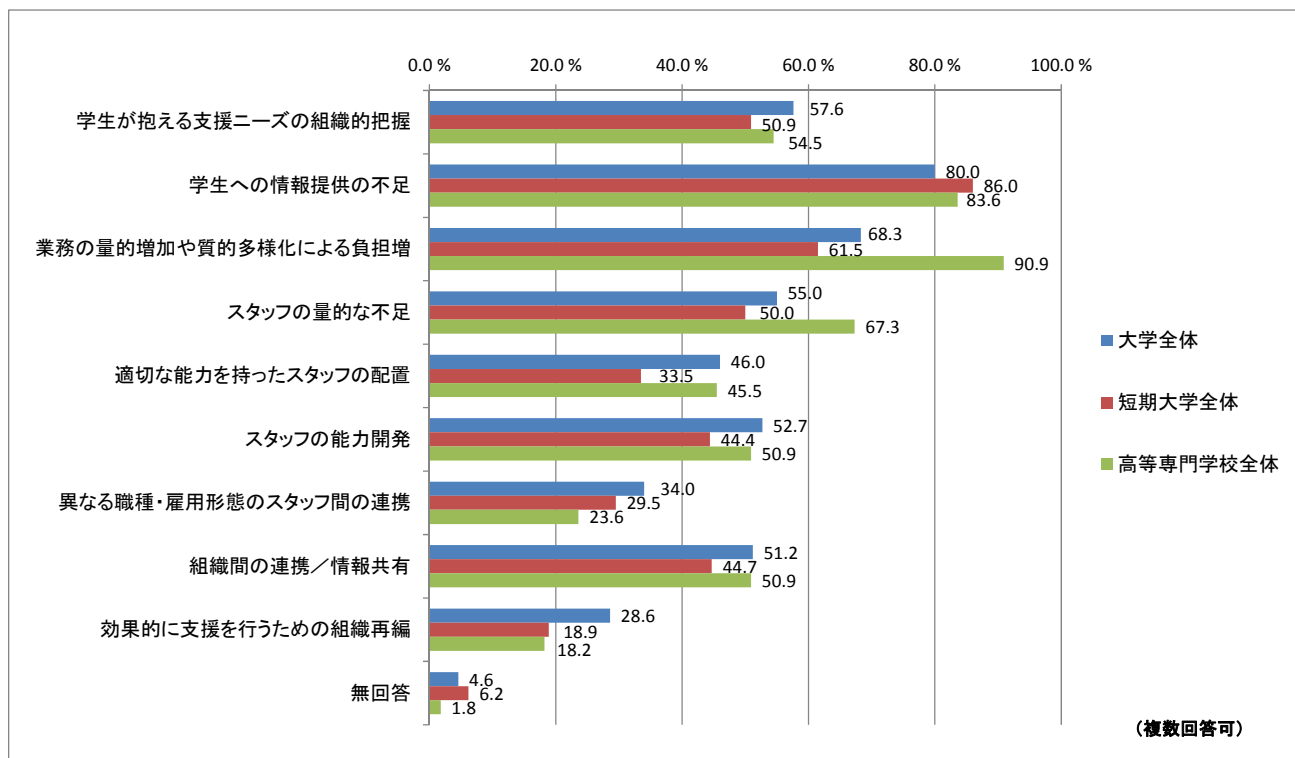
学習アドバイザーやアカデミック・プランナー等の専門知識・技能を有するスタッフの配置状況について、「配置している」と回答した学校は、大学全体では19.8%、短大全体では10.9%、高専全体では5.5%、大学の設置者別でみると、私立の配置率が21.8%と最も高かった。



		配置している	配置していない	無回答
大学 全体		19.8	78.4	1.9
	国立	16.5	81.2	2.4
	公立	8.4	89.2	2.4
	私立	21.8	76.5	1.7
短期大学 全体		10.9	86.3	2.8
高等専門学校 全体		5.5	94.5	0.0

学生支援のための組織の設計や運用等における課題

学生支援のための組織の設計や運用等における課題について、各学校種共通して多かったものは「学生への情報提供の不足」であり、8割を超えている。高専全体においては「業務の量的増加や質的多様化による負担増」が最も多く9割を超え、大学全体・短大全体と比較すると差が大きい。

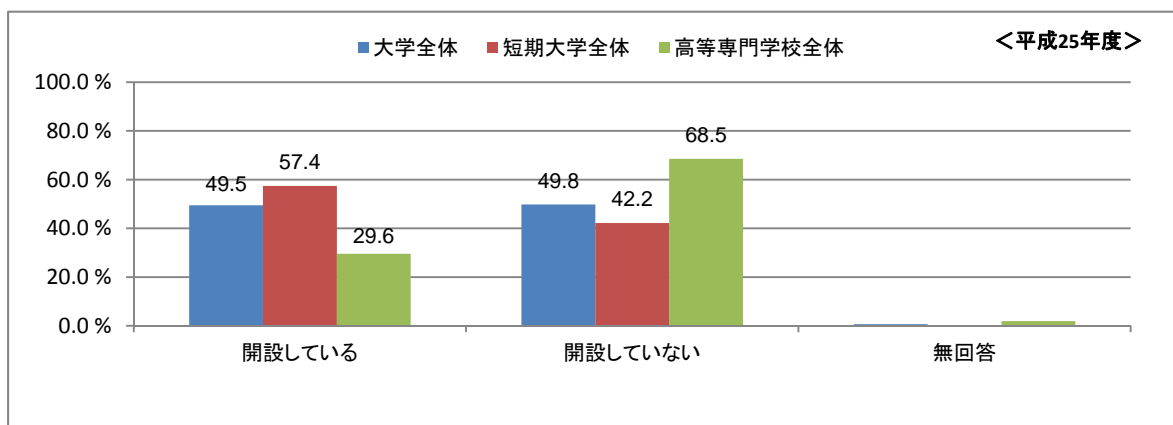
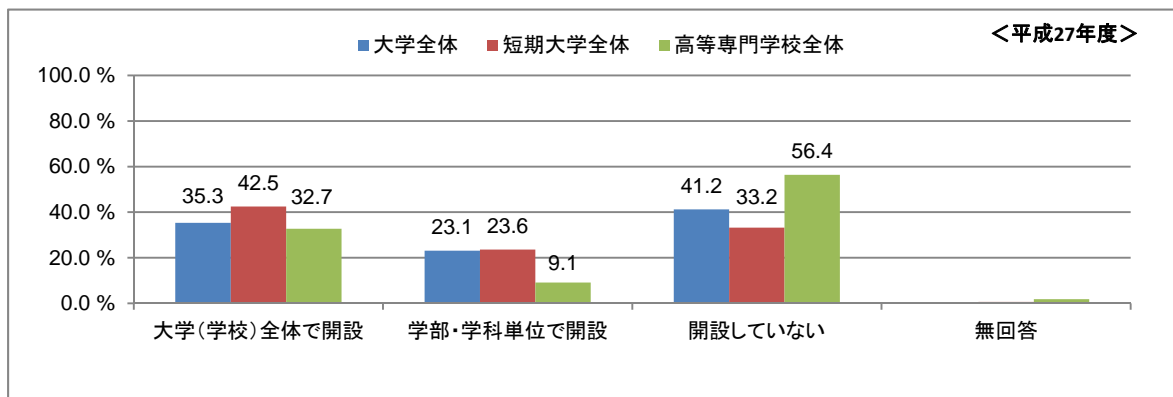


	学生が抱える支援ニーズの組織的把握	学生への情報提供の不足	業務の量的増加や質的多様化による負担増	スタッフの量的な不足	適切な能力を持ったスタッフの配置	スタッフの能力開発	異なる職種・雇用形態のスタッフ間の連携	組織間の連携／情報共有	効果的に支援を行うための組織再編	無回答
大学 全体	57.6	20.0	68.3	55.0	46.0	52.7	34.0	51.2	28.6	4.6
国立	56.5	29.4	83.5	71.8	58.8	57.6	35.3	57.6	38.8	3.5
公立	51.8	14.5	73.5	59.0	41.0	39.8	31.3	41.0	25.3	7.2
私立	58.5	19.5	65.4	52.0	44.9	53.8	34.1	51.7	27.6	4.4
短期大学 全体	50.9	14.0	61.5	50.0	33.5	44.4	29.5	44.7	18.9	6.2
高等専門学校 全体	54.5	16.4	90.9	67.3	45.5	50.9	23.6	50.9	18.2	1.8

Ⅲ キャリア教育・就職支援

必修科目として学校が設定したキャリア科目の開設状況

必修科目として学校が設定したキャリア科目の開設状況について、「大学(学校)全体で開設」「学部・学科単位で開設」を合わせると、大学全体58.4%、短大全体66.1%、高専全体41.8%となっている。前回調査との比較では、「開設していない」は、各学校種ともに減少した。



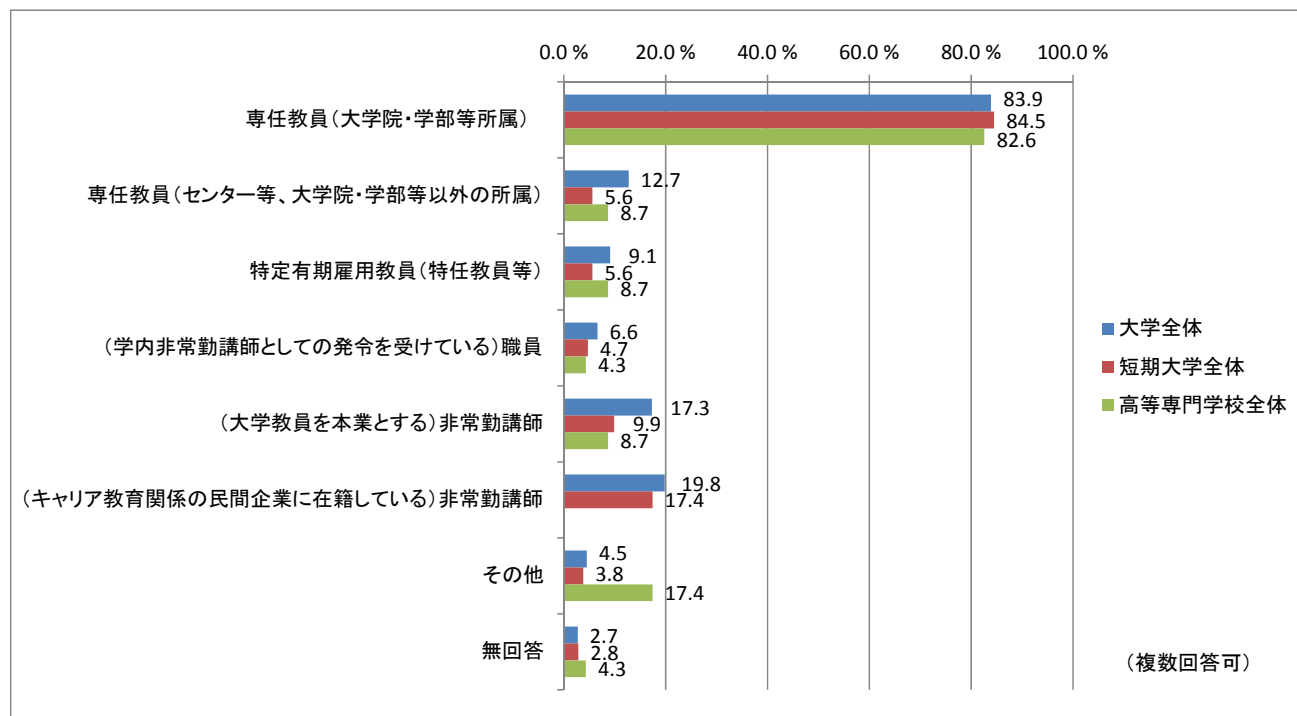
		大学全体で開設している	学部あるいは学科単位で開設している	開設していない	無回答
平成27年度	大学 全体	35.3	23.1	41.2	0.4
	国立	30.6	27.1	42.4	0.0
	公立	24.1	14.5	61.4	0.0
	私立	37.5	23.7	38.2	0.5
	短期大学 全体	42.5	23.6	33.2	0.6
	高等専門学校 全体	32.7	9.1	56.4	1.8

<参考>

		開設している	開設していない	無回答
平成25年度	大学 全体	49.5	49.8	0.7
	国立	42.4	57.6	0.0
	公立	27.3	72.7	0.0
	私立	53.6	45.6	0.9
	短期大学 全体	57.4	42.2	0.3
	高等専門学校 全体	29.6	68.5	1.9

キャリア科目について成績評価に一定の責任を持つ授業担当者

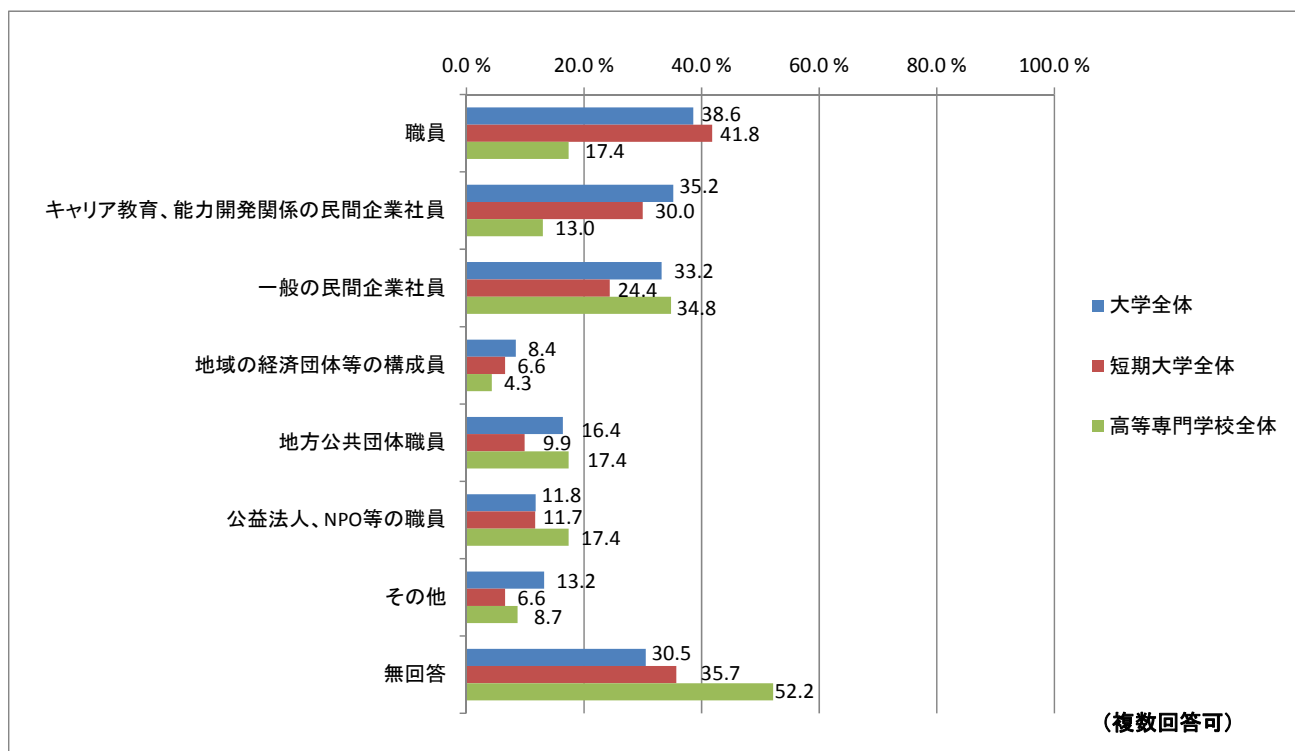
キャリア科目について成績評価に一定の責任を持つ授業担当者は、各学校種で「専任教員(大学院・学部等所属)」は8割を超え、多くを占めている。次いで、大学全体・短大全体については「(キャリア教育関係の民間企業に在籍している)非常勤講師」となっている。



	専任教員(大学院・学部等所属)	専任教員(センター等、大学院・学部等以外の所属)	特定有期雇用教員(特任教員等)	(学内非常勤講師としての発令を受けている)職員	(大学教員を本業とする)非常勤講師	(キャリア教育関係の民間企業に在籍している)非常勤講師	その他	無回答
大学 全体	83.9	12.7	9.1	6.6	17.3	19.8	4.5	2.7
国立	77.6	34.7	22.4	8.2	16.3	8.2	12.2	2.0
公立	87.5	6.3	12.5	3.1	9.4	12.5	12.5	0.0
私立	84.4	10.3	7.0	6.7	18.1	22.0	2.8	3.1
短期大学 全体	84.5	5.6	5.6	4.7	9.9	17.4	3.8	2.8
高等専門学校 全体	82.6	8.7	8.7	4.3	8.7	0.0	17.4	4.3

キャリア科目について、成績評価に一定の責任を持つ授業担当者の指導の下で授業の一部を担当する者

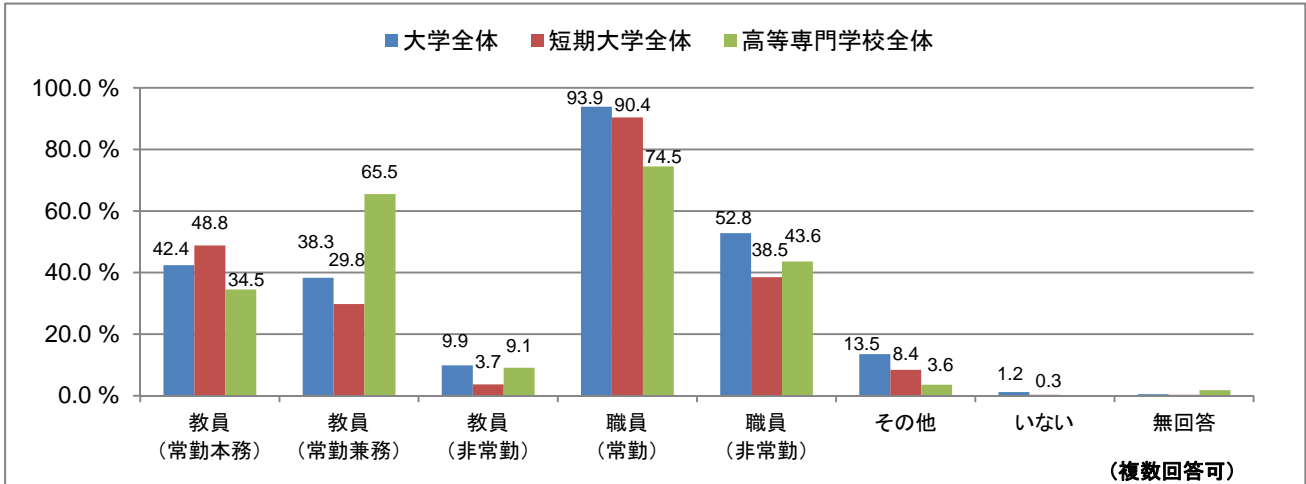
キャリア科目について、成績評価に一定の責任を持つ授業担当者の指導の下で授業の一部を担当する者は、「職員」が担当している割合が、大学全体で 38.6%、短大全体では 41.8%と最も高い。高専全体では、「一般の民間企業職員」が 34.8%と最も高い。「その他」では、OB、OG 等があった。



	職員	キャリア教育、能力開発関係の民間企業社員	一般の民間企業社員	地域の経済団体等の構成員	地方公共団体職員	公益法人、NPO等の職員	その他	無回答
大学 全体	38.6	35.2	33.2	8.4	16.4	11.8	13.2	30.5
国立	20.4	14.3	46.9	14.3	30.6	22.4	32.7	32.7
公立	18.8	31.3	31.3	6.3	15.6	12.5	9.4	34.4
私立	42.9	38.4	31.5	7.8	14.5	10.3	10.9	29.8
短期大学 全体	41.8	30.0	24.4	6.6	9.9	11.7	6.6	35.7
高等専門学校 全体	17.4	13.0	34.8	4.3	17.4	17.4	8.7	52.2

就職支援に関する担当者

就職支援に関する担当者について、各学校種とも、「常勤職員」が大学全体 93.9%、短大全体 90.4%、高専全体 74.5%と最も高く、前回調査と比べて微増している。「その他」としては、外部委託のキャリアカウンセラー等があった。



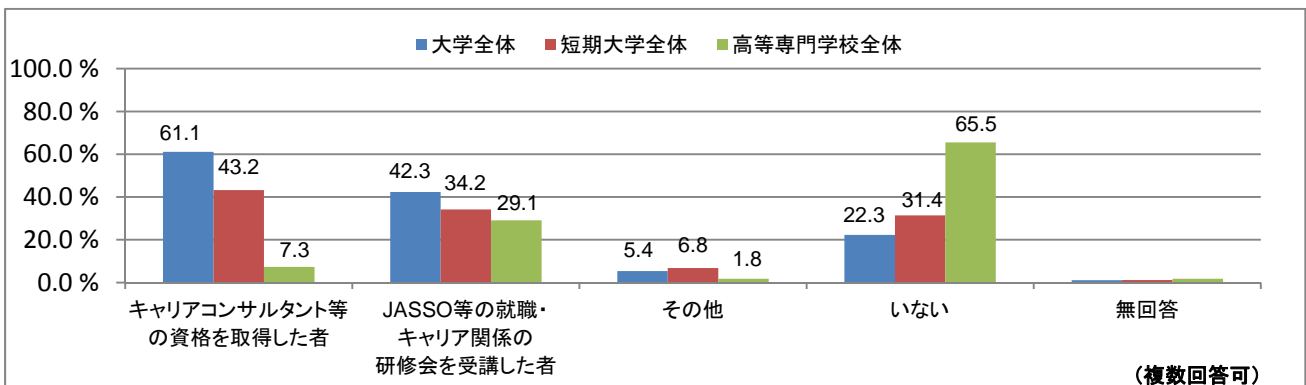
		教員 (常勤本務)	教員 (常勤兼務)	教員 (非常勤)	職員 (常勤)	職員 (非常勤)	その他	いない	無回答
平成27年度	大学 全体	42.4	38.3	9.9	93.9	52.8	13.5	1.2	0.5
	国立	48.2	61.2	24.7	98.8	83.5	23.5	0.0	0.0
	公立	41.0	36.1	3.6	86.7	51.8	6.0	0.0	0.0
	私立	41.8	35.3	8.7	94.2	48.5	13.1	1.5	0.7
	短期大学 全体	48.8	29.8	3.7	90.4	38.5	8.4	0.3	0.3
高等専門学校 全体	34.5	65.5	9.1	74.5	43.6	3.6	0.0	1.8	

<参考>

		教員 (常勤本務)	教員 (常勤兼務)	教員 (非常勤)	職員 (常勤)	職員 (非常勤)	その他	いない	無回答
平成25年度	大学 全体	40.1	39.6	13.1	93.1	53.2	17.1	1.5	0.7
	国立	48.2	58.8	32.9	95.3	81.2	30.6	1.2	0.0
	公立	28.6	33.8	3.9	89.6	54.5	7.8	2.6	1.3
	私立	40.4	37.6	11.4	93.2	48.9	16.3	1.4	0.7
	短期大学 全体	49.2	38.6	9.4	89.7	40.1	9.7	0.0	0.3
高等専門学校 全体	27.8	72.2	9.3	72.2	44.4	7.4	0.0	0.0	

就職支援に関する専門的な訓練を受けた担当者

就職支援に関する専門的な訓練を受けた担当者について、大学全体・短大全体では「キャリアコンサルタント等の資格を取得した者」、高専全体では「いない」の割合が高い。



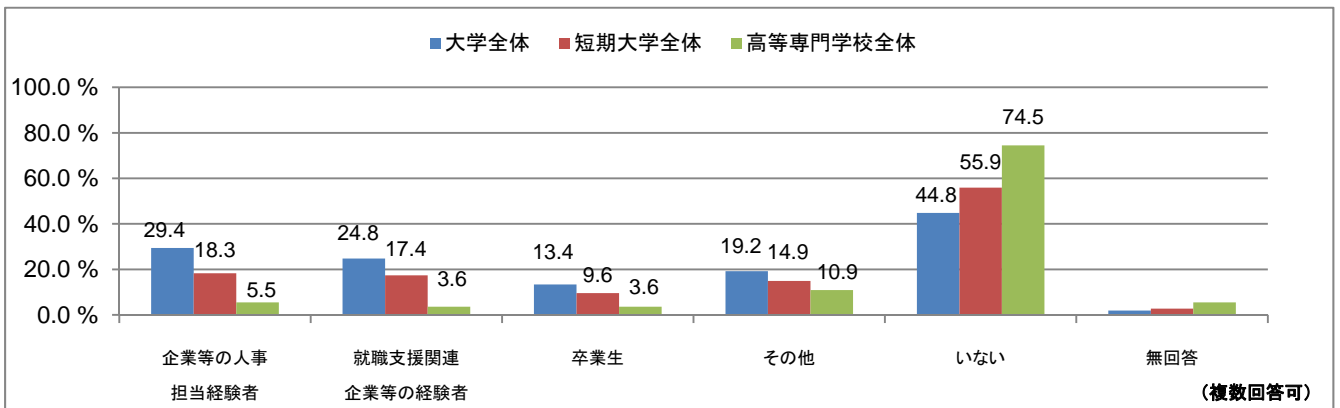
		キャリアコンサルタント等の資格を取得した者	JASSO等の就職・キャリア関係の研修会を受講した者	その他	いない	無回答	
平成27年度	大学 全体	61.1	42.3	5.4	22.3	1.1	
		国立	70.6	61.2	4.7	9.4	0.0
		公立	54.2	34.9	9.6	31.3	0.0
		私立	60.8	40.6	4.9	22.9	1.4
	短期大学 全体	43.2	34.2	6.8	31.4	1.2	
高等専門学校 全体	7.3	29.1	1.8	65.5	1.8		

<参考>

平成25年度	大学 全体	59.7	43.6	6.4	23.8	1.6	
		国立	68.2	61.2	7.1	14.1	1.2
		公立	42.9	40.3	6.5	39.0	0.0
		私立	60.7	41.4	6.2	23.2	1.9
	短期大学 全体	41.6	36.2	6.7	34.7	2.1	
高等専門学校 全体	11.1	33.3	0.0	63.0	0.0		

就職支援に関する学外から採用・配置している担当者

就職支援に関する学外から採用・配置している担当者は、「いない」が各学校種とも多くを含めている。採用・配置しているケースでは、大学全体・短大全体では「企業等の人事担当経験者」が(大学全体 29.4%、短大全体 18.3%)と最も高くなっている。



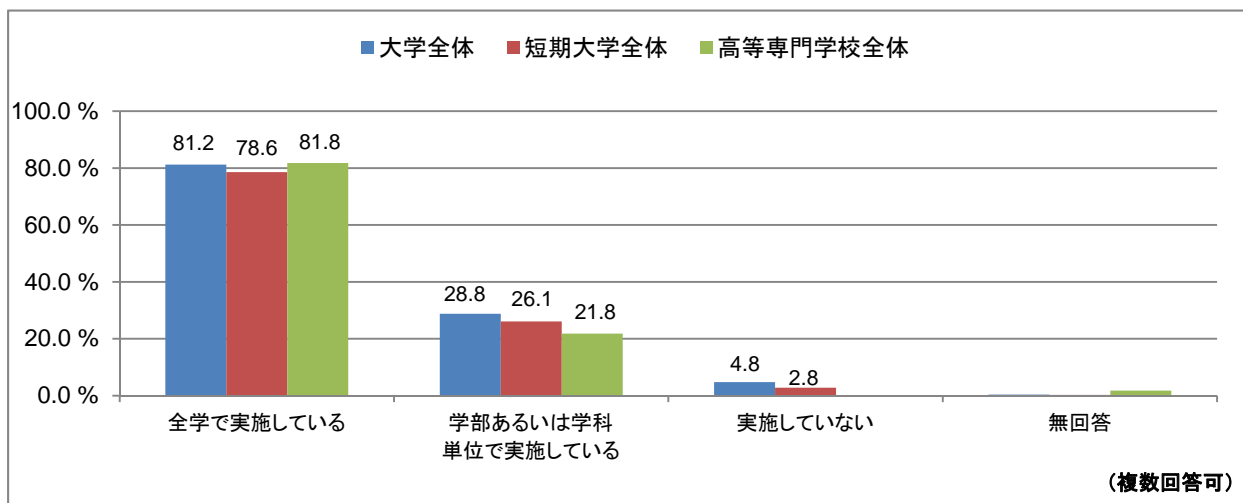
		企業等の人事担当経験者	就職支援関連企業等の経験者	卒業生	その他	いない	無回答	
平成27年度	大学 全体	29.4	24.8	13.4	19.2	44.8	1.9	
		国立	38.8	29.4	23.5	37.6	27.1	0.0
		公立	20.5	19.3	3.6	18.1	53.0	3.6
		私立	29.4	24.9	13.3	16.7	46.2	1.9
	短期大学 全体	18.3	17.4	9.6	14.9	55.9	2.8	
高等専門学校 全体	5.5	3.6	3.6	10.9	74.5	5.5		

<参考>

平成25年度	大学 全体	35.9	25.0	16.6	20.0	39.8	1.8	
		国立	42.4	34.1	27.1	32.9	28.2	1.2
		公立	28.6	13.0	7.8	15.6	49.4	1.3
		私立	35.9	25.3	16.3	18.7	40.2	1.9
	短期大学 全体	24.3	16.4	14.3	16.4	51.1	1.2	
高等専門学校 全体	9.3	3.7	3.7	11.1	79.6	0.0		

就職ガイダンス・セミナー等の実施状況

就職ガイダンス・セミナー等の実施状況については、各学校種ともに、「全学で実施している」が最も高い。前回調査と比較すると、「全学で実施している」が減少している一方で、「学部あるいは学科単位で実施している」が増加している。



		全学で実施している	学部あるいは学科単位で実施している (※)	実施していない	無回答	
平成27年度	大学 全体	81.2	28.8	4.8	0.4	
	国立	91.8	55.3	4.7	0.0	
		公立	78.3	28.9	4.8	1.2
		私立	80.0	24.9	4.8	0.3
	短期大学 全体	78.6	26.1	2.8	0.3	
	高等専門学校 全体	81.8	21.8	0.0	1.8	

<参考>

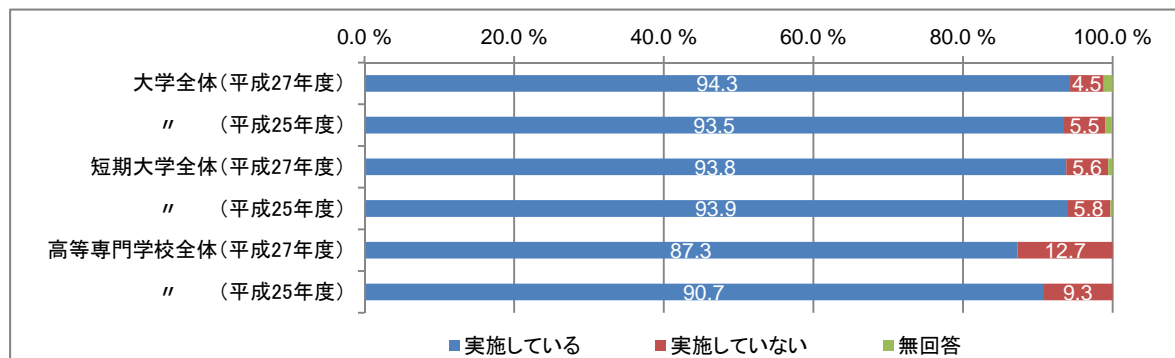
		全学で実施している	学部あるいは学科単位で実施している (※)	実施していない	無回答	
平成25年度	大学 全体	84.6	21.2	5.8	0.5	
	国立	92.9	45.9	5.9	0.0	
		公立	76.6	26.0	6.5	0.0
		私立	84.4	17.0	5.7	0.7
	短期大学 全体	82.7	21.0	3.0	0.3	
	高等専門学校 全体	92.6	9.3	3.7	0.0	

※ 平成27年度「学部あるいは学科単位で実施している」・平成25年度「学部単位で実施している」

【平成27年度調査 実施学年の平均値】		大学全体で実施	学部あるいは学科単位で実施
大学 全体		2.8	3.0
国立		2.8	2.9
公立		2.7	3.0
私立		2.8	3.1
短期大学 全体		1.6	1.7
高等専門学校 全体		3.4	3.6

卒業年次の学生全員に対する調査の実施

卒業年次の学生全員に対する調査の実施については、各学校種ともに実施率は高い。大学全体・短大全体は、前回調査とほぼ変化はなく、高専全体では減少している。実施している場合の年間平均回数は、高専全体が6.0回で、前回調査同様に最も高かった。



		実施している	実施していない	無回答
平成27年度	大学 全体	94.3	4.5	1.2
	国立	100.0	0.0	0.0
	公立	92.8	6.0	1.2
	私立	93.7	4.9	1.4
	短期大学 全体	93.8	5.6	0.6
	高等専門学校 全体	87.3	12.7	0.0

<参考>

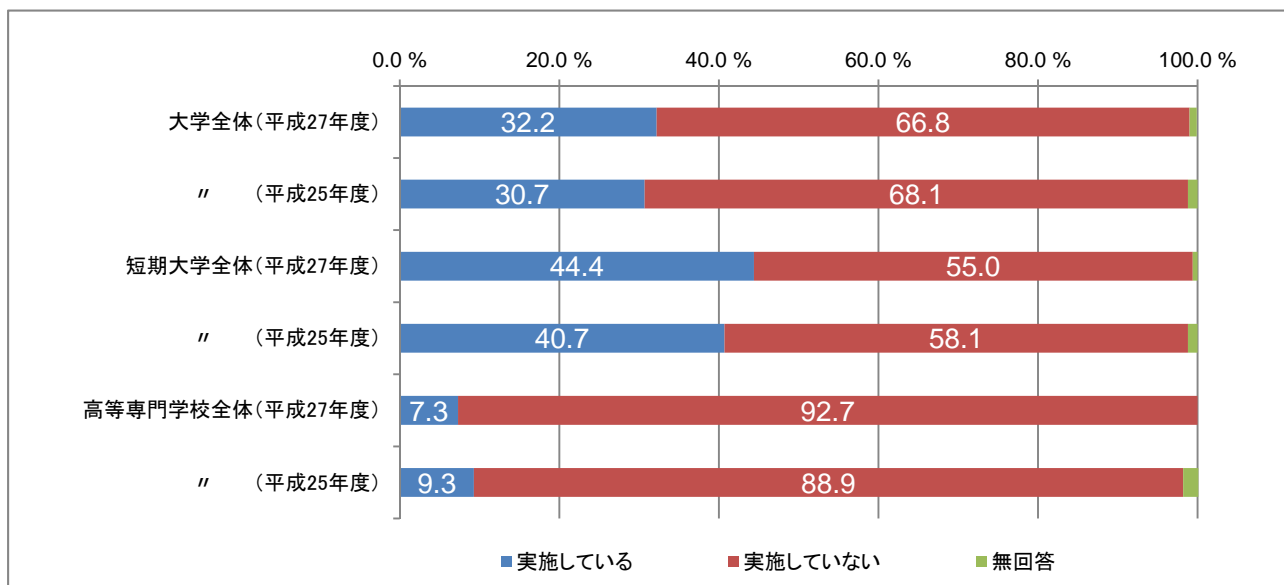
		実施している	実施していない	無回答
平成25年度	大学 全体	93.5	5.5	0.9
	国立	96.5	3.5	0.0
	公立	94.8	3.9	1.3
	私立	92.9	6.1	1.0
	短期大学 全体	93.9	5.8	0.3
	高等専門学校 全体	90.7	9.3	0.0

【実施している場合の年間の平均回数】

		平均回数
大学 全体		3.2
	国立	3.9
	公立	2.9
	私立	3.1
短期大学 全体		2.6
高等専門学校 全体		6.0

卒業生の現況調査の実施

卒業生の現況調査の実施について、学校種別でみると、最も実施率が高かったのは、短大全体 44.4%であった。前回調査と比較すると、大学全体・短大全体とも増加しているが、高専全体は減少している。



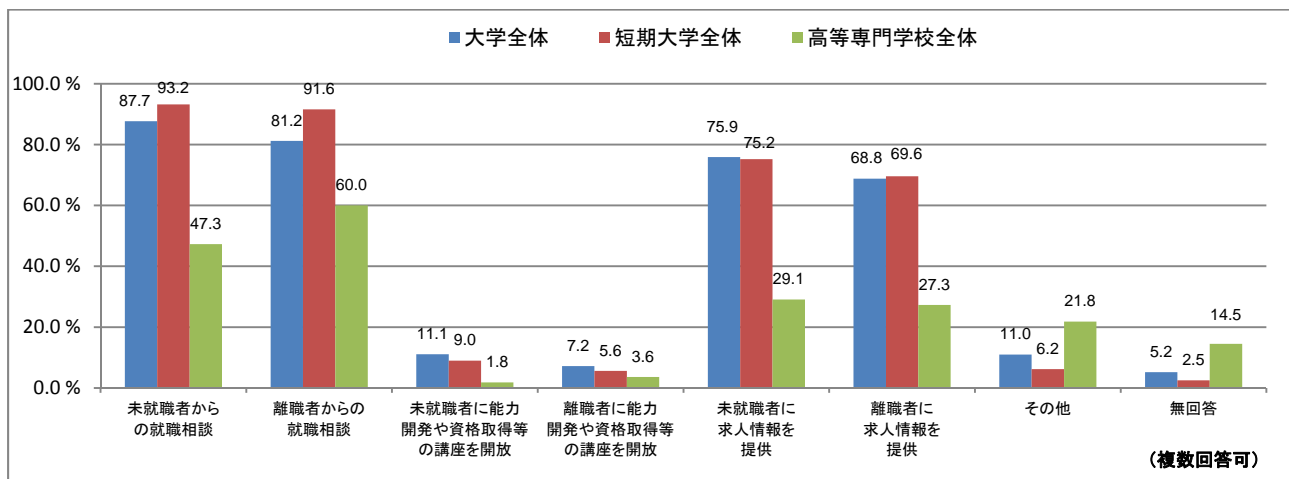
		実施している	実施していない	無回答
平成27年度	大学 全体	32.2	66.8	0.9
	国立	27.1	72.9	0.0
	公立	24.1	74.7	1.2
	私立	34.1	64.8	1.0
	短期大学 全体	44.4	55.0	0.6
高等専門学校 全体	7.3	92.7	0.0	

<参考>

平成25年度	大学 全体	30.7	68.1	1.2
	国立	31.8	68.2	0.0
	公立	24.7	74.0	1.3
	私立	31.4	67.2	1.4
	短期大学 全体	40.7	58.1	1.2
高等専門学校 全体	9.3	88.9	1.9	

卒業生に対する支援の状況

卒業生に対する支援の状況について、大学全体・短大全体で「未就職者からの就職相談」が大学全体 87.7%、短大全体 93.2%で最も高く、高専全体では、「離職者からの就職相談」が 60.0%と最も高かった。前回調査と比較すると、特に高専全体では「離職者からの就職相談」が 50.0%から 60.0%と増加した(10.0ポイント増)。



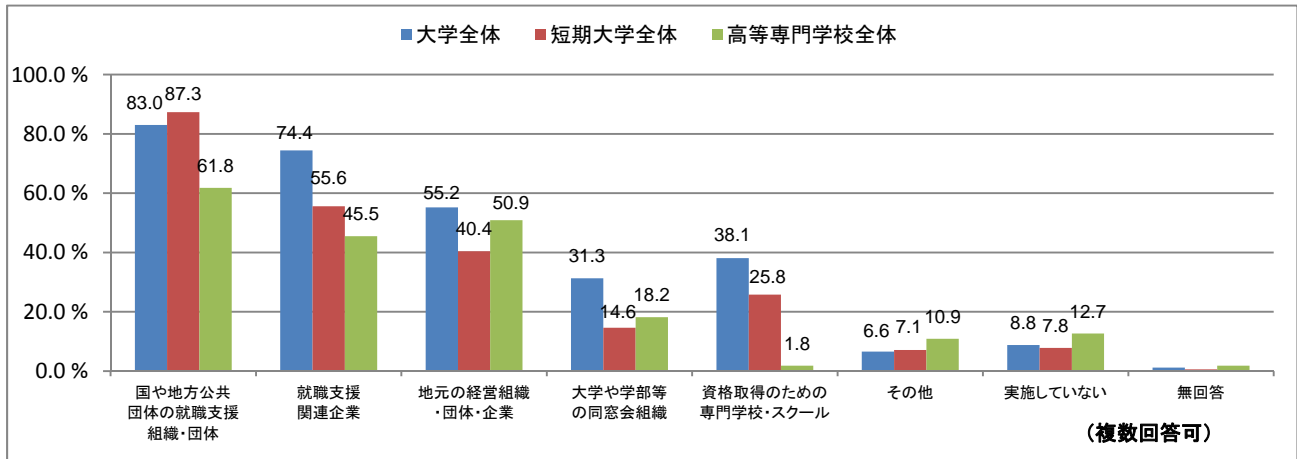
		未就職者からの就職相談	離職者からの就職相談	未就職者に能力開発や資格取得等の講座を開放	離職者に能力開発や資格取得等の講座を開放	未就職者に求人情報を提供	離職者に求人情報を提供	その他	無回答	
平成27年度	大学 全体	87.7	81.2	11.1	7.2	75.9	68.8	11.0	5.2	
		国立	90.6	77.6	15.3	10.6	81.2	70.6	17.6	3.5
		公立	77.1	69.9	9.6	7.2	50.6	43.4	8.4	12.0
		私立	88.7	83.3	10.8	6.7	78.7	72.2	10.4	4.4
	短期大学 全体	93.2	91.6	9.0	5.6	75.2	69.6	6.2	2.5	
高等専門学校 全体	47.3	60.0	1.8	3.6	29.1	27.3	21.8	14.5		

<参考>

		85.9	80.0	11.5	7.3	77.8	67.0	9.6	6.4	
平成25年度	大学 全体	85.9	80.0	11.5	7.3	77.8	67.0	9.6	6.4	
		国立	88.2	78.8	15.3	12.9	87.1	68.2	12.9	7.1
		公立	76.6	70.1	6.5	3.9	54.5	45.5	14.3	9.1
		私立	86.8	81.5	11.6	6.9	79.5	69.7	8.5	5.9
	短期大学 全体	89.1	90.0	6.7	5.8	79.3	73.6	6.1	3.0	
高等専門学校 全体	42.6	50.0	3.7	3.7	22.2	18.5	16.7	29.6		

学外の就職支援組織・団体と連携している就職支援

就職支援に関し、連携している学外の就職支援組織・団体については、「国や地方公共団体の就職支援組織・団体」が、大学全体83.0%、短大全体87.3%、高専全体61.8%と、各学校種ともに最も高い。前回調査と比較すると、特に高専全体において「地元の経営組織・団体・企業」が38.9%から50.9%と増加した(12.0ポイント増)。



		国や地方公共団体の就職支援組織・団体(※)	就職支援関連企業	地元の経営組織・団体・企業	大学や学部等の同窓会組織	資格取得のための専門学校・スクール	その他	実施していない	無回答
平成27年度	大学 全体	83.0	74.4	55.2	31.3	38.1	6.6	8.8	1.2
	国立	88.2	82.4	62.4	60.0	32.9	11.8	5.9	0.0
	公立	72.3	63.9	41.0	30.1	36.1	6.0	15.7	1.2
	私立	83.8	74.7	56.1	27.3	39.1	6.0	8.2	1.4
	短期大学 全体	87.3	55.6	40.4	14.6	25.8	7.1	7.8	0.6
高等専門学校 全体	61.8	45.5	50.9	18.2	1.8	10.9	12.7	1.8	

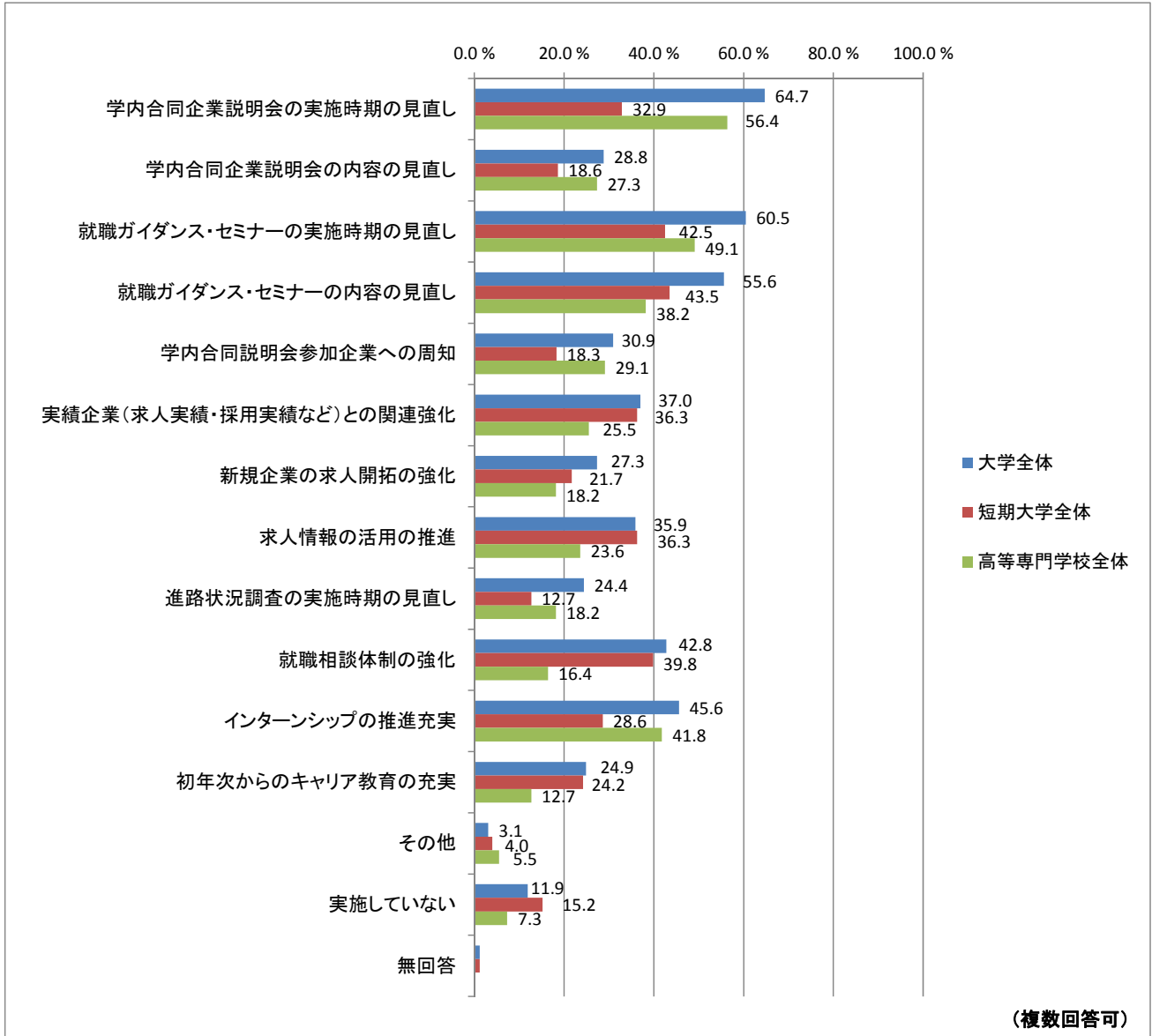
<参考>

平成25年度	大学 全体	83.6	74.6	56.0	31.1	35.2	6.1	8.0	1.8
	国立	87.1	85.9	60.0	56.5	28.2	14.1	8.2	1.2
	公立	79.2	74.0	49.4	29.9	32.5	3.9	10.4	1.3
	私立	83.7	73.0	56.3	27.6	36.6	5.2	7.6	1.9
	短期大学 全体	86.0	57.1	41.6	14.3	22.5	4.6	6.4	1.2
高等専門学校 全体	55.6	46.3	38.9	20.4	3.7	3.7	16.7	1.9	

※ 平成27年度「国や地方公共団体の就職支援組織・団体」・平成25年度「国や自治体主体の就職支援組織・団体」

就職・採用活動時期の変更への対応

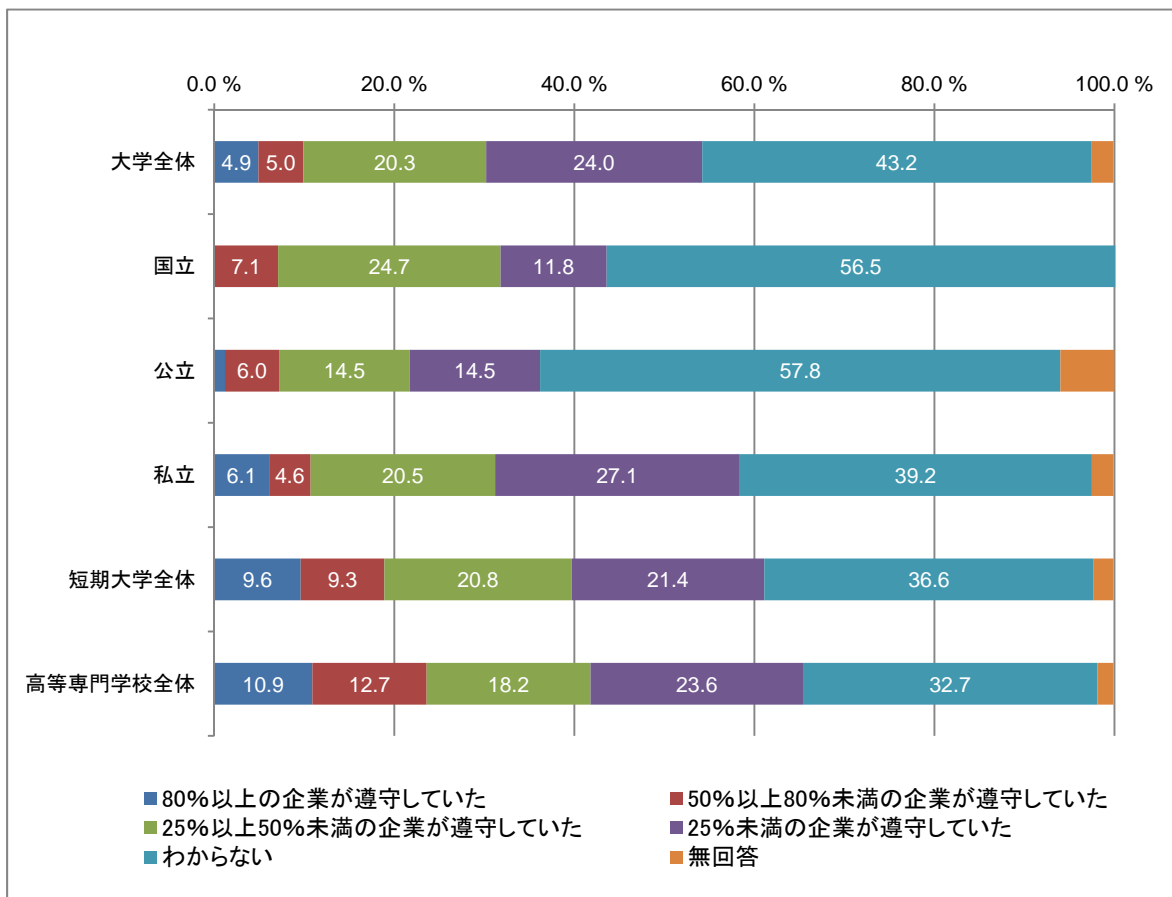
就職・採用活動時期の変更への対応について、大学全体・高専全体においては、「学内合同企業説明会の実施時期の見直し」が大学全体 64.7%、高専全体 56.4%と最も高く、短大全体では、「就職ガイダンス・セミナーの内容の見直し」が、43.5%と最も高かった。



	学内合同企業説明会の実施時期の見直し	学内合同企業説明会の内容の見直し	就職ガイダンス・セミナーの実施時期の見直し	就職ガイダンス・セミナーの内容の見直し	学内合同説明会参加企業への周知	実績企業(求人実績・採用実績など)との関連強化	新規企業の求人開拓の強化	求人情報の活用の推進	進路状況調査の実施時期の見直し	就職相談体制の強化	インターンシップの推進充実	初年次からのキャリア教育の充実	その他	実施していない	無回答	
大学 全体	64.7	28.8	60.5	55.6	30.9	37.0	27.3	35.9	24.4	42.8	45.6	24.9	3.1	11.9	1.2	
大学	国立	80.0	25.9	74.1	67.1	40.0	18.8	27.1	24.7	49.4	47.1	27.1	5.9	7.1	0.0	
	公立	53.0	18.1	50.6	47.0	9.6	24.1	15.7	18.1	24.1	25.3	30.1	13.3	2.4	20.5	3.6
	私立	64.2	30.7	59.9	55.1	32.6	41.5	30.7	39.8	24.4	44.4	47.6	26.3	2.7	11.4	1.0
短期大学 全体	32.9	18.6	42.5	43.5	18.3	36.3	21.7	36.3	12.7	39.8	28.6	24.2	4.0	15.2	1.2	
高等専門学校 全体	56.4	27.3	49.1	38.2	29.1	25.5	18.2	23.6	18.2	16.4	41.8	12.7	5.5	7.3	0.0	

企業の採用選考活動時期の状況

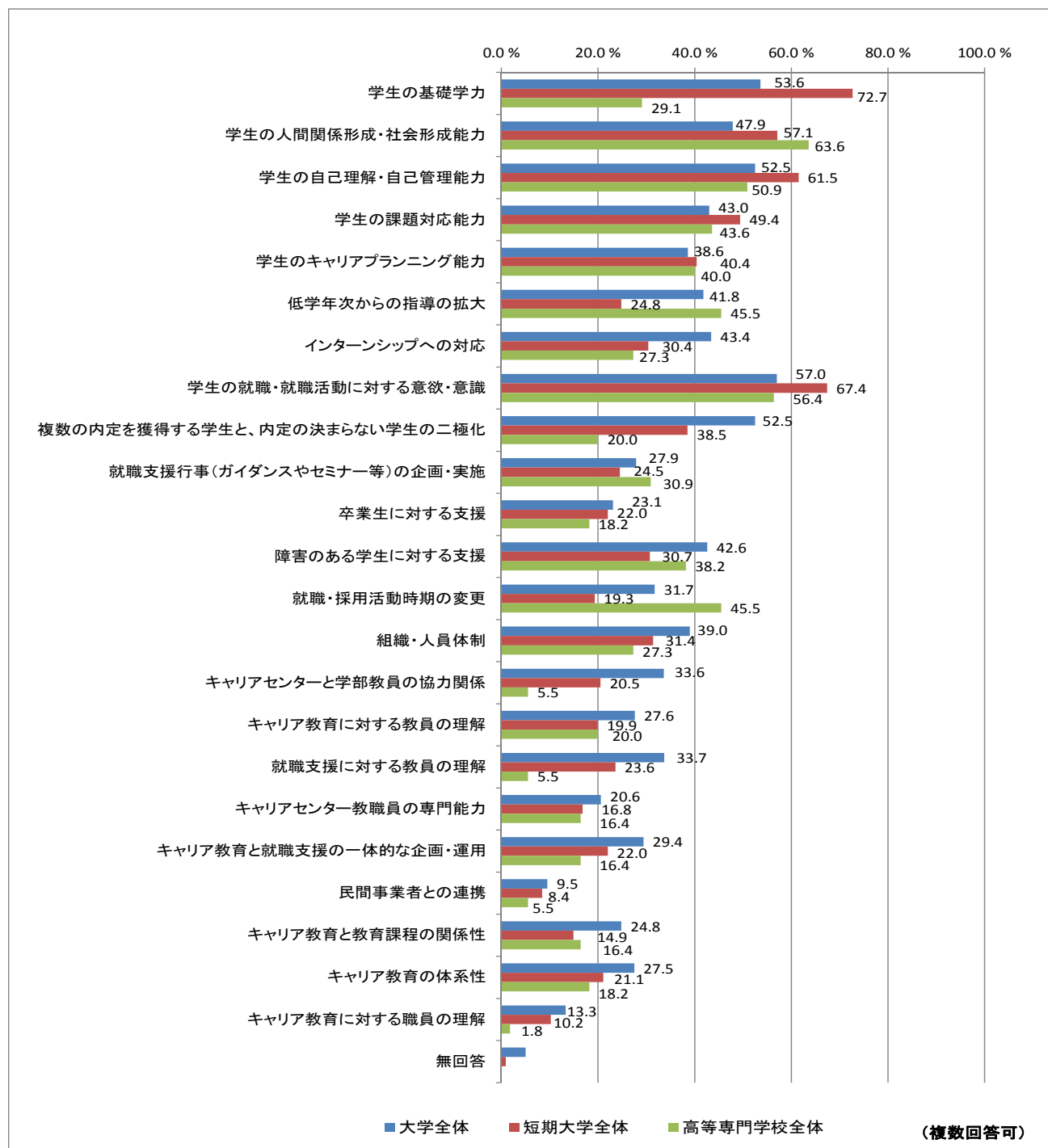
企業の採用選考活動時期について、各学校種とも、「わからない」が多くを含めている。「わからない」を除いた中では、各学校種とも、「25%未満の企業が遵守していた」の割合が、最も高くなっている。



	80%以上の企業が遵守していた	50%以上80%未満の企業が遵守していた	25%以上50%未満の企業が遵守していた	25%未満の企業が遵守していた	わからない	無回答
大学 全体	4.9	5.0	20.3	24.0	43.2	2.5
国立	0.0	7.1	24.7	11.8	56.5	0.0
公立	1.2	6.0	14.5	14.5	57.8	6.0
私立	6.1	4.6	20.5	27.1	39.2	2.4
短期大学 全体	9.6	9.3	20.8	21.4	36.6	2.2
高等専門学校 全体	10.9	12.7	18.2	23.6	32.7	1.8

キャリア教育・就職支援に関する課題

キャリア教育・就職支援に関する課題について、大学全体では「学生の就職・就職活動に対する意欲・意識」が 57.0%、短大全体では「学生の基礎学力」が 72.7%、高専全体では「学生の人間関係形成・社会形成能力」が 63.6%で、最も高い結果であった。各学校種共通して高いのは「学生の就職・就職活動に対する意欲・意識」(大学全体 57.0%、短大全体 67.4%、高専全体 56.4%)、「学生の自己理解・自己管理能力」(大学全体 52.5%、短大全体 61.5%、高専全体 50.9%)であった。



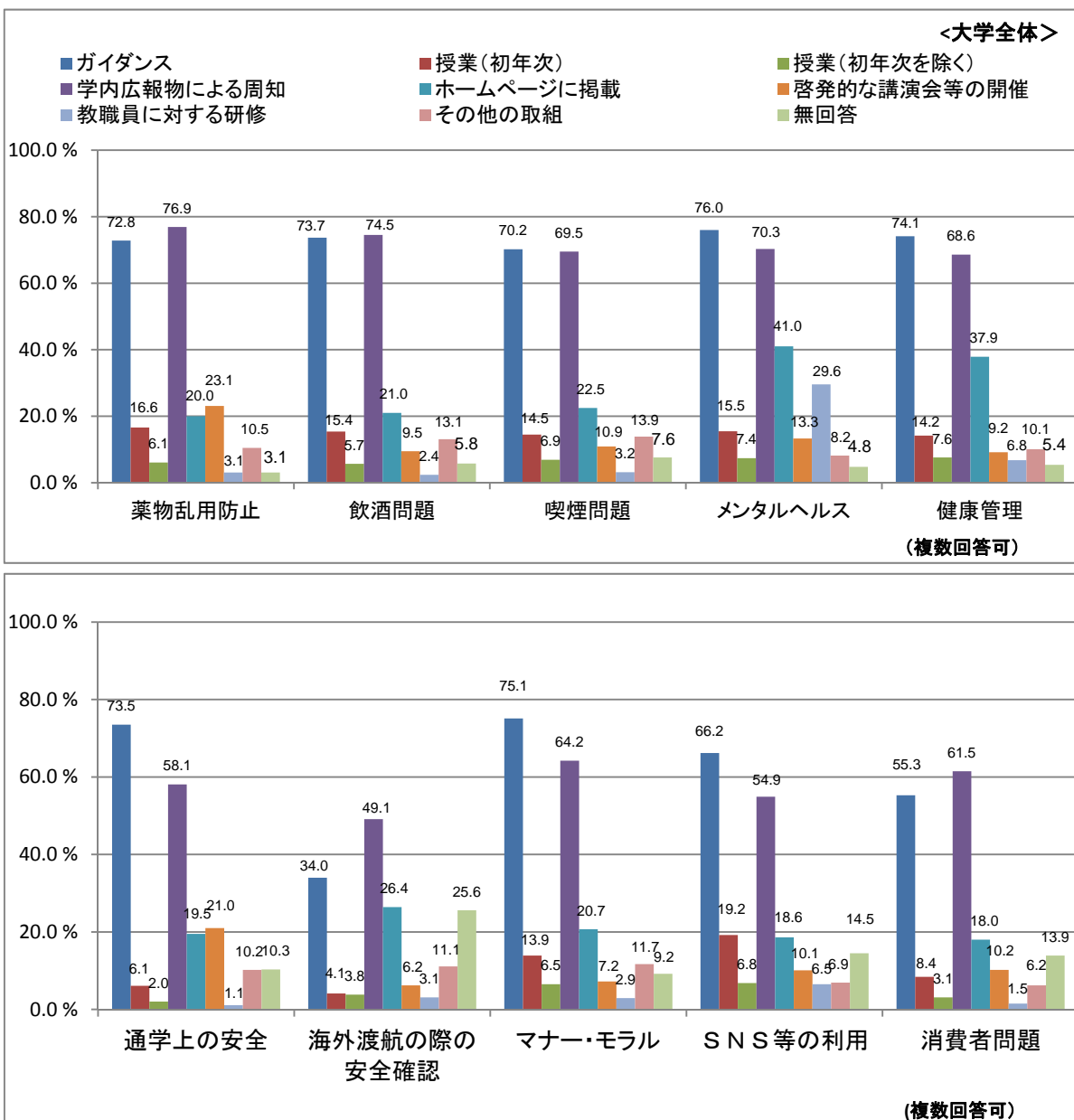
	学生の基礎 学力	学生の人間 関係形成・ 社会形成能 力	学生の自己 理解・自己 管理能力	学生の課題 対応能力	学生のキャ リアプランニ ング能力	低学年次か らの指導の 拡大	インターン シップへの 対応	学生の就 職・就職活 動に対する 意欲・意識	複数の内 定を獲得す る学生と、 内定の決ま らない学生 の二極化	就職支援 行事(ガイ ダンスやセ ミナー等) の企画・実 施	卒業生に対 する支援	障害のある 学生に対す る支援	
大学 全体	53.6	47.9	52.5	43.0	38.6	41.8	43.4	57.0	52.5	27.9	23.1	42.6	
	国立	17.6	50.6	45.9	42.4	37.6	44.7	50.6	48.2	51.8	31.8	38.8	47.1
	公立	19.3	30.1	24.1	19.3	27.7	25.3	27.7	39.8	37.3	30.1	20.5	24.1
	私立	63.7	50.0	57.5	46.4	40.3	43.7	44.5	60.8	54.8	27.0	21.2	44.5
短期大学 全体	72.7	57.1	61.5	49.4	40.4	24.8	30.4	67.4	38.5	24.5	22.0	30.7	
高等専門学校 全体	29.1	63.6	50.9	43.6	40.0	45.5	27.3	56.4	20.0	30.9	18.2	38.2	

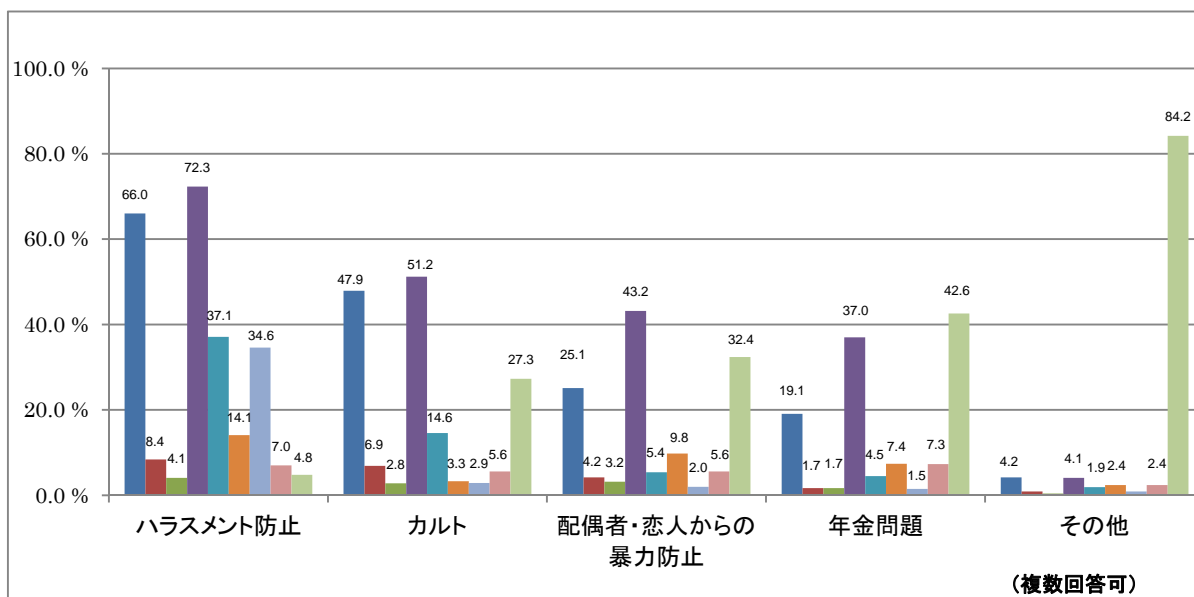
	就職・採用 活動時期 の変更	組織・人員 体制	キャリアセ ンターと学 部教員の 協力関係	キャリア教 育に対する 教員の理 解	就職支援に 対する教員 の理解	キャリアセ ンター-教職 員の専門 能力	キャリア教 育と就職支 援の一体 的な企画・ 運用	民間事業 者との連携	キャリア教 育と教育課 程の関係 性	キャリア教 育の体系 性	キャリア教 育に対する 職員理 解	無回答
大学 全体	31.7	39.0	33.6	27.6	33.7	20.6	29.4	9.5	24.8	27.5	13.3	5.0
	国立	49.4	47.1	41.2	34.1	42.4	18.8	30.6	11.8	28.2	35.3	2.4
	公立	26.5	39.8	32.5	19.3	30.1	13.3	20.5	9.6	20.5	21.7	9.6
	私立	29.9	37.7	32.6	27.8	32.9	21.8	30.5	9.2	24.9	27.1	4.8
短期大学 全体	19.3	31.4	20.5	19.9	23.6	16.8	22.0	8.4	14.9	21.1	10.2	0.9
高等専門学校 全体	45.5	27.3	5.5	20.0	5.5	16.4	16.4	5.5	16.4	18.2	1.8	0.0

IV 生活支援

学生に対する事件・事故の防止等に関する指導・啓発の実施

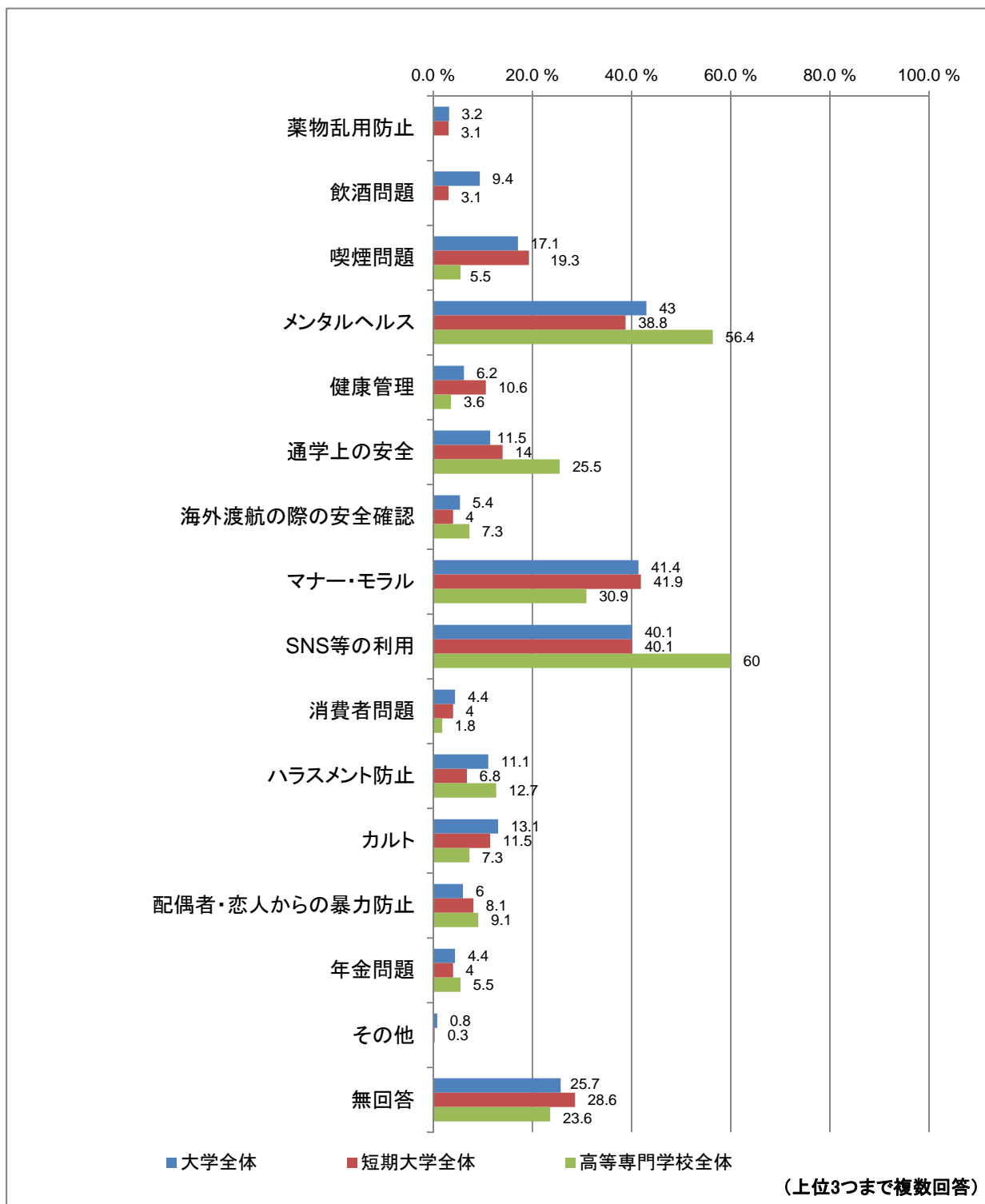
学生に対する事件・事故の防止等に関する指導・啓発のための取組については、大学全体では多くの事項で【ガイダンス】【学内広報物による周知】が高く、また「メンタルヘルス」では【ホームページに掲載】も高かった。高専全体では、大学全体・短大全体と比較すると特に、「薬物乱用防止」「通学上の安全」「SNS等の利用」において【啓発的な講演会等の開催】の割合が高い。





学生に対する事件・事故の防止等に関する対応が困難な事項

学生に対する事件・事故の防止等に関する対応が困難な事項としては、各学校種共通して、「メンタルヘルス」(大学全体 43.0%、短大全体 38.8%、高専全体 56.4%)、「マナー・モラル」(大学全体 41.4%、短大全体 41.9%、高専全体 30.9%)、「SNS等の利用」(大学全体 40.1%、短大全体 40.1%、高専全体 60.0%)が高くなっている。前回調査と比較すると、各学校種共通して、SNS等の利用は増加している(大学全体 12.6ポイント増、短大全体 11.2ポイント増、高専全体 17.4ポイント増)



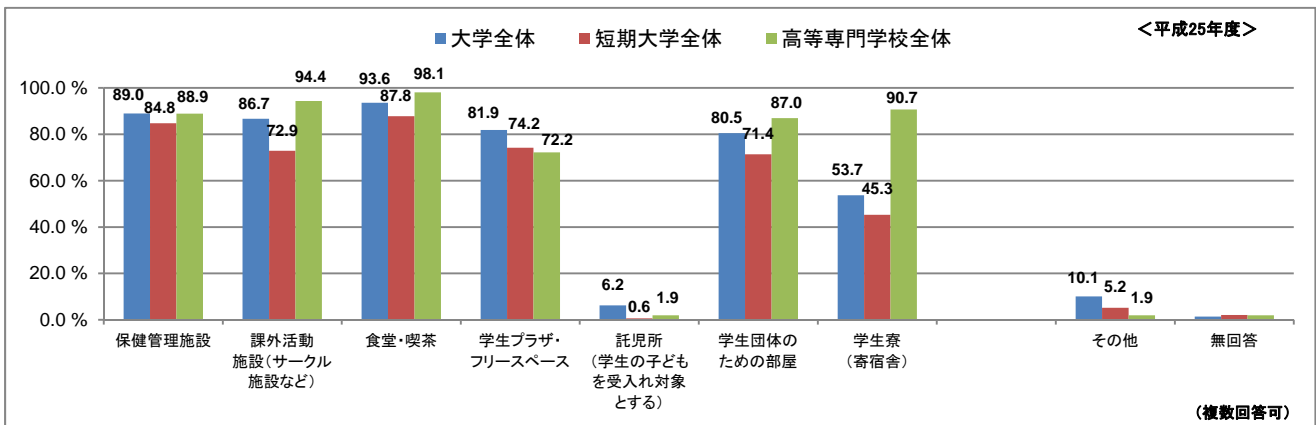
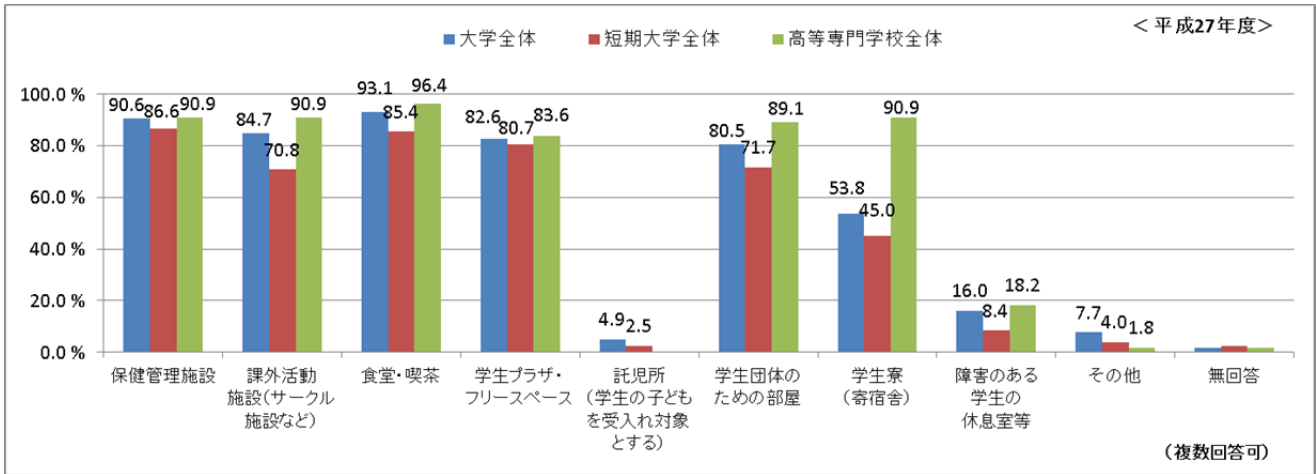
		薬物乱用防止	飲酒問題	喫煙問題	メンタルヘルス	健康管理	通学上の安全	海外渡航の際の安全確認	マナー・モラル	SNS等の利用	消費者問題	ハラスメント防止	カルト	配偶者・恋人からの暴力防止	年金問題	その他	無回答
平成27年度	大学 全体	3.2	9.4	17.1	43.0	6.2	11.5	5.4	41.4	40.1	4.4	11.1	13.1	6.0	4.4	0.8	25.7
	国立	1.2	34.1	5.9	51.8	7.1	10.6	3.5	43.5	21.2	2.4	18.8	22.4	3.5	1.2	0.0	23.5
	公立	1.2	15.7	3.6	42.2	9.6	9.6	6.0	19.3	19.3	4.8	14.5	15.7	6.0	6.0	1.2	37.3
	私立	3.8	4.9	20.6	41.8	5.6	11.9	5.6	44.2	45.7	4.6	9.6	11.4	6.3	4.6	0.9	24.4
	短期大学 全体	3.1	3.1	19.3	38.8	10.6	14.0	4.0	41.9	40.1	4.0	6.8	11.5	8.1	4.0	0.3	28.6
高等専門学校 全体	0.0	0.0	5.5	56.4	3.6	25.5	7.3	30.9	60.0	1.8	12.7	7.3	9.1	5.5	0.0	23.6	

<参考>

平成25年度	大学 全体	3.8	10.7	21.9	41.8	6.2	11.5	3.7	40.1	27.5	4.1	10.8	16.1	6.9	4.5	1.2	28.0
	国立	2.4	36.5	11.8	54.1	5.9	9.4	4.7	41.2	15.3	3.5	20.0	30.6	5.9	3.5	1.2	16.5
	公立	3.9	9.1	5.2	44.2	16.9	19.5	2.6	24.7	19.5	2.6	10.4	15.6	5.2	6.5	2.6	36.4
	私立	4.0	7.1	25.6	39.7	4.9	10.7	3.6	41.9	30.3	4.3	9.5	14.0	7.3	4.3	1.0	28.6
	短期大学 全体	2.1	3.0	21.6	40.7	9.4	11.9	5.8	38.3	28.9	3.3	6.4	5.8	10.0	4.9	0.6	35.0
高等専門学校 全体	3.7	9.3	13.0	50.0	7.4	22.2	5.6	31.5	42.6	1.9	5.6	3.7	3.7	1.9	0.0	27.8	

学生生活に関する施設の設置状況

各学校種共通して「保健管理施設」(大学全体 90.6%、短大全体 86.6%、高専全体 90.9%)、「食堂・喫茶」(大学全体 93.1%、短大全体 85.4%、高専全体 96.4%)が高くなっている。平成27年度からの追加項目「障害のある学生の休息室等」については、(大学全体 16.0%、短大全体 8.4%、高専全体 18.2%)であった。



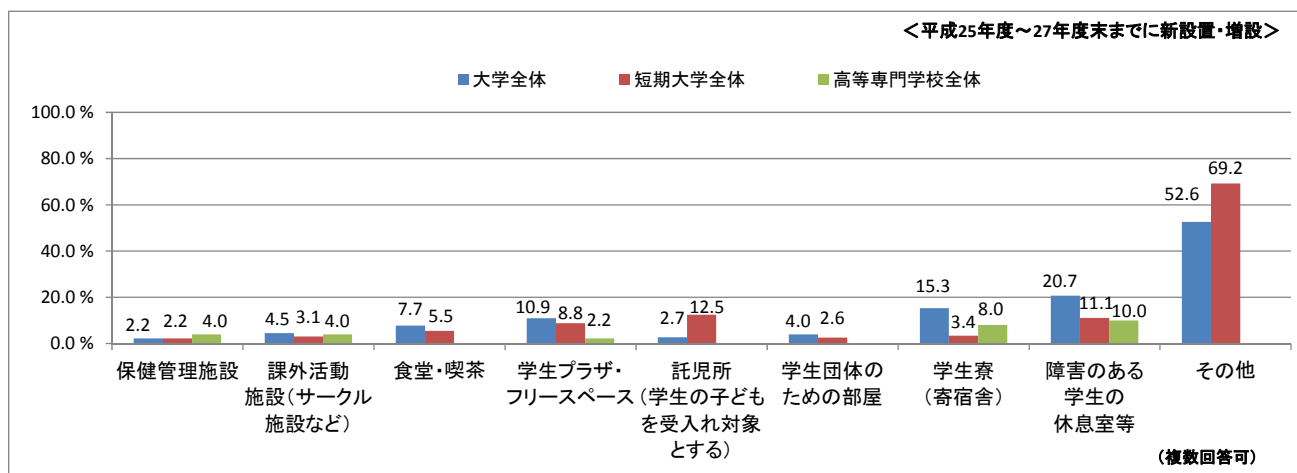
		保健管理施設	課外活動施設 (サークル施設など)	食堂・喫茶	学生プラザ・フリースペース	託児所 (学生の子どもを受入れ対象とする)	学生団体のための部屋	学生寮 (寄宿舎)	障害のある学生の 休息室等	その他	無回答	
平成27年度	大学 全体	90.6	84.7	93.1	82.6	4.9	80.5	53.8	16.0	7.7	1.6	
		国立	97.6	96.5	97.6	91.8	18.8	83.5	94.1	29.4	14.1	0.0
		公立	92.8	85.5	96.4	77.1	4.8	84.3	34.9	7.2	6.0	0.0
		私立	89.2	82.9	92.0	82.1	2.9	79.5	50.7	15.4	7.0	2.0
	短期大学 全体	86.6	70.8	85.4	80.7	2.5	71.7	45.0	8.4	4.0	2.5	
	高等専門学校 全体	90.9	90.9	96.4	83.6	0.0	89.1	90.9	18.2	1.8	1.8	

<参考>

平成25年度	大学 全体	89.0	86.7	93.6	81.9	6.2	80.5	53.7	/	10.1	1.4	
		国立	97.6	95.3	96.5	88.2	28.2	85.9		90.6	23.5	1.2
		公立	92.2	85.7	97.4	74.0	6.5	81.8		33.8	3.9	0.0
		私立	87.3	85.6	92.7	82.0	2.9	79.5		51.0	9.0	1.6
	短期大学 全体	84.8	72.9	87.8	74.2	0.6	71.4	45.3		5.2	2.1	
	高等専門学校 全体	88.9	94.4	98.1	72.2	1.9	87.0	90.7	1.9	1.9		

上記の回答のうち平成25年度～27年度末までに新設置・増設した(する)割合

大学全体・短大全体では「その他」(大学全体 52.6%、短大全体 69.2%)が高く、「その他」には、ラーニングコモンズ、売店・コンビニエンスストア等があった。平成27年度調査における新たな選択肢「障害のある学生の休息室等」(大学全体 20.7%、短大全体 11.1%、高専全体 10.0%)については、各学校種共通して、割合が高かった。



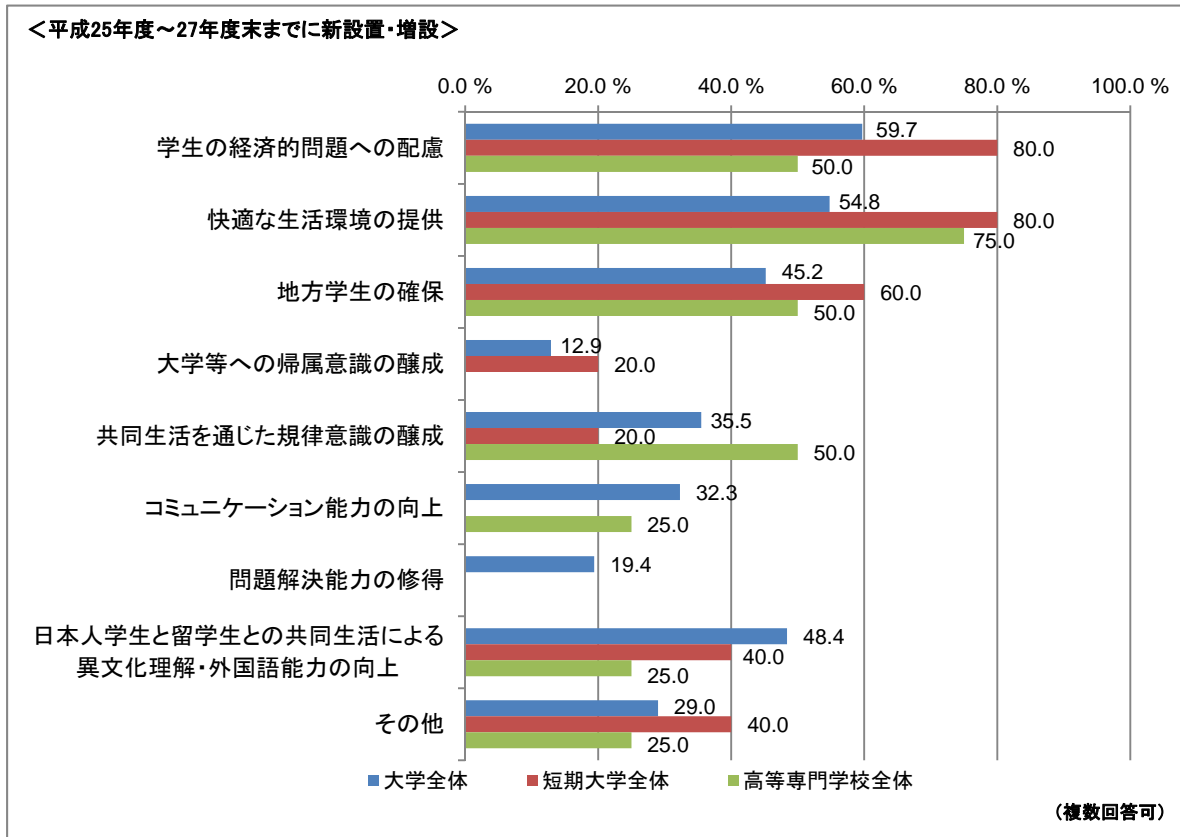
		保健管理施設	課外活動施設 (サークル施設など)	食堂・喫茶	学生プラザ・フリースペース	託児所 (学生の子どもを受入れ対象とする)	学生団体のための部屋	学生寮 (寄宿舎)	障害のある学生の 休息室等	その他	
平成25年度 設置・末年度 増設まで	大学 全体	2.2	4.5	7.7	10.9	2.7	4.0	15.3	20.7	52.6	
		国立	1.2	6.1	12.0	9.0	0.0	4.2	22.5	32.0	45.5
		公立	1.3	0.0	2.5	7.8	0.0	1.4	10.3	50.0	60.0
		私立	2.5	4.9	7.8	11.6	5.9	4.3	13.8	15.6	53.7
	短期大学 全体	2.2	3.1	5.5	8.8	12.5	2.6	3.4	11.1	69.2	
	高等専門学校 全体	4.0	4.0	0.0	2.2	0.0	0.0	8.0	10.0	0.0	

<参考>

平成25年度 設置・末年度 増設まで	大学 全体	3.6	5.9	7.9	10.2	21.7	5.0	22.2	/	53.3	
		国立	1.2	7.4	12.2	10.7	20.8	5.5		29.9	55.0
		公立	5.6	1.5	5.3	7.0	0.0	0.0		23.1	66.7
		私立	3.8	6.3	7.7	10.6	29.4	5.7		20.1	51.9
	短期大学 全体	1.4	2.9	3.1	5.7	100.0	3.4	8.1		41.2	
	高等専門学校 全体	2.1	3.9	0.0	5.1	0.0	0.0	16.3	0.0		

平成 25 年度～27 年度末までに学生寮（寄宿舎）を新たに設置・増設した（する）理由

平成25年度～27年度末までに学生寮（寄宿舎）を新たに設置・増設した（する）理由について、各学校種共通して、「学生の経済的問題への配慮」（大学全体 59.7%、短大全体 80.0%、高専全体 50.0%）、「快適な生活環境の提供」（大学全体 54.8%、短大全体 80.0%、高専全体 75.0%）、「地方学生の確保」（大学全体 45.2%、短大全体 60.0%、高専全体 50.0%）が高くなっている。



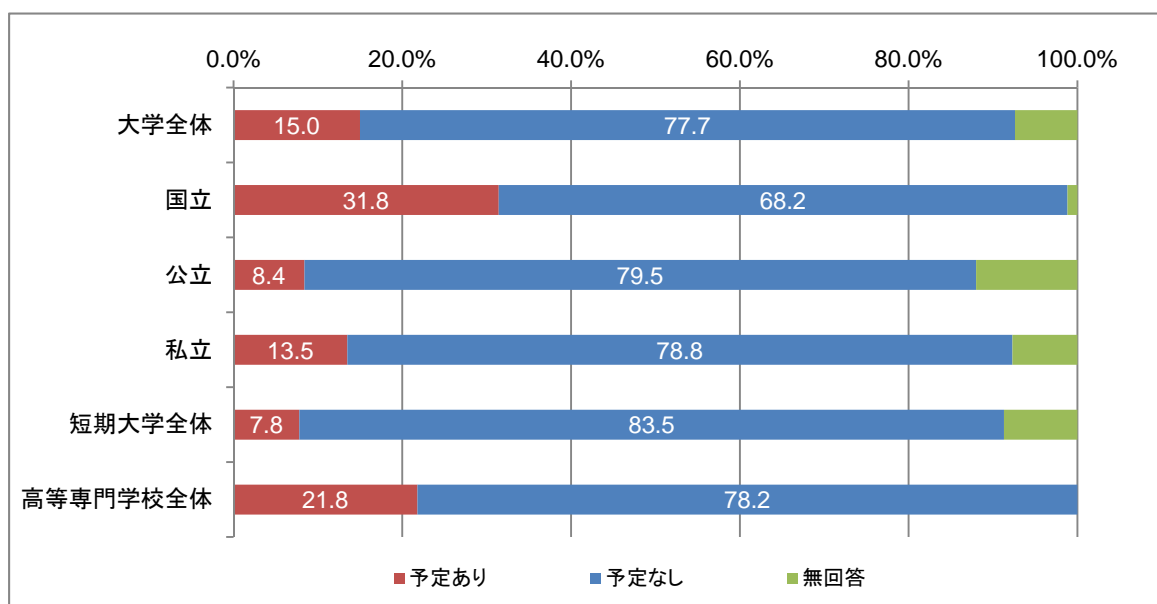
		学生の経済的問題への配慮	快適な生活環境の提供	地方学生の確保	大学等への帰属意識の醸成	共同生活を通じた規律意識の醸成	コミュニケーション能力の向上	問題解決能力の修得	日本人学生と留学生との共同生活による異文化理解・外国語能力の向上	その他
平成27年度	大学 全体	59.7	54.8	45.2	12.9	35.5	32.3	19.4	48.4	29.0
	国立	72.2	61.1	16.7	0.0	27.8	27.8	16.7	66.7	33.3
	公立	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
	私立	56.1	53.7	61.0	19.5	39.0	34.1	19.5	41.5	26.8
	短期大学 全体	80.0	80.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	40.0
	高等専門学校 全体	50.0	75.0	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	25.0

<参考>

平成25年度	大学 全体	62.5	58.0	51.1	17.0	40.9	28.4	21.6	39.8	22.7
	国立	73.9	69.6	34.8	8.7	30.4	26.1	21.7	47.8	26.1
	公立	33.3	50.0	16.7	0.0	66.7	33.3	33.3	50.0	16.7
	私立	61.0	54.2	61.0	22.0	42.4	28.8	20.3	35.6	22.0
	短期大学 全体	75.0	66.7	66.7	25.0	58.3	50.0	25.0	25.0	8.3
	高等専門学校 全体	62.5	75.0	62.5	0.0	50.0	37.5	25.0	50.0	25.0

学生寮（寄宿舎）の平成 28 年度以降の設置・増設予定

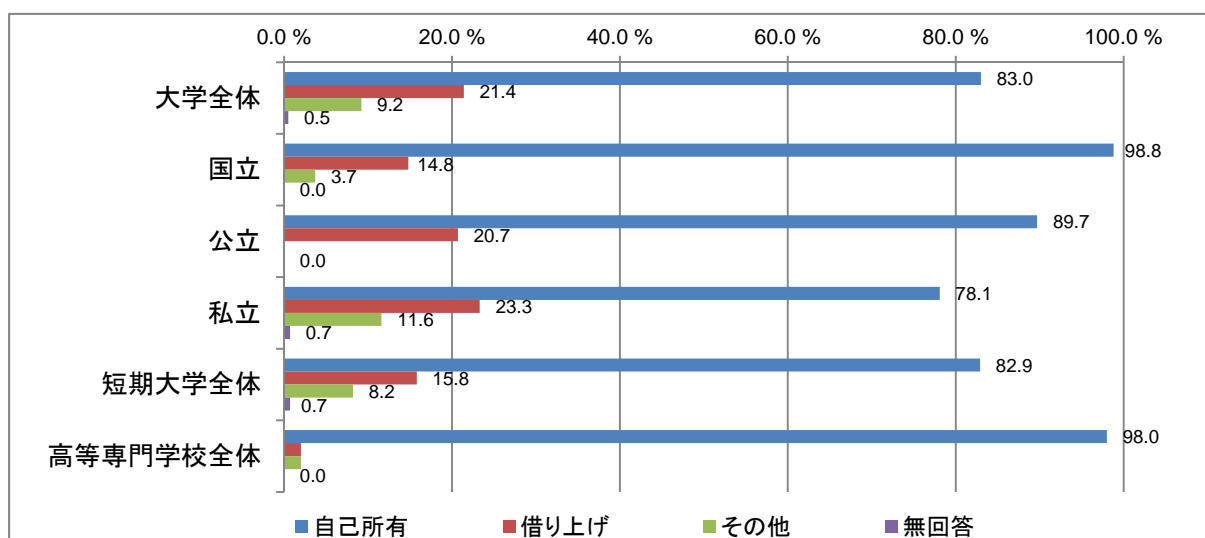
学生寮(寄宿舎)の平成 28 年度以降の設置・増設を予定している学校は、大学全体 15.0%、短大全体 7.8%、高専全体 21.8%となっている。



		予定あり	予定なし	無回答
大学	全体	15.0	77.7	7.4
	国立	31.8	68.2	1.2
	公立	8.4	79.5	12.0
	私立	13.5	78.8	7.7
短期大学	全体	7.8	83.5	8.7
高等専門学校	全体	21.8	78.2	0.0

学生寮（寄宿舎）の保有形態の状況

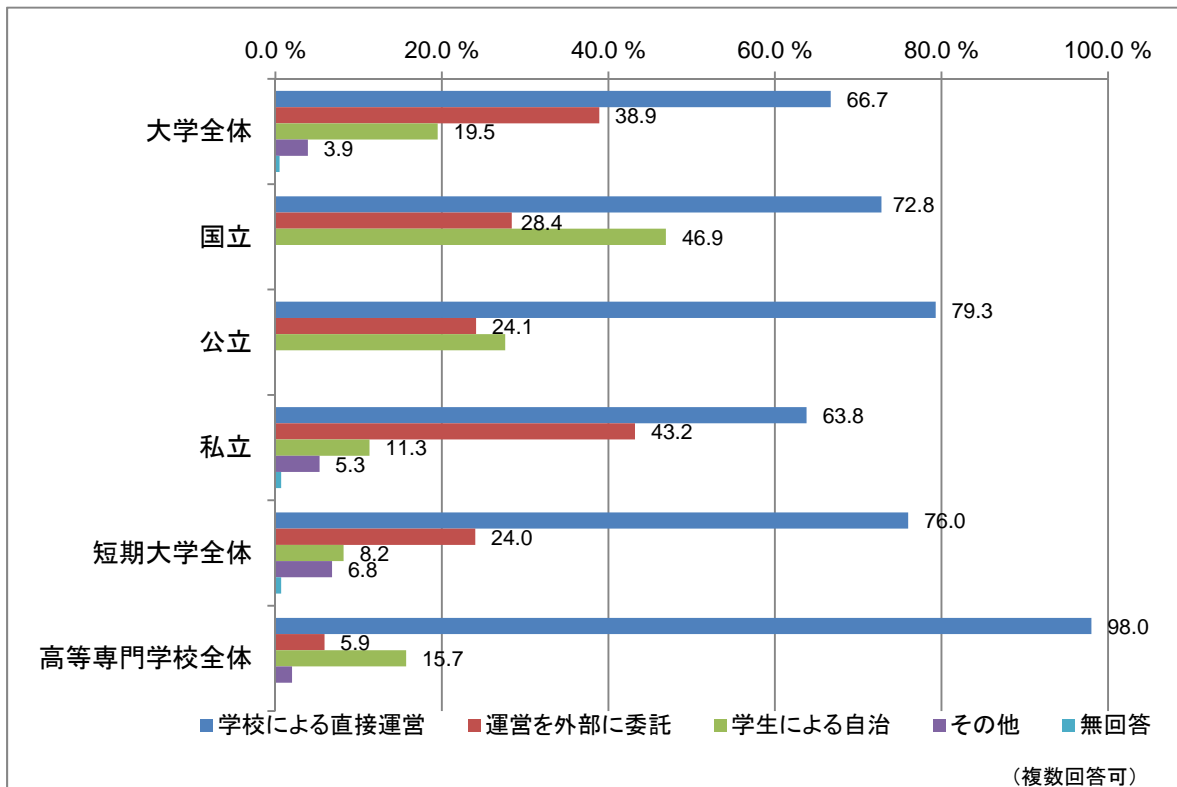
学生寮(寄宿舎)の保有形態の状況については、全学校種において「自己所有」が8割を超えている。「借り上げ」の形態は、大学の設置者別では、私立大学が23.3%と最も高い。



		自己所有	借り上げ	その他	無回答
大学 全体		83.0	21.4	9.2	0.5
	国立	98.8	14.8	3.7	0.0
	公立	89.7	20.7	0.0	0.0
	私立	78.1	23.3	11.6	0.7
短期大学 全体		82.9	15.8	8.2	0.7
高等専門学校 全体		98.0	2.0	2.0	0.0

学生寮（寄宿舎）の運営形態の状況

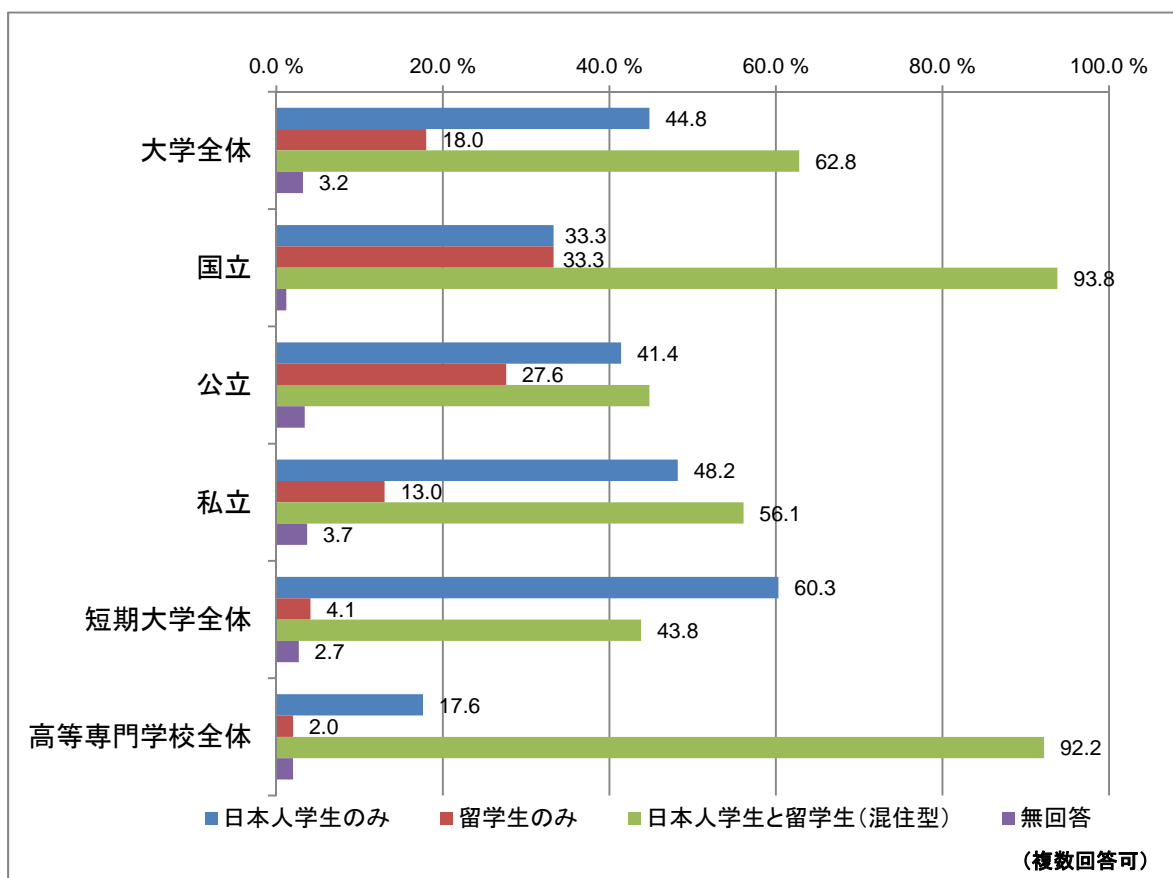
学生寮(寄宿舎)の運営形態の状況については、全学校種において「学校による直接運営」が6割以上となっている。大学の設置者別では、私立大学が「運営を外部に委託」が43.2%と高い。



		学校による直接運営	運営を外部に委託	学生による自治	その他	無回答
大学 全体		66.7	38.9	19.5	3.9	0.5
	国立	72.8	28.4	46.9	0.0	0.0
	公立	79.3	24.1	27.6	0.0	0.0
	私立	63.8	43.2	11.3	5.3	0.7
短期大学 全体		76.0	24.0	8.2	6.8	0.7
高等専門学校 全体		98.0	5.9	15.7	2.0	0.0

学生寮の入居学生について

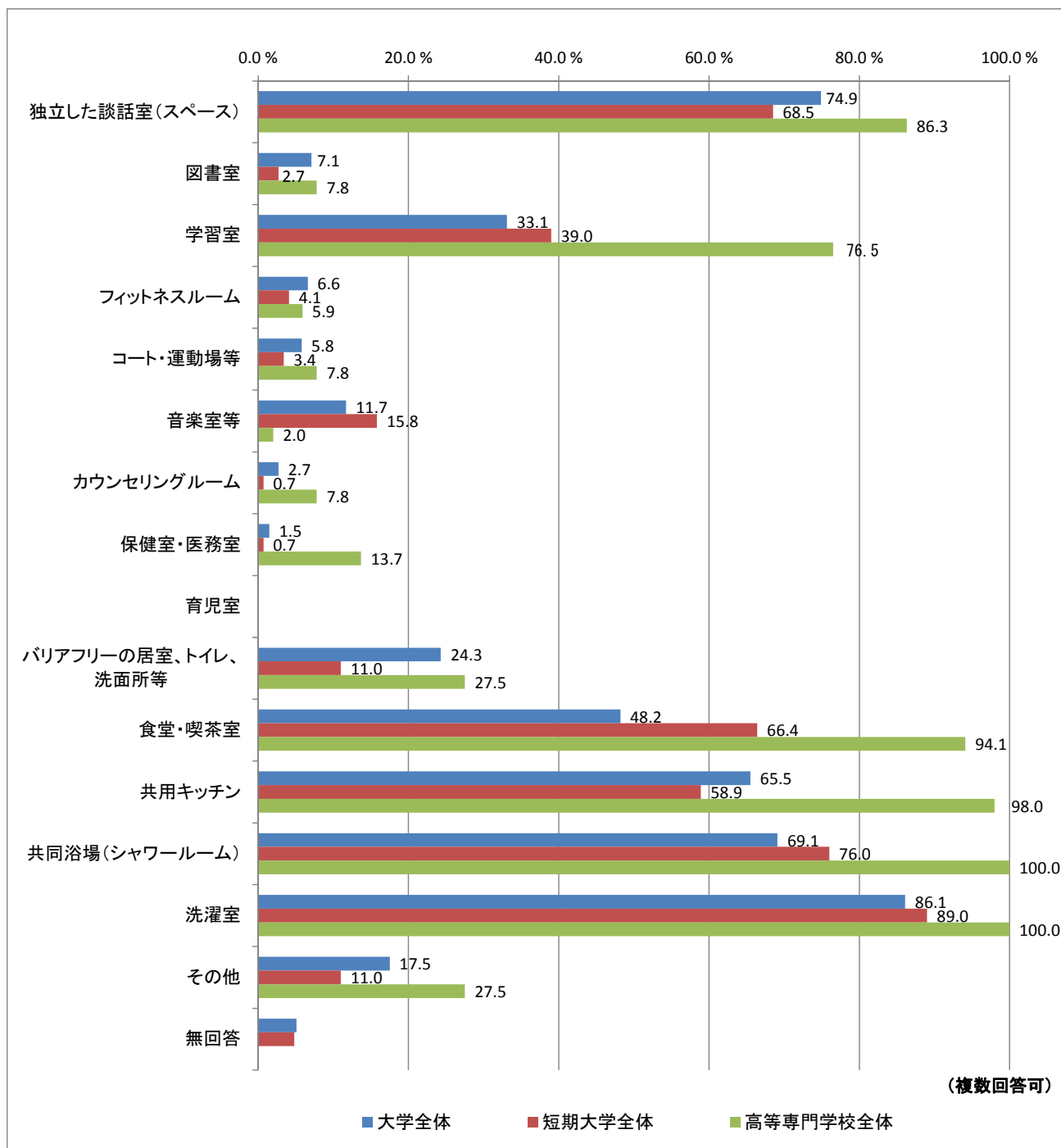
学生寮の入居学生については、大学全体・高専全体では「日本人学生と留学生(混住型)」の割合が高く、大学の設置者別では、国立大学 93.8%と特に高い。



	日本人学生のみ	留学生のみ	日本人学生と留学生(混住型)	無回答
大学 全体	44.8	18.0	62.8	3.2
国立	33.3	33.3	93.8	1.2
公立	41.4	27.6	44.8	3.4
私立	48.2	13.0	56.1	3.7
短期大学 全体	60.3	4.1	43.8	2.7
高等専門学校 全体	17.6	2.0	92.2	2.0

学生寮(寄宿舍)の付帯施設

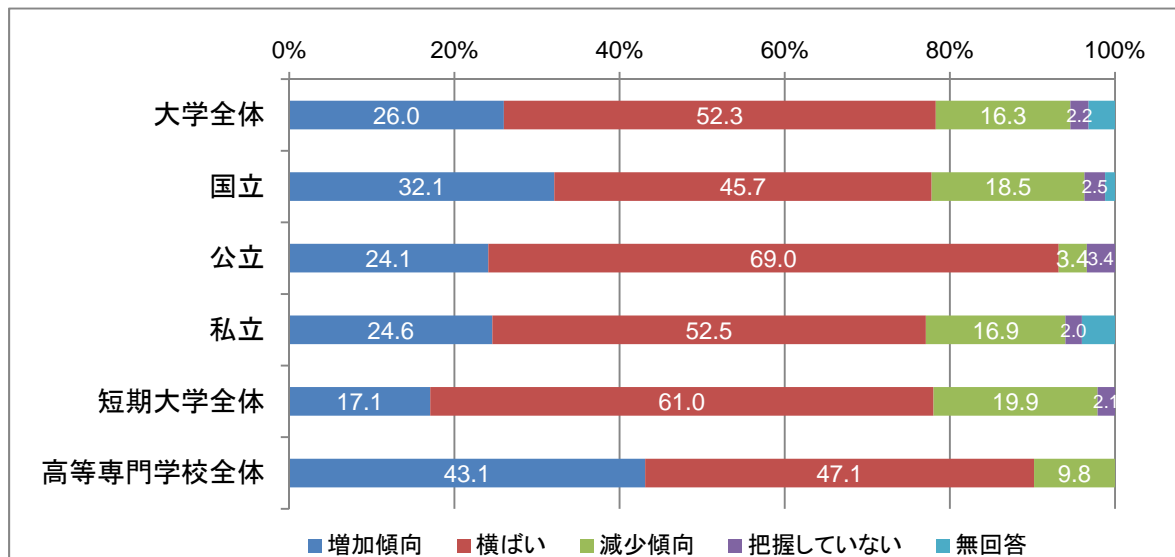
学生寮(寄宿舍)の付帯施設について、各学校種共通して設置率が高かったのは「洗濯室」「独立した談話室」であった。高専全体においては、大学全体・短大全体と比較すると、全体的に設置率が高い傾向となっている。また「その他」では、パソコンルーム、多目的室等があった。



	独立した談話室(スペース)	図書室	学習室	フィットネスルーム	コート・運動場等	音楽室等	カウンセリングルーム	保健室・医務室	育児室	バリアフリーの居室、トイレ、洗面所等	食堂・喫茶室	共用キッチン	共同浴場(シャワールーム)	洗濯室	その他	無回答
大学 全体	74.9	7.1	33.1	6.6	5.8	11.7	2.7	1.5	0.0	24.3	48.2	65.5	69.1	86.1	17.5	5.1
国立	98.8	17.3	30.9	3.7	11.1	9.9	1.2	0.0	0.0	39.5	18.5	84.0	85.2	96.3	24.7	0.0
公立	62.1	0.0	24.1	3.4	0.0	3.4	0.0	6.9	0.0	31.0	37.9	58.6	55.2	72.4	6.9	13.8
私立	69.8	5.0	34.6	7.6	5.0	13.0	3.3	1.3	0.0	19.6	57.1	61.1	66.1	84.7	16.6	5.6
短期大学 全体	68.5	2.7	39.0	4.1	3.4	15.8	0.7	0.7	0.0	11.0	66.4	58.9	76.0	89.0	11.0	4.8
高等専門学校 全体	86.3	7.8	76.5	5.9	7.8	2.0	7.8	13.7	0.0	27.5	94.1	98.0	100.0	100.0	27.5	0.0

過去3年の学生寮（寄宿舍）への入居希望者数の傾向

過去3年の学生寮（寄宿舍）への入居希望者数の傾向としては、大学全体・短大全体については「横ばい」の割合が高い。一方で、高専全体においては「増加傾向」が43.1%と高くなっている。

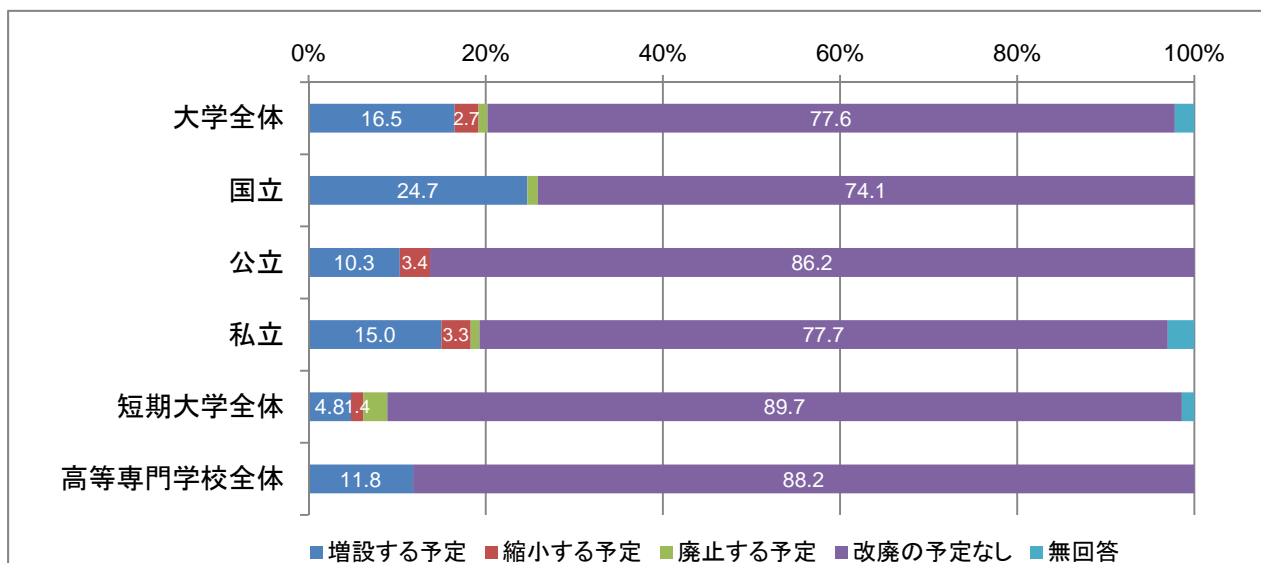


		増加傾向	横ばい	減少傾向	把握していない	無回答
大学	全体	26.0	52.3	16.3	2.2	3.2
	国立	32.1	45.7	18.5	2.5	1.2
	公立	24.1	69.0	3.4	3.4	0.0
	私立	24.6	52.5	16.9	2.0	4.0
短期大学	全体	17.1	61.0	19.9	2.1	0.0
高等専門学校	全体	43.1	47.1	9.8	0.0	0.0

※学生寮を設置していると回答した学校を対象とした。

学生寮（寄宿舍）の今後の予定

学生寮（寄宿舍）の今後の予定について、各学校種とも「改廃の予定なし」が多くを含めているが、大学全体・短大全体の約4%は、「縮小する予定」「廃止する予定」と回答があった。

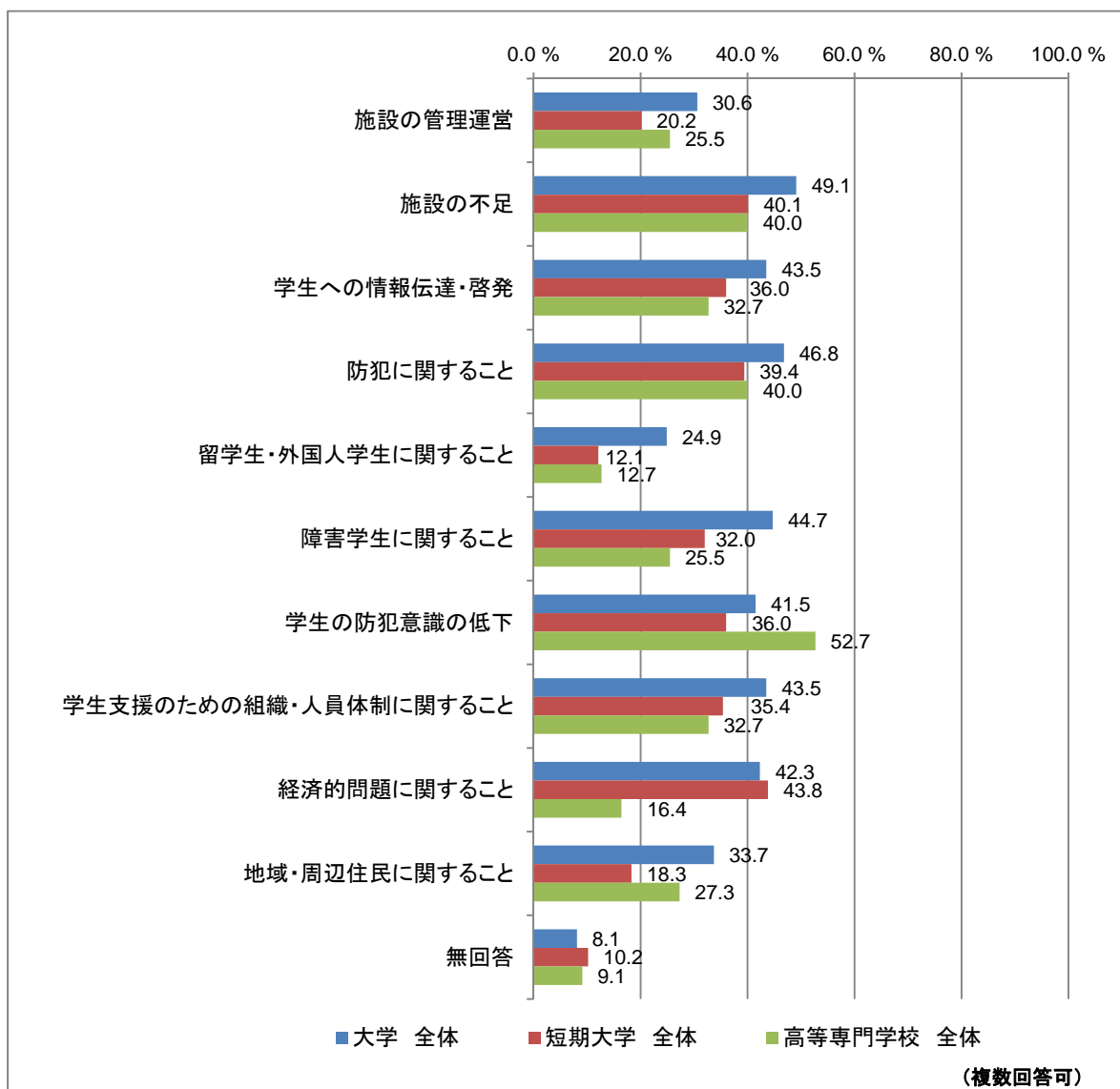


	増設する 予定	縮小する 予定	廃止する 予定	改廃の予 定なし	無回答
大学 全体	16.5	2.7	1.0	77.6	2.2
国立	24.7	0.0	1.2	74.1	0.0
公立	10.3	3.4	0.0	86.2	0.0
私立	15.0	3.3	1.0	77.7	3.0
短期大学 全体	4.8	1.4	2.7	89.7	1.4
高等専門学校 全体	11.8	0.0	0.0	88.2	0.0

※学生寮を設置していると回答した学校を対象とした。

学生生活支援に関する課題

学生生活支援に関する課題については、各学校種共通して「施設の不足」「防犯に関すること」が約 40%~50%と高くなっている。学校種別でみると、大学全体では「障害学生に関すること」、高専全体では「学生の防犯意識の低下」が他校種と比較して高くなっている。

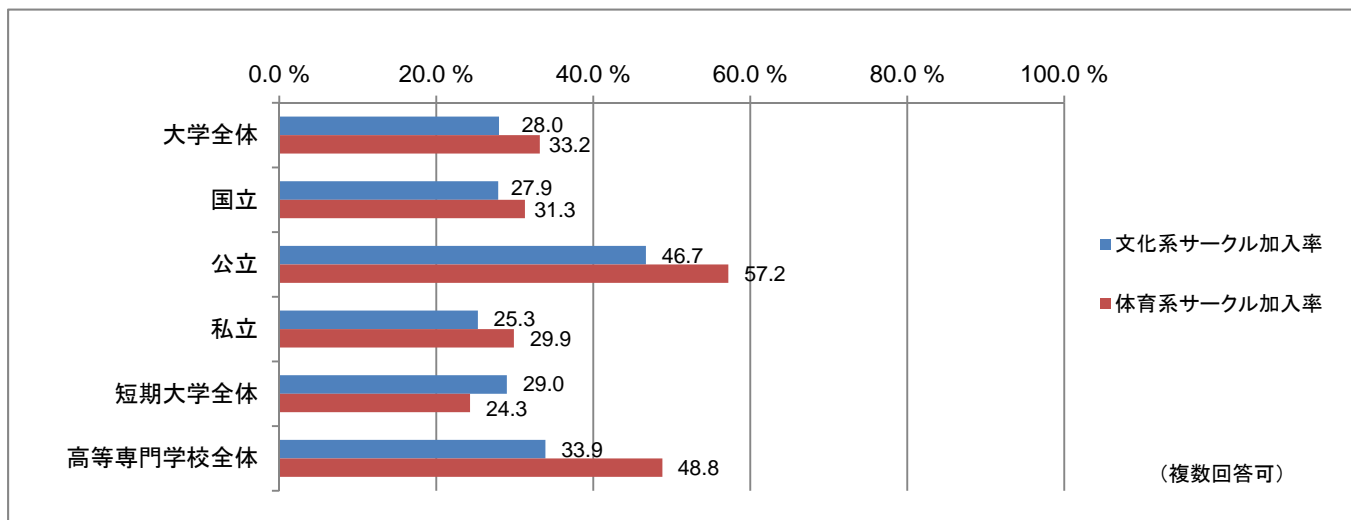


	施設の管理運営	施設の不足	学生への情報伝達・啓発	防犯に関すること	留学生・外国人学生に関すること	障害学生に関すること	学生の防犯意識の低下	学生支援のための組織・人身体制に関すること	経済的問題に関すること	地域・周辺住民に関すること	無回答
大学 全体	30.6	49.1	43.5	46.8	24.9	44.7	41.5	43.5	42.3	33.7	8.1
	67.1	61.2	54.1	56.5	41.2	60.0	55.3	62.4	45.9	49.4	2.4
	27.7	33.7	45.8	38.6	21.7	44.6	33.7	42.2	30.1	24.1	12.0
	25.8	49.5	41.6	46.6	23.0	42.5	40.6	41.0	43.5	32.8	8.4
短期大学 全体	20.2	40.1	36.0	39.4	12.1	32.0	36.0	35.4	43.8	18.3	10.2
高等専門学校 全体	25.5	40.0	32.7	40.0	12.7	25.5	52.7	32.7	16.4	27.3	9.1

V 課外活動支援／ピア・サポート／ボランティア

公認している課外活動団体の加入率

公認している課外活動団体の加入率について、大学全体・高専全体では「体育系サークル加入率」の方が、「文化系サークル加入率」より高く、一方、短大全体では「文化系サークル加入率」が高かった。前回調査と比較すると、各学校種とも加入率は増加している。

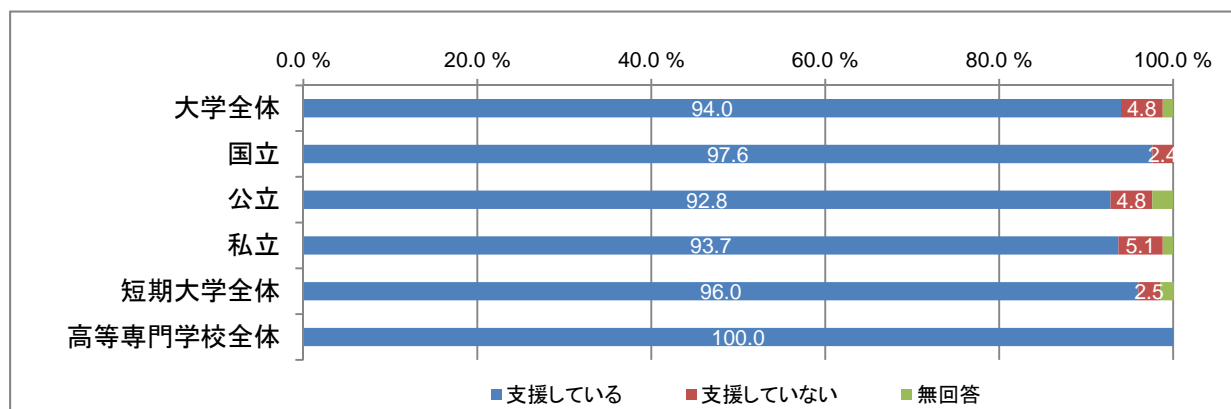


	平成27年度		平成25年度		平成22年度	
	文化系サークル加入率	体育系サークル加入率	文化系サークル加入率	体育系サークル加入率	文化系サークル加入率	体育系サークル加入率
大学 全体	28.0	33.2	26.9	29.1	25.4	29.0
国立	27.9	31.3	26.1	29.7	26.6	32.9
公立	46.7	57.2	45.2	44.9	40.3	41.4
私立	25.3	29.9	24.8	27.1	23.2	26.8
短期大学 全体	29.0	24.3	24.6	20.4	22.8	19.0
高等専門学校 全体	33.9	48.8	33.0	48.1	27.4	49.8

※同一人が、複数サークルを掛けもちしている場合がある。

公認サークルに対する学校としての支援状況

公認サークルに対する学校としての支援状況について、各学校種とも「支援している」が9割を超えており、高専全体では100%と最も高くなっている。



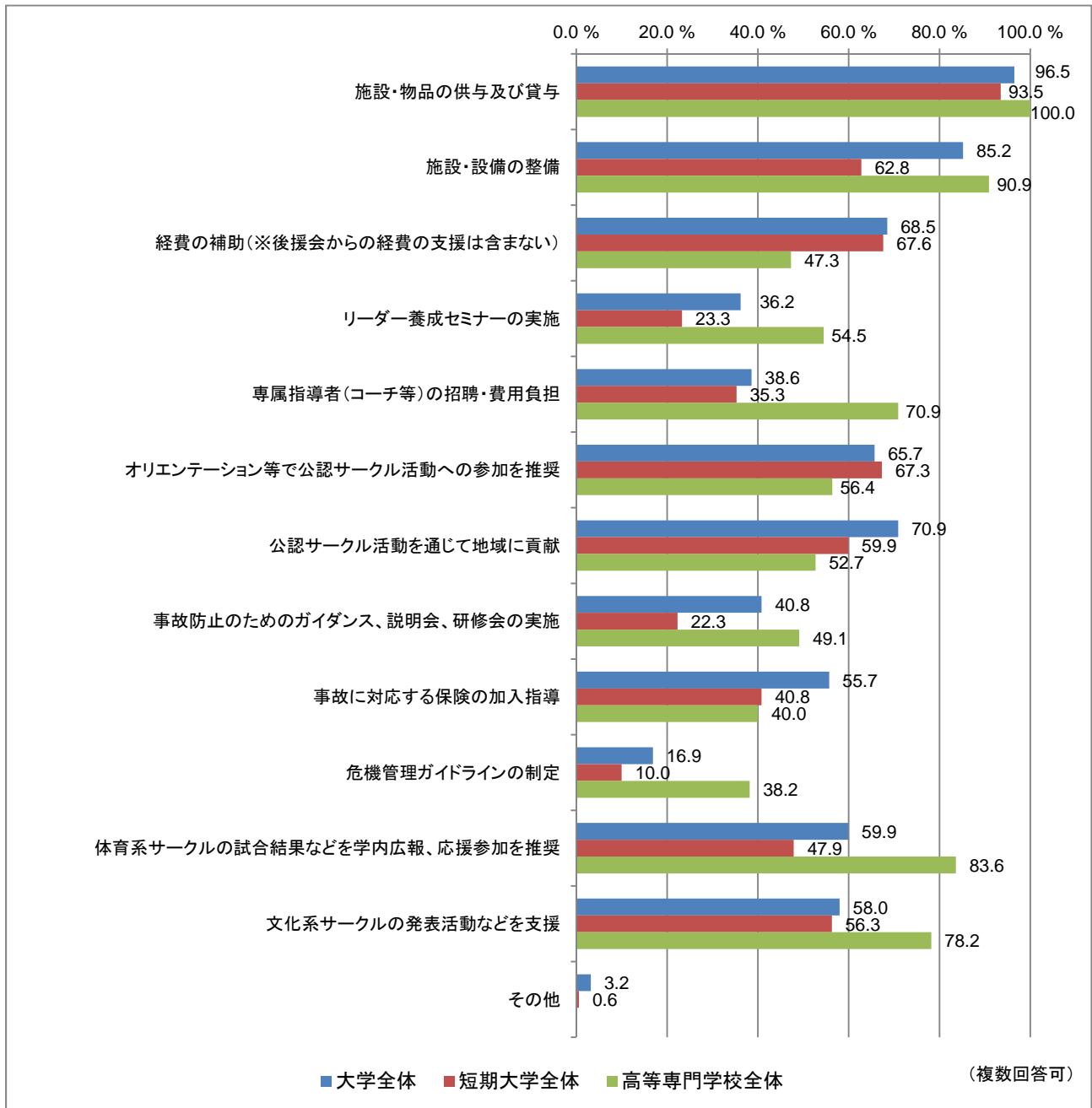
		支援している	支援していない	無回答
平成 27 年度	大学 全体	94.0	4.8	1.2
	国立	97.6	2.4	0.0
	公立	92.8	4.8	2.4
	私立	93.7	5.1	1.2
	短期大学 全体	96.0	2.5	1.6
	高等専門学校 全体	100.0	0.0	0.0

<参考>

平成 25 年度	大学 全体	95.1	4.1	0.8
	国立	97.6	2.4	0.0
	公立	92.2	6.5	1.3
	私立	95.1	4.0	0.9
	短期大学 全体	95.4	4.3	0.3
	高等専門学校 全体	98.1	1.9	0.0

公認サークルに対する学校としての支援内容

公認サークルに対する学校としての支援内容については、各学校種とも「施設・物品の供与及び貸与」が最も高く、「危険管理ガイドラインの制定」が最も低くなっている。



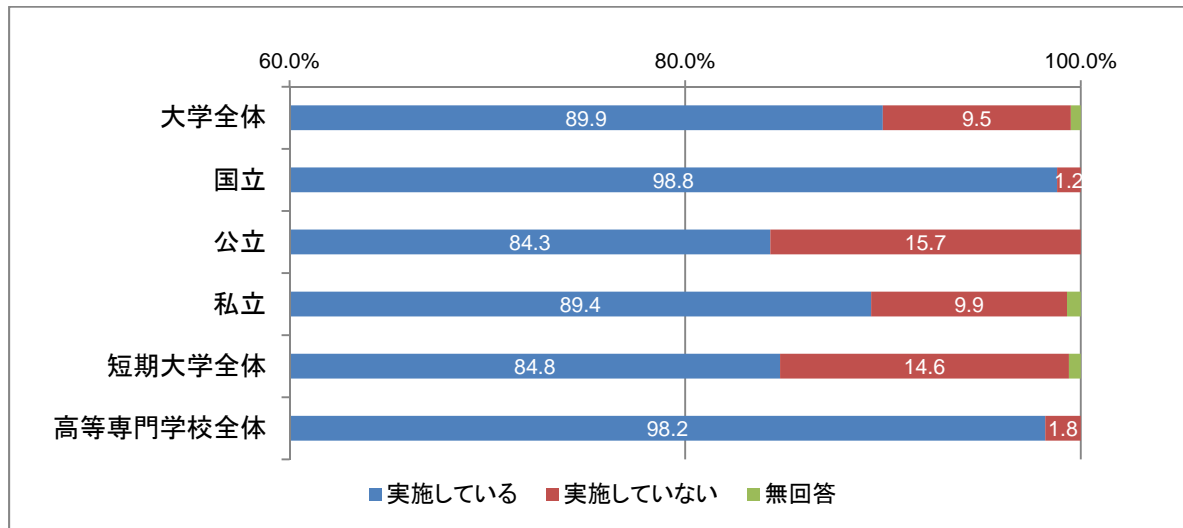
	施設・物品の供与及び貸与	施設・設備の整備	経費の補助(※後援会からの経費の支援は含まない)	リーダー養成セミナーの実施	専属指導者(コーチ等)の招聘・費用負担	オリエンテーション等で公認サークル活動への参加を推奨	公認サークル活動を通じて地域に貢献	事故防止のためのガイダンス、説明会、研修会の実施	事故に対応する保険の加入指導	危機管理方針の制定	体育系サークルの試合結果などを学内広報、応援参加を推奨	文化系サークルの発表活動などを支援	その他		
平成27年度	大学 全体	96.5	85.2	68.5	36.2	38.6	65.7	70.9	40.8	55.7	16.9	59.9	58.0	3.2	
		国立	100.0	98.8	54.2	68.7	13.3	55.4	65.1	61.4	75.9	27.7	56.6	57.8	7.2
		公立	94.8	77.9	31.2	7.8	6.5	40.3	55.8	29.9	45.5	3.9	31.2	33.8	1.3
		私立	96.2	84.2	76.0	35.3	47.0	70.9	74.0	39.2	54.1	17.1	64.5	61.4	2.9
	短期大学 全体	93.5	62.8	67.6	23.3	35.3	67.3	59.9	22.3	40.8	10.0	47.9	56.3	0.6	
高等専門学校 全体	100.0	90.9	47.3	54.5	70.9	56.4	52.7	49.1	40.0	38.2	83.6	78.2	0.0		

<参考>

平成25年度	大学 全体	96.0	87.5	68.3	35.0	37.1	64.6	70.0	42.4	57.3	17.6	62.4	59.6	4.0	
		国立	100.0	96.4	57.8	71.1	14.5	44.6	57.8	53.0	69.9	31.3	55.4	55.4	7.2
		公立	90.1	85.9	35.2	12.7	7.0	40.8	56.3	36.6	46.5	4.2	36.6	40.8	1.4
		私立	96.2	86.3	74.1	32.4	44.4	70.7	73.6	41.5	56.8	17.3	66.8	62.7	3.8
	短期大学 全体	92.0	70.4	70.4	24.8	36.0	67.5	63.4	21.7	41.4	10.8	52.5	59.2	1.3	
高等専門学校 全体	92.5	84.9	43.4	50.9	69.8	49.1	49.1	43.4	37.7	26.4	81.1	71.7	1.9		

学生表彰の実施状況

学生表彰の実施状況について、各学校種とも「実施している」が高い割合となっており、高専全体が 98.2%、大学全体が 89.9%、短大全体が 84.8%となっている。



		実施している	実施していない	無回答	
平成27年度	大学 全体	89.9	9.5	0.5	
		国立	98.8	1.2	0.0
		公立	84.3	15.7	0.0
		私立	89.4	9.9	0.7
	短期大学 全体	84.8	14.6	0.6	
高等専門学校 全体	98.2	1.8	0.0		

<参考>

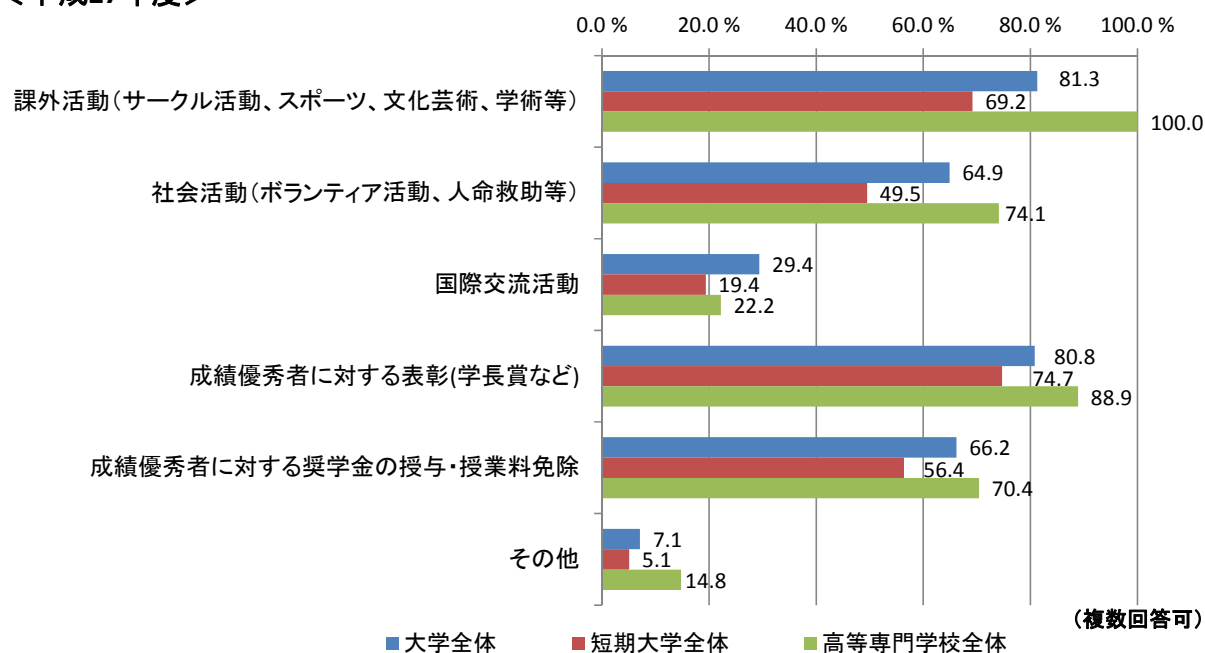
平成25年度	大学 全体	77.4	22.5	0.1	
		国立	94.1	5.9	0.0
		公立	71.4	28.6	0.0
		私立	75.7	24.1	0.2
	短期大学 全体	65.3	34.0	0.6	
高等専門学校 全体	100.0	0.0	0.0		

※平成25年度は学業を除いた実施状況。

学生表彰の対象となる活動

学生表彰の対象となる活動について、各学校種とも「課外活動(サークル活動、スポーツ、文化芸術、学術等)」
「成績優秀者に対する表彰(学長賞など)」が高く、「国際交流活動」低くなっている。「その他」としては、皆勤賞・
精勤賞、資格取得や検定の合格等があった。

<平成27年度>



		課外活動(サークル活動、スポーツ、文化芸術、学術等)	社会活動(ボランティア活動、人命救助等)	国際交流活動	成績優秀者に対する表彰(学長賞など)	成績優秀者に対する奨学金の授与・授業料免除	その他	
平成27年度	大学 全体	81.3	64.9	29.4	80.8	66.2	7.1	
	国立	95.2	89.3	40.5	79.8	56.0	17.9	
		公立	74.3	67.1	34.3	88.6	32.9	5.7
		私立	80.0	60.7	26.9	80.0	72.3	5.5
	短期大学 全体	69.2	49.5	19.4	74.7	56.4	5.1	
高等専門学校 全体	100.0	74.1	22.2	88.9	70.4	14.8		

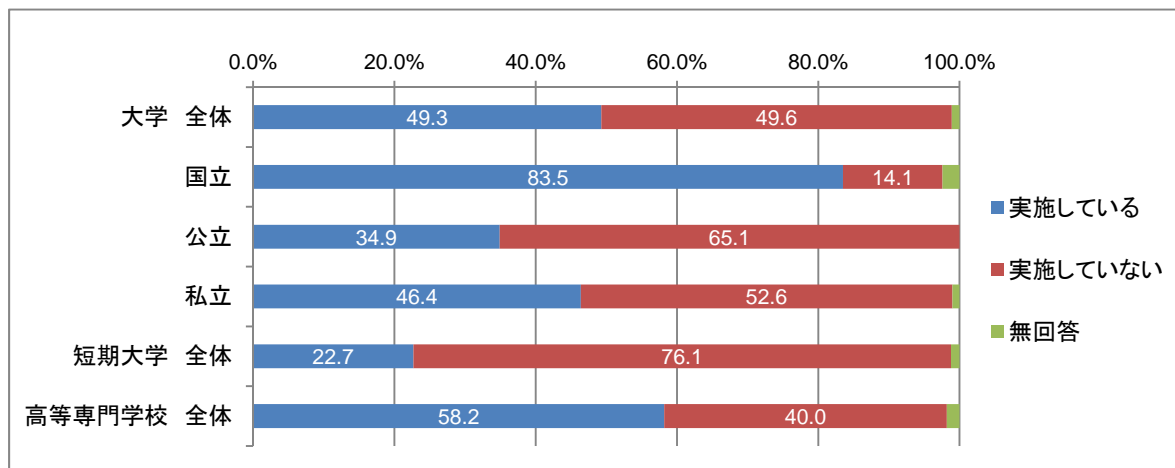
<参考>

平成25年度	大学 全体	96.5	78.1	33.0	/	/	13.1	
	国立	97.5	93.8	38.8			23.8	
		公立	96.4	85.5			29.1	18.2
		私立	96.3	74.4			32.5	10.5
	短期大学 全体	93.0	67.0	24.2			10.7	
高等専門学校 全体	100.0	64.8	11.1	5.6				

※平成25年度は学業を除いた活動状況。

ピア・サポート等、学生同士で支援する制度の実施状況

ピア・サポート等、学生同士で支援する制度の実施状況について、大学全体では「支援している」が 49.3%となっており、大学の設置者別では国立大学が 83.5%で最も高かった。各学校種ともに、前回調査と比較して実施率が増加した。



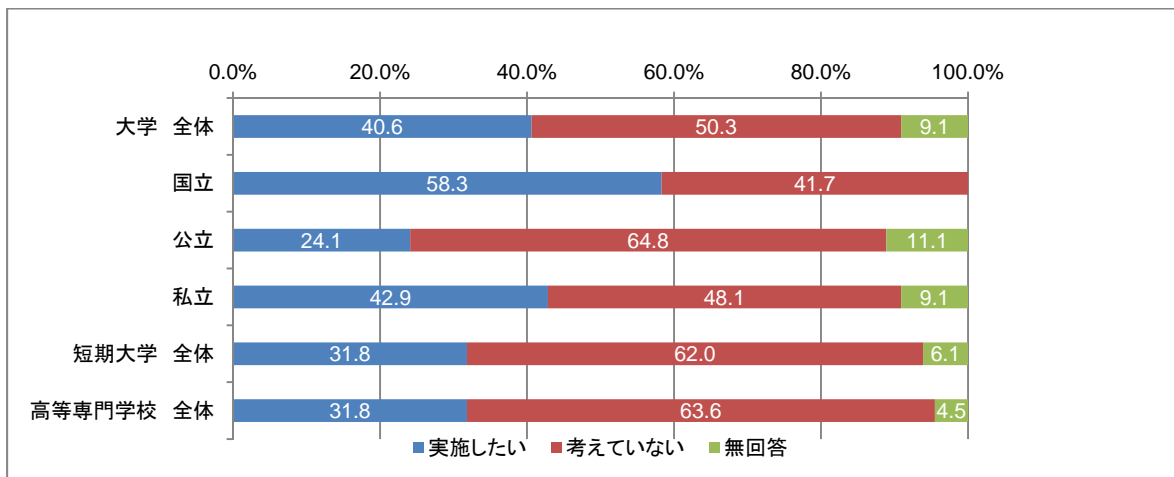
		支援している	支援していない	無回答
平成 27 年度	大学 全体	49.3	49.6	1.1
	国立	83.5	14.1	2.4
	公立	34.9	65.1	0.0
	私立	46.4	52.6	1.0
	短期大学 全体	22.7	76.1	1.2
	高等専門学校 全体	58.2	40.0	1.8

<参考>

平成 25 年度	大学 全体	43.6	56.2	0.3
	国立	80.0	20.0	0.0
	公立	35.1	64.9	0.0
	私立	39.3	60.3	0.3
	短期大学 全体	17.3	81.8	0.9
	高等専門学校 全体	53.7	46.3	0.0

ピア・サポートを実施していない場合の今後の実施予定

ピア・サポートを実施していない学校のうち、今後「実施したい」と考えているのは、大学全体 40.6%、短大全体 31.8%、高専全体 31.8%となっており、半数以下となっている。一方、大学を設置者別にみると、国立大学は 58.3%で、半数以上で実施したいと考えている。



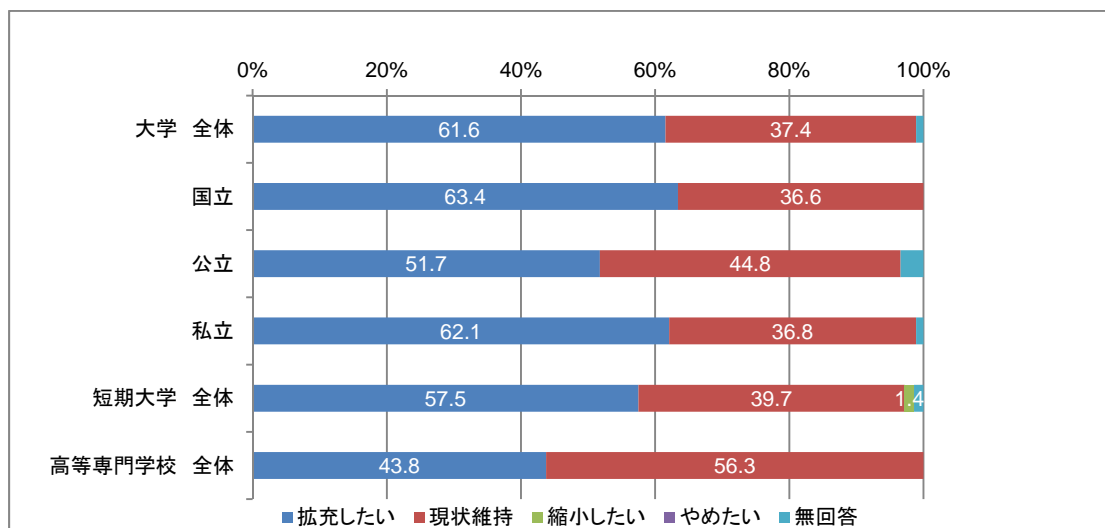
		実施したい	考えていない	無回答
平成 27 年度	大学 全体	40.6	50.3	9.1
	国立	58.3	41.7	0.0
	公立	24.1	64.8	11.1
	私立	42.9	48.1	9.1
	短期大学 全体	31.8	62.0	6.1
	高等専門学校 全体	31.8	63.6	4.5

<参考>

		実施したい	考えていない	無回答
平成 25 年度	大学 全体	42.7	50.8	6.5
	国立	47.1	47.1	5.9
	公立	22.0	70.0	8.0
	私立	45.4	48.3	6.3
	短期大学 全体	33.8	55.0	11.2
	高等専門学校 全体	20.0	76.0	4.0

ピア・サポートの今後の取組

ピア・サポートの今後の取組について、「拡充したい」としているのは、大学全体 61.6%、短大全体 57.5%、高専全体 43.8%となっている。国立大学においては、前回調査から「拡充したい」が9%増加している。



		拡充したい	現状維持	縮小したい	やめたい	無回答	
平成 27 年度	大学 全体	61.6	37.4	0.0	0.0	1.1	
		国立	63.4	36.6	0.0	0.0	0.0
		公立	51.7	44.8	0.0	0.0	3.4
		私立	62.1	36.8	0.0	0.0	1.1
	短期大学 全体	57.5	39.7	1.4	0.0	1.4	
高等専門学校 全体	43.8	56.3	0.0	0.0	0.0		

<参考>

平成 25 年度	大学 全体	61.8	36.6	0.3	0.0	1.2	
		国立	54.4	44.1	1.5	0.0	0.0
		公立	44.4	55.6	0.0	0.0	0.0
		私立	66.1	32.2	0.0	0.0	1.8
	短期大学 全体	57.9	40.4	1.8	0.0	0.0	
高等専門学校 全体	34.5	65.5	0.0	0.0	0.0		

ピア・サポートの具体的な活動

ピア・サポートのプログラムの平均数は、大学全体で2.6、短大全体で1.5、高専全体で2.2となっており、前回調査より、大学全体・高専全体で微増、短大全体で微減している。

報酬の有無については、大学全体・高専全体で、有給が無給を上回っており、前回調査より増加している。支援領域については、各学校種ともに「学習サポート」が最も高かった。

●ピア・サポートのプログラムの平均数

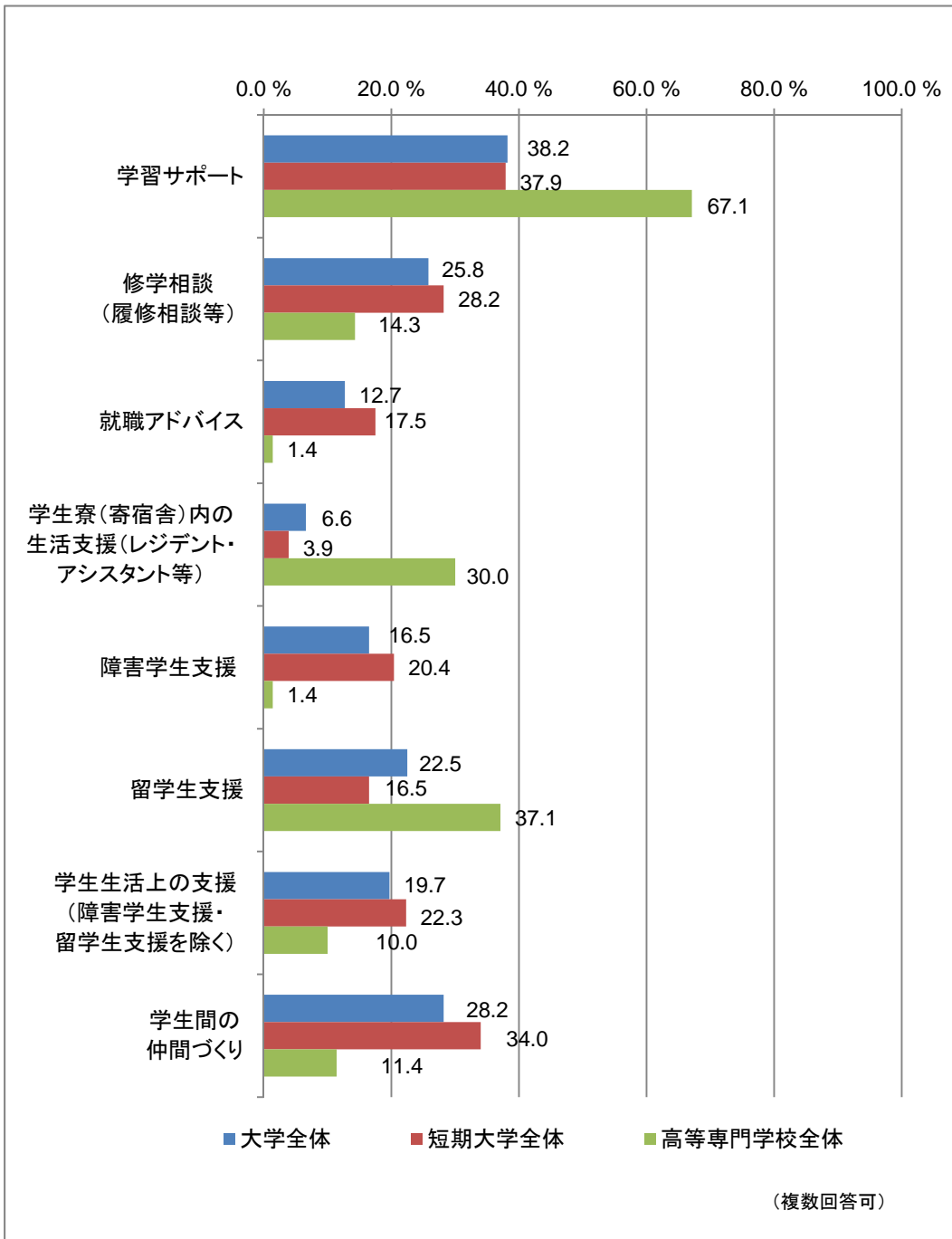
		平成27年度	<参考>平成25年度
大学 全体		2.6	2.3
	国立	3.1	2.7
	公立	2.1	2.0
	私立	2.5	2.2
短期大学 全体		1.5	1.7
高等専門学校 全体		2.2	1.8

●報酬の有無

		平成27年度		<参考>平成25年度	
		無給	有給	無給	有給
大学 全体		47.2	52.8	47.6	52.4
	国立	35.2	64.8	33.7	66.3
	公立	55.0	45.0	59.3	40.7
	私立	50.4	49.6	51.4	48.6
短期大学 全体		61.2	38.8	61.6	38.4
高等専門学校 全体		21.4	78.6	28.8	71.2

※平成27年度、平成25年度は「無給」に「無回答」が含まれます。

●支援領域



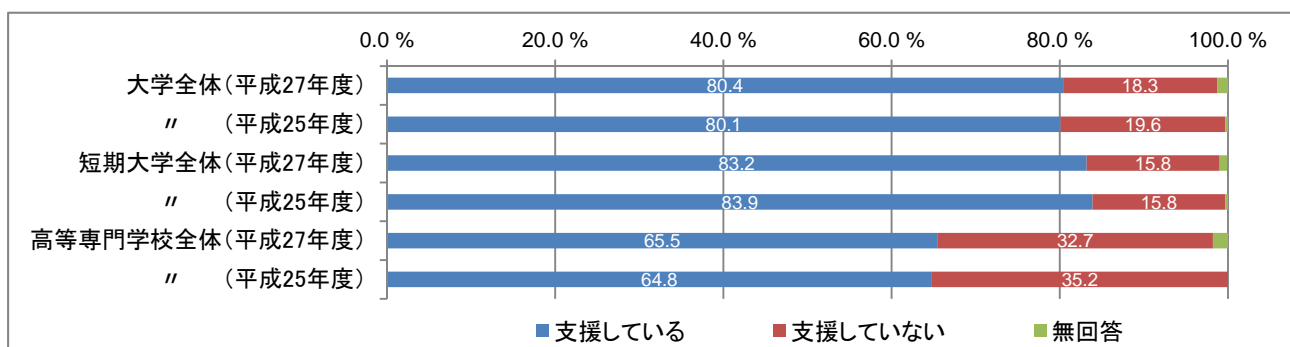
		学習サポート	修学相談(履修相談等)	就職アドバイス	学生寮(寄宿舍)内の生活支援(レジデント・アシスタント等)	障害学生支援	留学生支援	学生生活上の支援(障害学生支援・留学生支援を除く)	学生間の仲間づくり	
平成27年度	大学 全体	38.2	25.8	12.7	6.6	16.5	22.5	19.7	28.2	
		国立	35.6	29.2	13.9	10.6	13.4	28.2	18.1	22.7
		公立	31.7	31.7	6.7	5.0	5.0	25.0	16.7	30.0
		私立	39.7	24.1	12.8	5.4	18.6	20.4	20.5	29.9
	短期大学 全体	37.9	28.2	17.5	3.9	20.4	16.5	22.3	34.0	
	高等専門学校 全体	67.1	14.3	1.4	30.0	1.4	37.1	10.0	11.4	

<参考>

平成25年度	大学 全体	40.0	29.0	16.0	6.8	18.9	22.6	24.7	28.3	
		国立	46.4	33.7	16.0	7.7	18.2	23.8	25.4	22.7
		公立	33.3	27.8	11.1	13.0	7.4	29.6	24.1	22.2
		私立	38.4	27.3	16.5	5.7	20.4	21.4	24.5	31
	短期大学 全体	40.4	35.4	15.2	2.0	27.3	16.2	32.3	36.4	
	高等専門学校 全体	59.6	11.5	3.8	23.1	5.8	38.5	11.5	13.5	

学生のボランティア活動に対する支援の実施状況

学生のボランティア活動に対する支援の実施状況について、「支援している」は、大学全体では 80.4%、短大全体では 83.2%、高専全体では 65.5%であった。前回調査と比較すると、各学校種とも大きな変化は見られなかった。



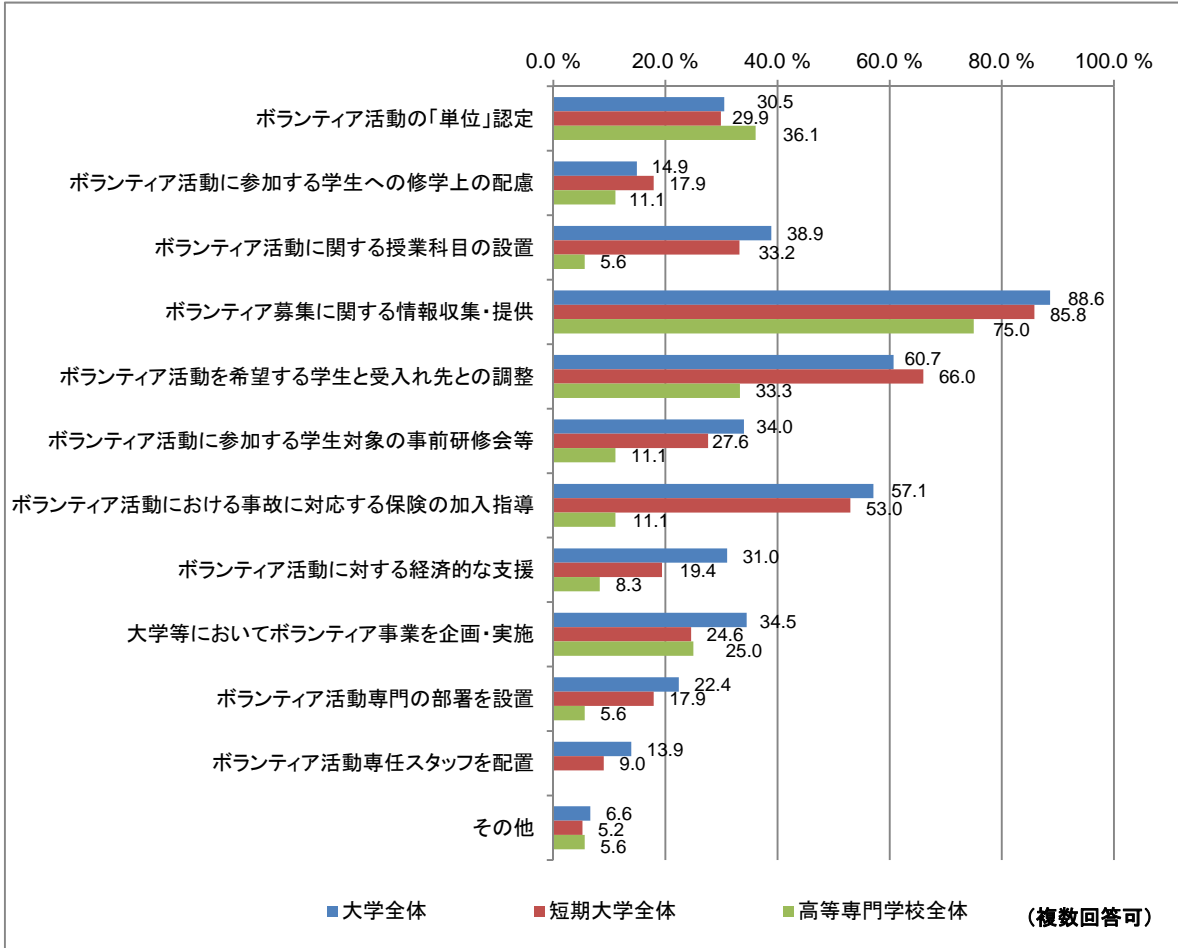
		支援している	支援していない	無回答	
平成27年度	大学 全体	80.4	18.3	1.3	
		国立	88.2	11.8	0.0
		公立	77.1	19.3	3.6
		私立	79.7	19.1	1.2
	短期大学 全体	83.2	15.8	0.9	
	高等専門学校 全体	65.5	32.7	1.8	

<参考>

平成25年度	大学 全体	80.1	19.6	0.3	
		国立	80.0	20.0	0.0
		公立	76.6	23.4	0.0
		私立	80.6	19.1	0.3
	短期大学 全体	83.9	15.8	0.3	
	高等専門学校 全体	64.8	35.2	0.0	

学生のボランティア活動に対する具体的な支援の実施状況

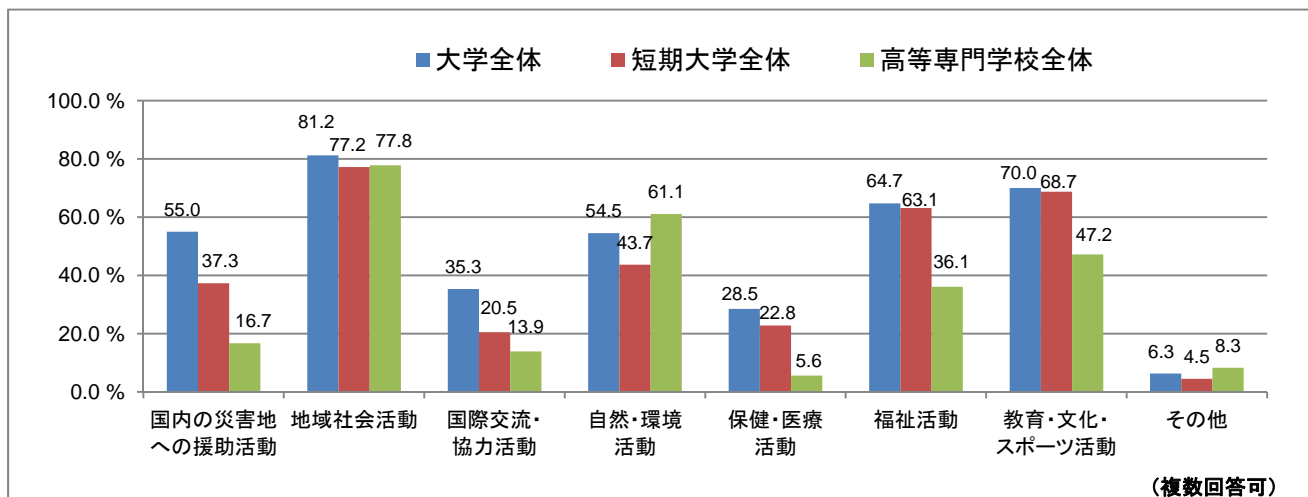
学生のボランティア活動に対する具体的な支援の実施状況について、各学校種とも「ボランティア募集に関する情報収集・提供」(大学全体88.6%、短大全体85.8%、高専全体75.0%)が最も高くなっている。各学校種とも、具体的支援実施状況の割合の上位に大きな変化はない。また、「その他」としては、ボランティア奨学金、ボランティア活動における保険加入、ボランティア学生の意識や能力向上のためのセミナーの実施等があった。



年度	学校種別	ボランティア活動の「単位」認定	ボランティア活動に参加する学生への修学上の配慮	ボランティア活動に関する授業科目の設置	ボランティア募集に関する情報収集・提供	ボランティア活動に参加する学生と受入れ先との調整	ボランティア活動に参加する学生対象の事前研修会等	ボランティア活動における事故に対応する保険の加入指導	ボランティア活動に対する経済的な支援	大学等においてボランティア事業を企画・実施	ボランティア活動専門の部署を設置	ボランティア活動専任スタッフを配置	その他
		平成27年度	大学 全体	30.5	14.9	38.9	88.6	60.7	34.0	57.1	31.0	34.5	22.4
	国立	28.0	18.7	32.0	93.3	56.0	41.3	69.3	36.0	24.0	26.7	21.3	8.0
	公立	20.3	1.6	25.0	90.6	43.8	18.8	45.3	20.3	21.9	14.1	9.4	4.7
	私立	32.3	16.1	42.0	87.6	63.8	34.9	56.7	31.7	37.9	22.9	13.3	6.6
	短期大学 全体	29.9	17.9	33.2	85.8	66.0	27.6	53.0	19.4	24.6	17.9	9.0	5.2
	高等専門学校 全体	36.1	11.1	5.6	75.0	33.3	11.1	11.1	8.3	25.0	5.6	0.0	5.6
<参考>													
平成25年度	大学 全体	29.9	19.8	36.0	82.6	53.4	35.6	61.0	31.4	34.1	21.1	14.4	7.4
	国立	30.9	33.8	39.7	86.8	51.5	44.1	73.5	36.8	30.9	29.4	20.6	17.6
	公立	22.0	8.5	16.9	79.7	37.3	18.6	44.1	23.7	15.3	13.6	8.5	6.8
	私立	30.8	19.1	37.8	82.4	55.7	36.6	61.3	31.6	37.0	20.9	14.2	6.0
	短期大学 全体	24.3	17.0	31.5	84.4	61.6	29.0	55.4	22.1	27.9	18.5	9.1	4.3
	高等専門学校 全体	28.6	5.7	8.6	62.9	22.9	8.6	20.0	14.3	20.0	0.0	0.0	14.3

学生のボランティア活動の具体的な支援の実施分野

学生のボランティア活動の具体的な支援の実施分野については、各学校種とも「地域社会活動」が8割前後と最も高い。一方で「国際交流・協力活動」「保健・医療活動」は低くなっている。



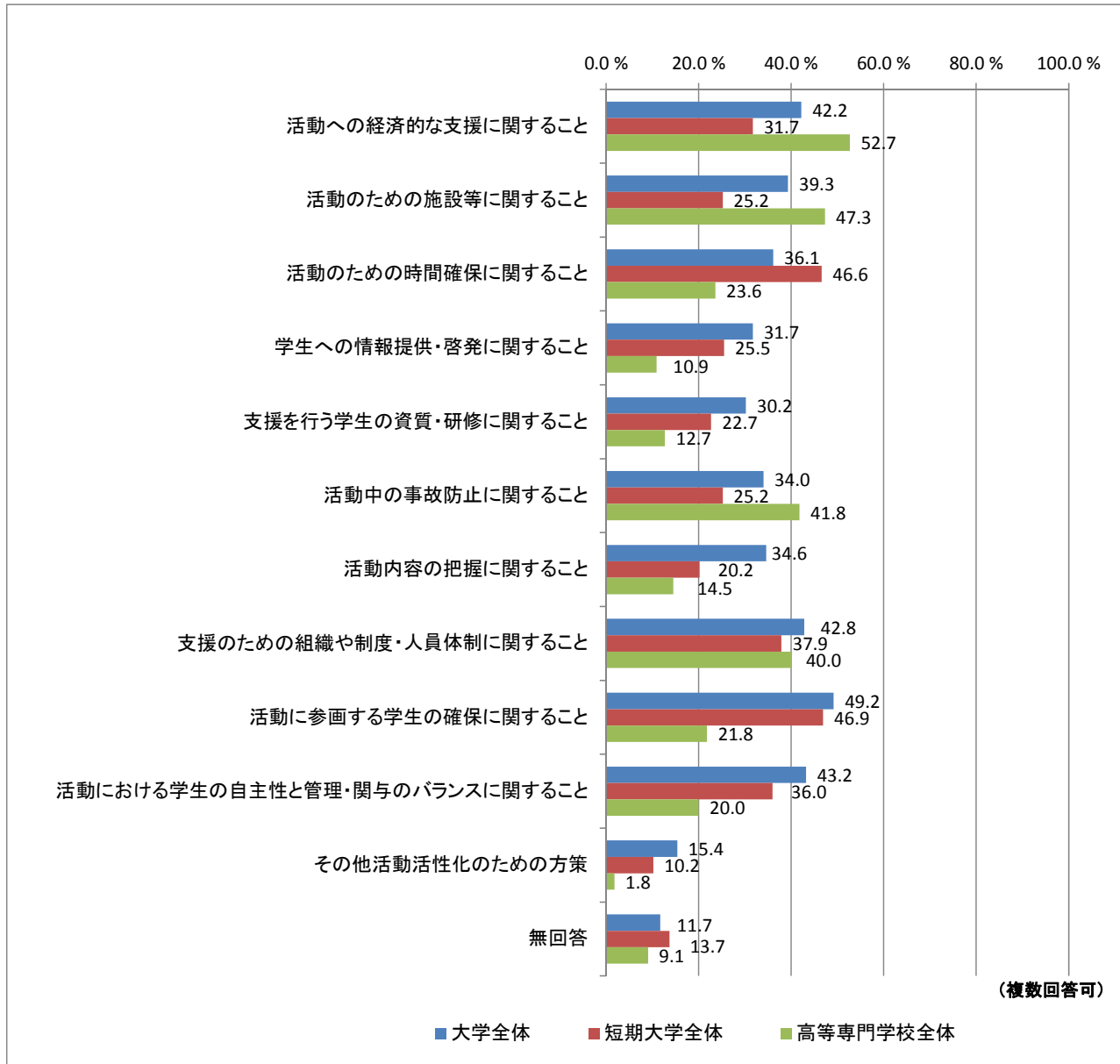
		国内の災害地への援助活動	地域社会活動	国際交流・協力活動	自然・環境活動	保健・医療活動	福祉活動	教育・文化・スポーツ活動	その他
平成27年度	大学 全体	55.0	81.2	35.3	54.5	28.5	64.7	70.0	6.3
	国立	60.0	73.3	44.0	57.3	26.7	53.3	69.3	12.0
	公立	43.8	84.4	39.1	59.4	48.4	71.9	70.3	7.8
	私立	55.7	82.0	33.4	53.3	26.1	65.5	70.0	5.1
	短期大学 全体	37.3	77.2	20.5	43.7	22.8	63.1	68.7	4.5
	高等専門学校 全体	16.7	77.8	13.9	61.1	5.6	36.1	47.2	8.3

<参考>

平成25年度	大学 全体	65.0	76.0	31.8	49.8	28.4	56.3	66.4	7.8
	国立	76.5	63.2	44.1	48.5	30.9	51.5	67.6	13.2
	公立	66.1	78.0	35.6	49.2	49.2	61	64.4	6.8
	私立	63.2	77.6	29.5	50.1	25.4	56.3	66.5	7.1
	短期大学 全体	44.6	73.9	16.7	40.2	19.2	62	58.3	3.6
	高等専門学校 全体	25.7	71.4	14.3	60.0	8.6	25.7	34.3	14.3

課外活動支援、ピア・サポート、ボランティアに関する課題

課外活動支援、ピア・サポート、ボランティアに関する課題について、最も課題としていることは、大学全体・短大全体では「活動に参加する学生の確保に関すること」(大学全体49.2%、短大全体46.9%)、高専全体では「活動への経済的な支援に関すること」(52.7%)であった。各学校種共通で多い課題は「支援のための組織や制度・人員体制に関すること」であった。

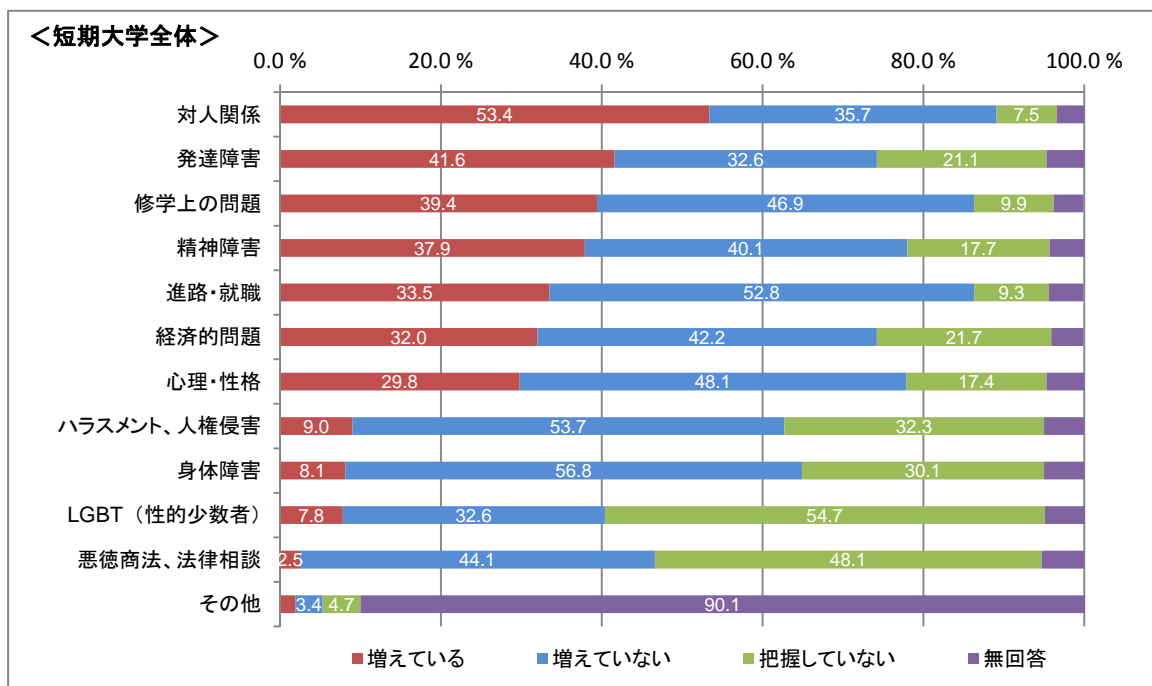
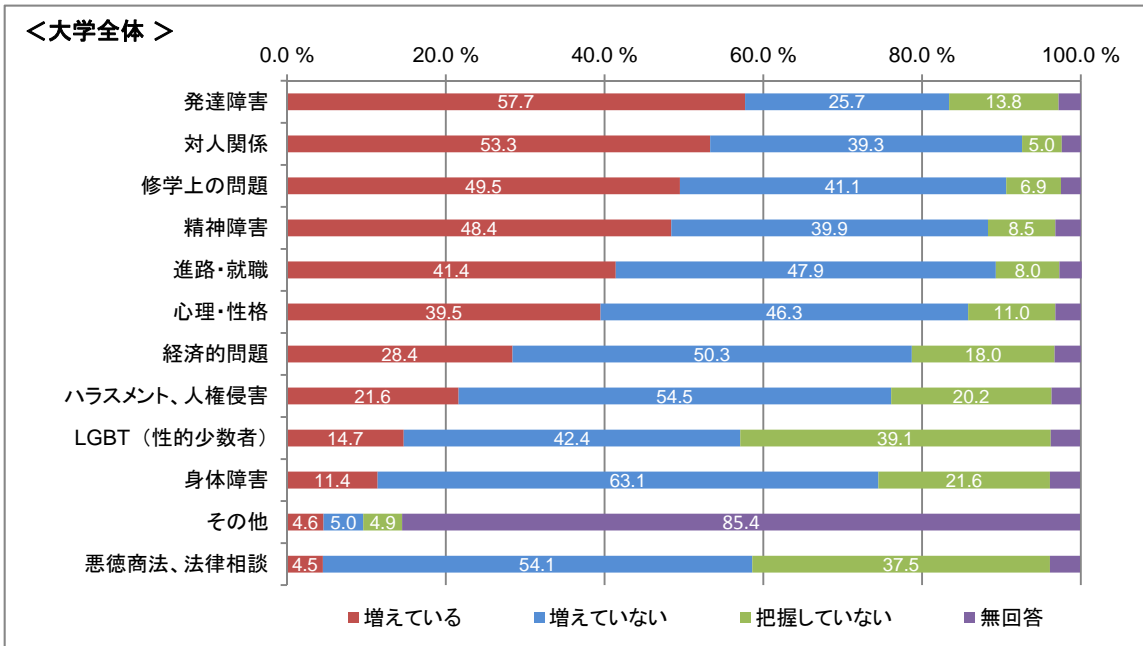


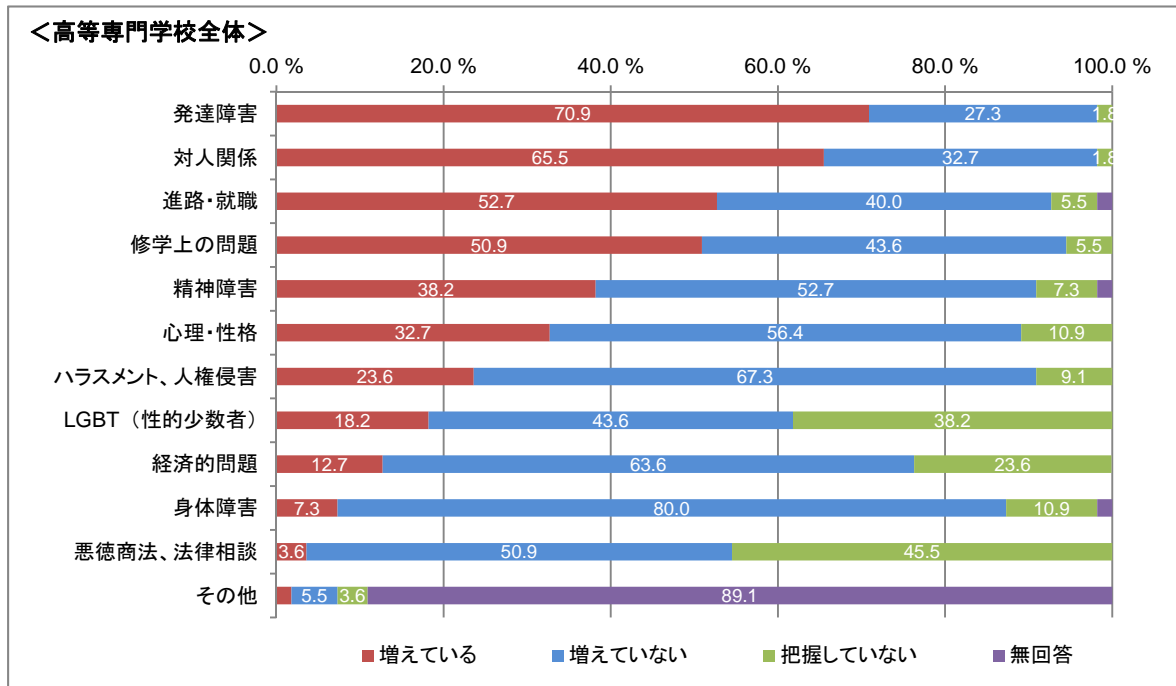
	活動への経済的な支援に関すること	活動のための施設等に関すること	活動のための時間確保に関すること	学生への情報提供・啓発に関すること	支援を行う学生の資質・研修に関すること	活動中の事故防止に関すること	活動内容の把握に関すること	支援のための組織や制度・人員体制に関すること	活動に参加する学生の確保に関すること	活動における学生の自主性と管理・関与のバランスに関すること	その他活動活性化のための方策	無回答
大学 全体	42.2	39.3	36.1	31.7	30.2	34.0	34.6	42.8	49.2	43.2	15.4	11.7
国立	64.7	67.1	32.9	31.8	37.6	55.3	48.2	44.7	50.6	43.5	14.1	5.9
公立	30.1	28.9	19.3	21.7	14.5	20.5	24.1	26.5	32.5	34.9	8.4	24.1
私立	40.6	36.7	38.9	33.1	31.4	32.8	34.1	44.9	51.4	44.4	16.6	10.8
短期大学 全体	31.7	25.2	46.6	25.5	22.7	25.2	20.2	37.9	46.9	36.0	10.2	13.7
高等専門学校 全体	52.7	47.3	23.6	10.9	12.7	41.8	14.5	40.0	21.8	20.0	1.8	9.1

VI 学生相談

学生の悩み等について前回調査時（平成 25 年度）と比較して件数が増加した項目

学生の悩み等について前回調査時(平成 25 年度)と比較して件数が増加した項目について、最も割合が高いものは、大学全体で「発達障害」57.7%、短大全体で「対人関係」53.4%、高専全体で「発達障害」70.9%であった。前回調査と比較して、「増えている」の回答の割合が最も増加しているのは、大学全体では、「ハラスメント・人権侵害」(17.2%→21.6%)、短大全体では、「発達障害」(39.8%→41.6%)、高専全体では、「進路・就職」(38.9%→52.7%)であった。



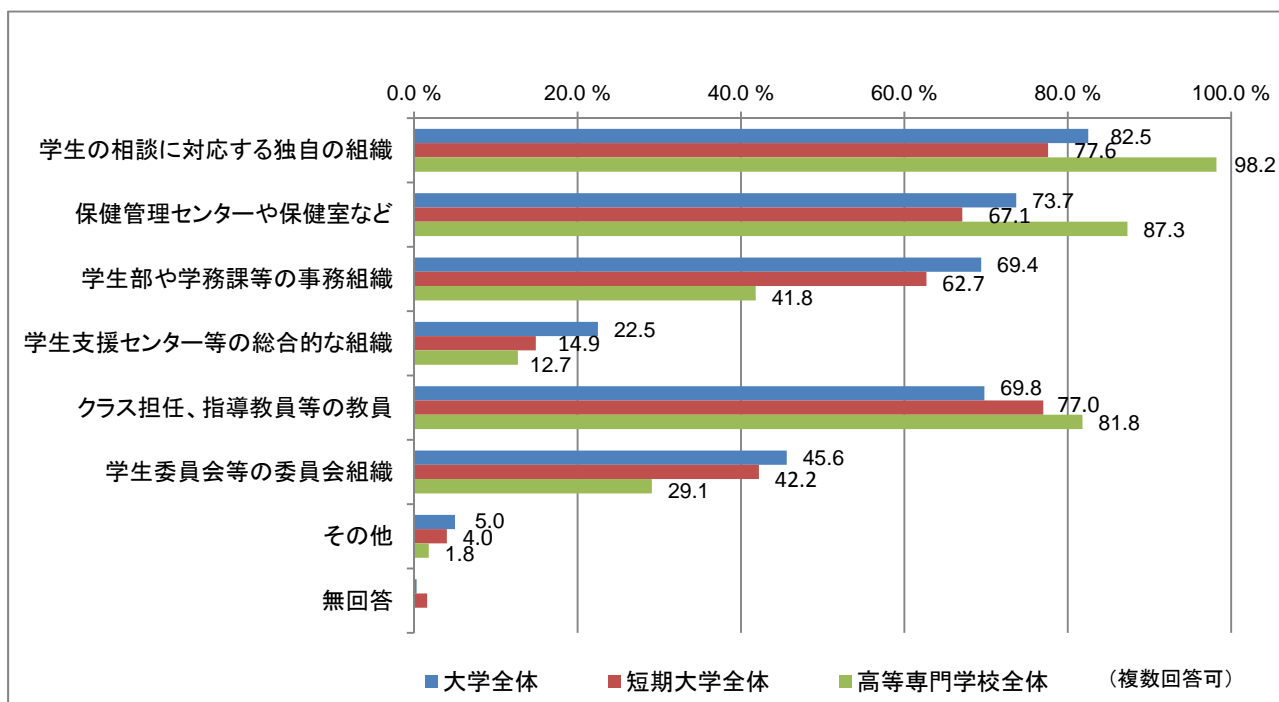


		平成27年度				<参考> 平成25年度			
		増えている	増えていない	把握していない	無回答	増えている	増えていない	把握していない	無回答
対人関係 (家族、友人、知人、異性関係)	大学 全体	53.3	39.3	5.0	2.4	56.7	35.5	5.0	2.8
	国立	58.8	38.8	2.4	0.0	62.4	36.5	1.2	0.0
	公立	55.4	31.3	12.0	1.2	44.2	36.4	15.6	3.9
	私立	52.2	40.4	4.4	2.9	57.5	35.2	4.2	3.1
	短期大学 全体	53.4	35.7	7.5	3.4	57.4	32.8	7.9	1.8
精神障害 (気分障害、統合失調症等)	大学 全体	48.4	39.9	8.5	3.2	54.3	34.8	7.8	3.1
	国立	60.0	32.9	7.1	0.0	51.8	41.2	7.1	0.0
	公立	41.0	43.4	14.5	1.2	42.9	37.7	15.6	3.9
	私立	47.8	40.4	7.8	3.9	56.2	33.4	6.9	3.5
	短期大学 全体	37.9	40.1	17.7	4.3	47.7	36.2	14.0	2.1
LGBT (性的少数者)	大学 全体	14.7	42.4	39.1	3.7				
	国立	23.5	47.1	29.4	0.0				
	公立	18.1	38.6	42.2	1.2				
	私立	13.0	42.3	40.1	4.6				
	短期大学 全体	7.8	32.6	54.7	5.0				
心理・性格 (アイデンティティ、セルフコンテロール等)	大学 全体	39.5	46.3	11.0	3.2	44.9	43.6	8.4	3.1
	国立	51.8	43.5	4.7	0.0	51.8	41.2	7.1	0.0
	公立	44.6	36.1	18.1	1.2	42.9	35.1	18.2	3.9
	私立	37.0	48.1	10.9	3.9	44.2	45.1	7.3	3.5
	短期大学 全体	29.8	48.1	17.4	4.7	38.0	47.1	12.8	2.1
修学上の問題	大学 全体	49.5	41.1	6.9	2.5	51.4	40.2	5.3	3.1
	国立	56.5	40.0	3.5	0.0	60.0	37.6	1.2	1.2
	公立	47.0	34.9	16.9	1.2	45.5	35.1	15.6	3.9
	私立	48.8	42.2	6.0	3.1	51.0	41.2	4.5	3.3
	短期大学 全体	39.4	46.9	9.9	3.7	38.3	50.8	8.8	2.1
進路・就職	大学 全体	41.4	47.9	8.0	2.8	49.8	41.7	5.4	3.1
	国立	50.6	43.5	5.9	0.0	61.2	37.6	1.2	0.0
	公立	36.1	49.4	13.3	1.2	50.6	35.1	10.4	3.9
	私立	40.8	48.3	7.5	3.4	48.0	43.2	5.4	3.5
	短期大学 全体	33.5	52.8	9.3	4.3	36.8	52.6	8.2	2.4
高等専門学校 全体	52.7	40.0	5.5	1.8	38.9	55.6	3.7	1.9	

		平成27年度				<参考>	平成25年度			
		増えている	増えていない	把握していない	無回答		増えている	増えていない	把握していない	無回答
発達障害（アスペルガー障害、ADHD（注意欠陥多動性障害）、LD（学習障害）等）	大学 全体	57.7	25.7	13.8	2.8	59.0	22.7	15.4	2.8	
		国立	75.3	18.8	5.9	0.0	74.1	14.1	11.8	0.0
		公立	42.2	25.3	31.3	1.2	41.6	23.4	31.2	3.9
		私立	57.3	26.8	12.5	3.4	59.1	23.9	13.9	3.1
		短期大学 全体	41.6	32.6	21.1	4.7	39.8	34.7	23.4	2.1
		高等専門学校 全体	70.9	27.3	1.8	0.0	75.9	18.5	3.7	1.9
経済的問題	大学 全体	28.4	50.3	18.0	3.3	32.5	45.6	18.1	3.8	
		国立	27.1	50.6	22.4	0.0	24.7	55.3	18.8	1.2
		公立	21.7	48.2	28.9	1.2	18.2	54.5	23.4	3.9
		私立	29.5	50.5	15.9	4.1	35.5	43.0	17.3	4.2
		短期大学 全体	32.0	42.2	21.7	4.0	37.1	38.9	21.0	3.0
		高等専門学校 全体	12.7	63.6	23.6	0.0	20.4	53.7	24.1	1.9
人権侵害、ハラスメント、	大学 全体	21.6	54.5	20.2	3.7	17.2	59.9	19.4	3.5	
		国立	45.9	42.4	11.8	0.0	32.9	55.3	10.6	1.2
		公立	22.9	45.8	30.1	1.2	16.9	55.8	24.7	2.6
		私立	17.9	57.5	20.0	4.6	14.9	61.2	19.9	4.0
		短期大学 全体	9.0	53.7	32.3	5.0	8.2	62.6	26.1	3.0
		高等専門学校 全体	23.6	67.3	9.1	0.0	16.7	61.1	20.4	1.9
法律・徳商法、法	大学 全体	4.5	54.1	37.5	3.8	4.3	56.4	35.7	3.5	
		国立	9.4	55.3	35.3	0.0	8.2	57.6	32.9	1.2
		公立	4.8	45.8	48.2	1.2	5.2	53.2	39.0	2.6
		私立	3.8	55.1	36.3	4.8	3.6	56.7	35.7	4.0
		短期大学 全体	2.5	44.1	48.1	5.3	2.1	52.0	42.6	3.3
		高等専門学校 全体	3.6	50.9	45.5	0.0	3.7	44.4	50.0	1.9
身体障害	大学 全体	11.4	63.1	21.6	3.8	11.6	62.9	21.7	3.8	
		国立	18.8	67.1	14.1	0.0	16.5	65.9	16.5	1.2
		公立	7.2	60.2	31.3	1.2	9.1	53.2	32.5	5.2
		私立	10.9	63.0	21.3	4.8	11.3	63.8	21.0	4.0
		短期大学 全体	8.1	56.8	30.1	5.0	7.9	63.5	26.1	2.4
		高等専門学校 全体	7.3	80.0	10.9	1.8	9.3	74.1	14.8	1.9
その他	大学 全体	4.6	5.0	4.9	85.4	3.7	3.4	3.7	89.3	
		国立	10.6	5.9	1.2	82.4	1.2	4.7	0.0	94.1
		公立	4.8	2.4	6.0	86.7	5.2	3.9	3.9	87.0
		私立	3.8	5.3	5.3	85.7	3.8	3.1	4.2	88.9
		短期大学 全体	1.9	3.4	4.7	90.1	1.5	4.9	5.2	88.4
		高等専門学校 全体	1.8	5.5	3.6	89.1	5.6	3.7	5.6	85.2

学生相談に対応する組織・人

学生相談に対する組織・人については、各学校種とも「学生の相談に対応する独自の組織」（大学全体 82.5%、短大全体 77.6%、高専全体 98.2%）が最も高く、前回調査と同様の傾向であった。



		学生の相談に対応する独自の組織	保健管理センターや保健室など	学生部や学務課等の事務組織	学生支援センター等の総合的な組織	クラス担任、指導教員等の教員	学生委員会等の委員会組織	その他	無回答	
平成27年度	大学 全体	82.5	73.7	69.4	22.5	69.8	45.6	5.0	0.3	
		国立	75.3	92.9	71.8	35.3	75.3	44.7	9.4	0.0
		公立	73.5	85.5	74.7	10.8	75.9	44.6	3.6	0.0
		私立	84.8	69.3	68.3	22.4	68.1	45.9	4.6	0.3
		短期大学 全体	77.6	67.1	62.7	14.9	77.0	42.2	4.0	1.6
		高等専門学校 全体	98.2	87.3	41.8	12.7	81.8	29.1	1.8	0.0

<参考>

		学生の相談に対応する独自の組織	保健管理センターや保健室など	学生部や学務課等の事務組織	学生支援センター等の総合的な組織	クラス担任、指導教員等の教員	学生委員会等の委員会組織	その他	無回答	
平成25年度	大学 全体	85.1	78.1	73.1	20.7	72.3	46.0	5.1	0.0	
		国立	82.4	95.3	83.5	29.4	82.4	49.4	7.1	0.0
		公立	75.3	85.7	76.6	10.4	77.9	51.9	5.2	0.0
		私立	86.8	74.5	71.1	20.8	70.0	44.7	4.9	0.0
		短期大学 全体	82.1	69.9	65.7	17.9	80.2	40.7	4.3	0.6
		高等専門学校 全体	96.3	96.3	40.7	9.3	79.6	29.6	7.4	1.9

学生相談に対応する組織の1週間当たりの開室時間

学生相談に対応する組織の1週間当たりの開室時間について、各学校種いずれも、「保健管理センターや保健室など」が「学生の相談に対応する独自の組織(学生相談室等)」よりも、開室時間が長かった。前回調査と比較すると、大学全体では、開室時間に大きな変化は見られなかった。短大全体では、相談に対応する独自の組織(学生相談室等)の開室時間に変化は見られなかったが、保健管理センターや保健室の開室時間は微減した(▲0.6時間)。高専全体では、相談に対応する独自の組織(学生相談室等)、保健管理センターや保健室とも開室時間は短くなっている(学生相談室等▲1.5時間、保健管理センターや保健室▲1.2時間)。

	平成27年度		平成25年度	
	学生の相談に対応する独自の組織(学生相談室等)	保健管理センターや保健室など	学生の相談に対応する独自の組織(学生相談室等)	保健管理センターや保健室など
大学 全体	27.6	39.2	27.3	39.0
国立	31.8	39.1	33.5	37.1
公立	18.3	36.6	19.8	34.4
私立	28.2	39.6	27.4	40.0
短期大学 全体	19.5	37.6	19.6	38.2
高等専門学校 全体	14.8	36.1	16.3	37.3

過去2年の学生相談件数

前回調査と比較すると、学生相談件数は大学、短大ともに増加しており、増加傾向が続いている。高専では、平成24年度まで増加してきたが、平成25年度は横ばい、平成26年度には減少している。

学生相談件数 (単位:件)

	年度	集計	
大学 全体	平成25年度	681,000	
	平成26年度	696,000	
国立	平成25年度	188,000	
	平成26年度	199,000	
	公立	平成25年度	47,000
		平成26年度	50,000
私立	平成25年度	446,000	
	平成26年度	447,000	
短期大学 全体	平成25年度	74,000	
	平成26年度	79,000	
高等専門学校 全体	平成25年度	32,000	
	平成26年度	30,000	

※1,000件単位に四捨五入

【前回(平成25年度)調査】

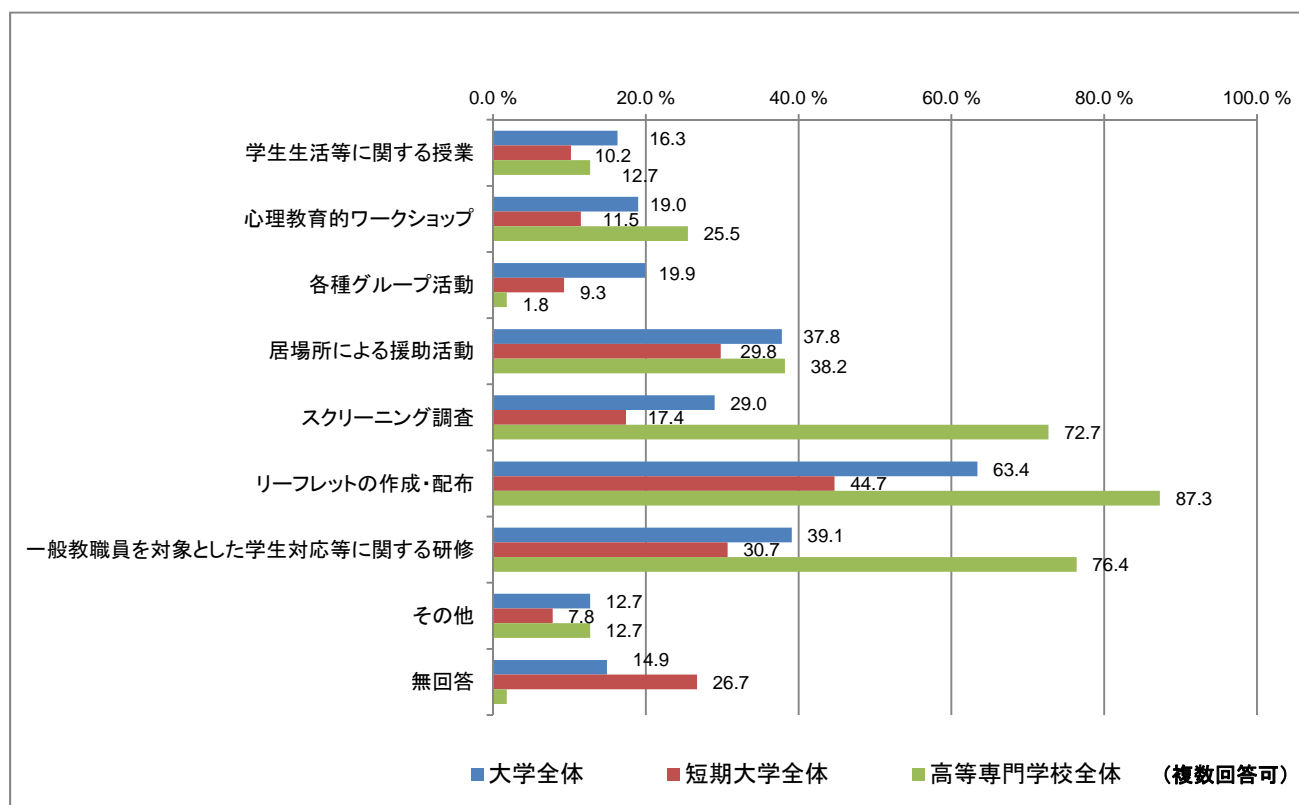
(単位:件)

	年度	集計
大学全体	平成22年度	579,000
	平成23年度	614,000
	平成24年度	650,000
短期大学	平成22年度	59,000
	平成23年度	61,000
	平成24年度	64,000
高等専門学校	平成22年度	24,000
	平成23年度	29,000
	平成24年度	32,000

※1,000件単位に四捨五入

個別相談以外の活動状況

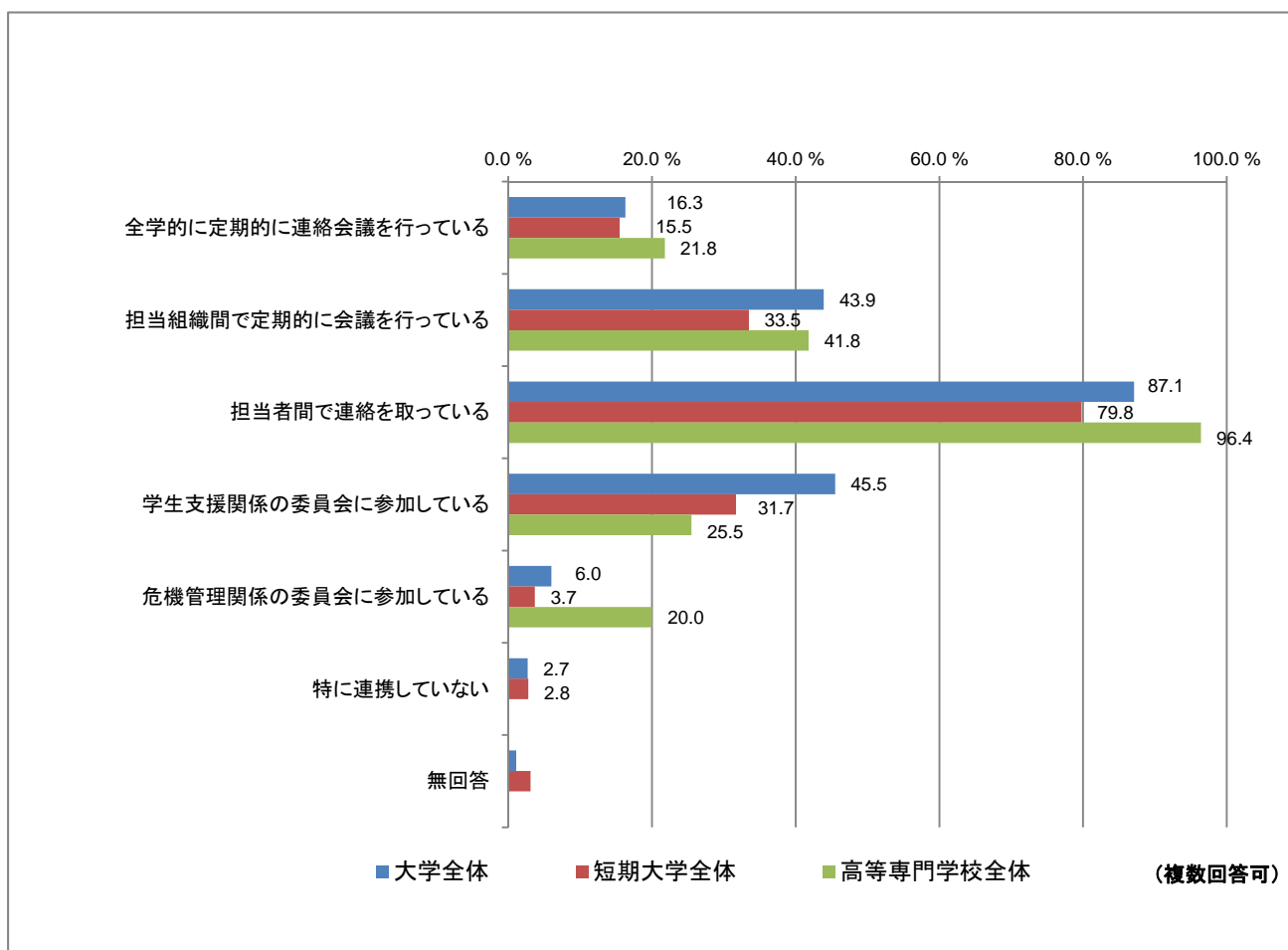
学生相談に対応する組織における個別相談以外の活動状況については、各学校種ともに「リーフレットの作成・配布」が最も高い結果となった。高専全体では「スクリーニング調査」「一般教職員を対象とした学生対応等に関する研修」が大学全体・短大全体に比べ高くなっている。「その他」としては、オリエンテーション、SST(ソーシャルスキルトレーニング)、学生・教職員を対象としたメンタルヘルスに関する講演会、教職員・保護者等へのコンサルテーション等があった。



	学生生活等に関する授業	心理教育的ワークショップ	各種グループ活動	居場所による援助活動	スクリーニング調査	リーフレットの作成・配布	一般教職員を対象とした学生対応等に関する研修	その他	無回答
大学 全体	16.3	19.0	19.9	37.8	29.0	63.4	39.1	12.7	14.9
国立	44.7	22.4	29.4	28.2	54.1	75.3	60.0	12.9	8.2
公立	8.4	12.0	3.6	25.3	28.9	54.2	32.5	8.4	20.5
私立	13.3	19.5	20.8	41.0	25.4	63.0	37.0	13.3	15.0
短期大学 全体	10.2	11.5	9.3	29.8	17.4	44.7	30.7	7.8	26.7
高等専門学校 全体	12.7	25.5	1.8	38.2	72.7	87.3	76.4	12.7	1.8

学生相談に対応する組織と学内の他組織との連携状況

学生相談に対応する組織と学内の他組織との連携状況については、各学校種いずれも、「担当者間で連絡をとっている」(大学全体 87.1%、短大全体 79.8%、高専全体 96.4%)と最も高い。大学全体・短大全体に大きな変化は見られなかったが、高専全体では「危機管理関係の委員会に参加している」(5.6%→20.0%)と増加している。



		全学的に定期的に連絡会議を行っている	担当組織間で定期的に会議を行っている	担当者間で連絡を取っている	学生支援関係の委員会に参加している	危機管理関係の委員会に参加している	特に連携していない	無回答	
平成27年度	大学 全体	16.3	43.9	87.1	45.5	6.0	2.7	1.1	
		国立	32.9	51.8	89.4	67.1	24.7	4.7	0.0
		公立	14.5	39.8	81.9	38.6	2.4	2.4	1.2
		私立	14.2	43.3	87.5	43.3	3.8	2.4	1.2
	短期大学 全体	15.5	33.5	79.8	31.7	3.7	2.8	3.1	
	高等専門学校 全体	21.8	41.8	96.4	25.5	20.0	0.0	0.0	

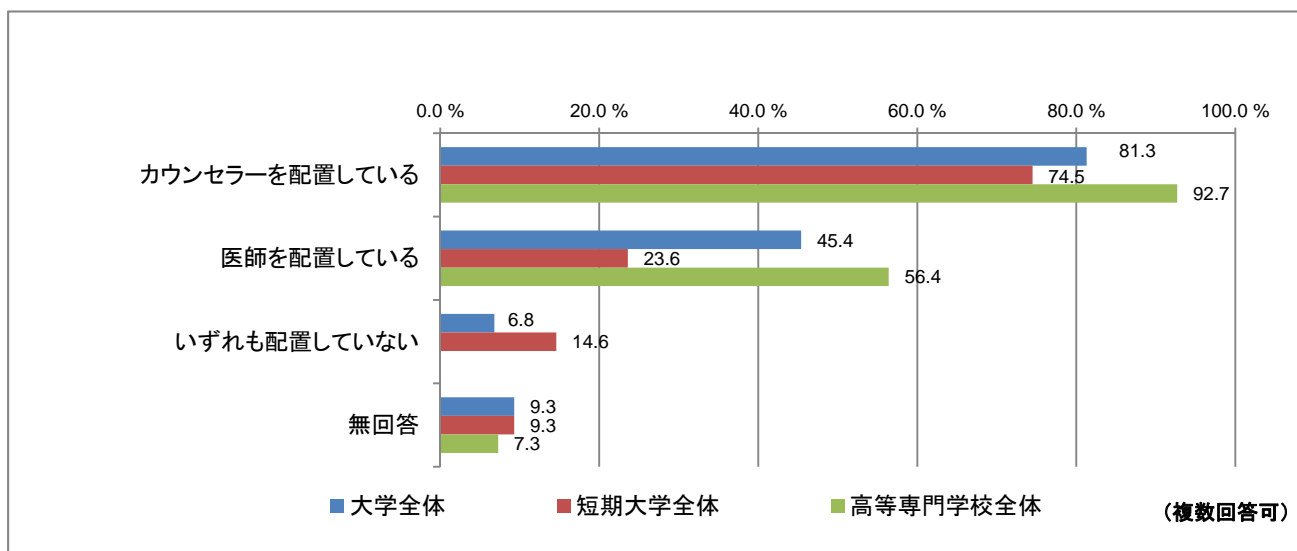
<参考>

平成25年度	大学 全体	15.7	42.9	86.1	42.6	7.3	3.0	0.7	
		国立	22.4	43.5	84.7	65.9	20.0	3.5	1.2
		公立	14.3	33.8	83.1	40.3	3.9	3.9	2.6
		私立	14.9	44.0	86.7	39.5	5.9	2.8	0.3
	短期大学 全体	13.1	31.9	83.6	32.2	0.9	4.6	0.9	
	高等専門学校 全体	11.1	42.6	85.2	27.8	5.6	0.0	3.7	

カウンセラー及び医師の配置状況

カウンセラー及び医師の配置状況については、各学校種とも「カウンセラーを配置している」は7割を超えている。大学の設置者別では、カウンセラー・医師とも国立大学の配置割合が高い。また、配置平均人数については、カウンセラー・医師ともに、各学校種共通して非常勤が多くなっている。

※ここでの「カウンセラー」とは、「臨床心理士」ないしは「大学カウンセラー」（「日本学生相談学会」認定）の資格を持つものとします。



		カウンセラーを配置している	医師を配置している	いずれも配置していない	無回答	
平成27年度	大学 全体	81.3	45.4	6.8	9.3	
	国立	88.2	83.5	0.0	9.4	
		公立	84.3	39.8	4.8	9.6
		私立	79.9	40.6	8.0	9.2
	短期大学 全体	74.5	23.6	14.6	9.3	
	高等専門学校 全体	92.7	56.4	0.0	7.3	

<参考>

平成25年度	大学 全体	89.3	52.0	6.5	0.5	
	国立	95.3	92.9	0.0	0.0	
		公立	87.0	39.0	6.5	2.6
		私立	88.7	47.7	7.5	0.3
	短期大学 全体	80.2	28.6	15.8	1.8	
	高等専門学校 全体	98.1	61.1	0.0	1.9	

●カウンセラー配置平均人数

		平成27年度	<参考>平成25年度	
大学 全体	常勤カウンセラー	1.5	1.6	
	非常勤カウンセラー	3.0	3.0	
国立	常勤カウンセラー	2.0	1.8	
	非常勤カウンセラー	3.5	3.2	
	公立	常勤カウンセラー	0.9	1.4
		非常勤カウンセラー	2.0	1.9
	私立	常勤カウンセラー	1.5	1.5
		非常勤カウンセラー	3.1	3.1
短期大学 全体	常勤カウンセラー	1.1	1.4	
	非常勤カウンセラー	1.8	1.8	
高等専門学校 全体	常勤カウンセラー	1.1	1.0	
	非常勤カウンセラー	2.2	2.1	

※平均値の算出に当たっては、カウンセラーを配置していると回答した学校だけを集計対象とした。

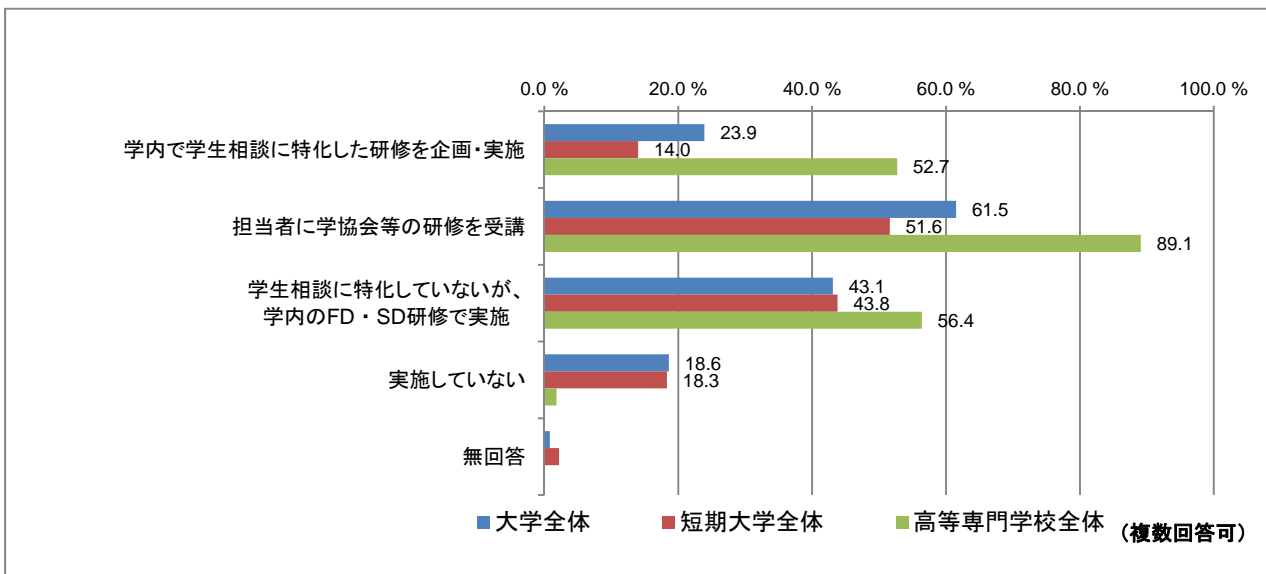
● 医師配置平均人数

		平成27年度	<参考>平成25年度
大学 全体		常勤医師 1.6	1.8
		非常勤医師 1.9	2.1
国立	常勤医師	2.0	2.1
	非常勤医師	2.2	2.7
公立	常勤医師	1.1	1.4
	非常勤医師	1.5	1.6
私立	常勤医師	1.4	1.7
	非常勤医師	1.9	2.0
短期大学 全体		常勤医師 0.8	1.4
		非常勤医師 1.5	1.4
高等専門学校 全体		常勤医師 0.2	0.2
		非常勤医師 1.2	1.3

※平均値の算出に当たっては、医師を配置していると回答した学校だけを集計対象とした。

学生相談にかかわる教職員等の知識・技能の向上のため実施している取組

学生相談にかかわる教職員等の知識・技能の向上のため実施している取組について、各学校種ともに最も多く実施している取組は、「担当者に学協会等の研修を受講」(大学全体 61.5%、短大全体 51.6%、高専全体 89.1%)であり、前回調査と比較して割合も増加している。



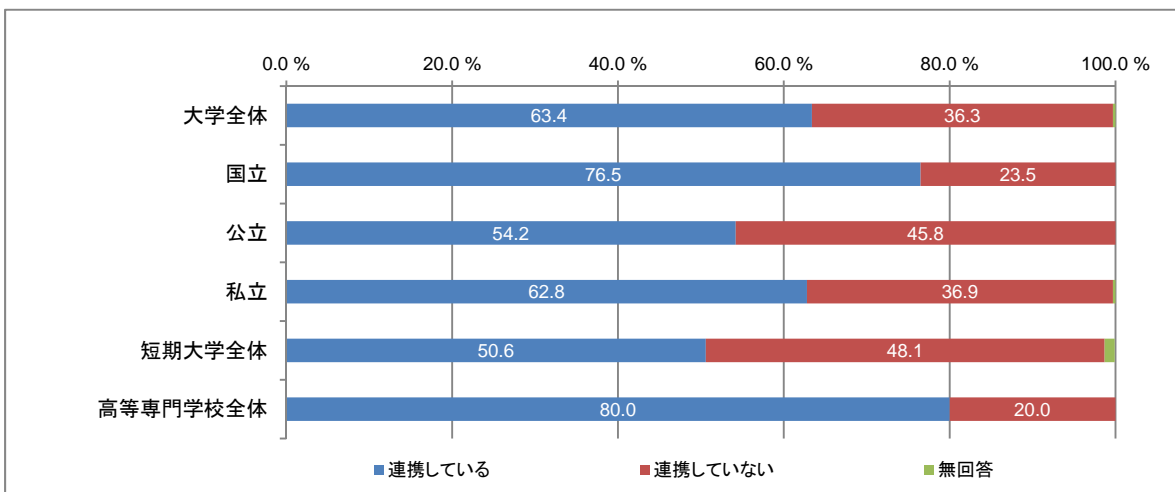
		学内で学生相談に特化した研修を企画・実施	担当者に学協会等の研修を受講	担当者にJASSOの研修会を受講	学生相談に特化していないが、学内のFD・SD研修で実施	実施していない	無回答	
平成27年度	大学 全体	23.9	61.5		43.1	18.6	0.8	
		国立	32.9	78.8		63.5	4.7	0.0
		公立	15.7	61.4		39.8	21.7	0.0
		私立	23.7	59.0		40.6	20.1	1.0
		短期大学 全体	14.0	51.6		43.8	18.3	2.2
		高等専門学校 全体	52.7	89.1		56.4	1.8	0.0

<参考>

		学内で学生相談に特化した研修を企画・実施	担当者に学協会等の研修を受講	担当者にJASSOの研修会を受講	学生相談に特化していないが、学内のFD・SD研修で実施	実施していない	無回答	
平成25年度	大学 全体	26.4	55.8	50.6	41.1	13.5	2.7	
		国立	42.4	62.4	83.5	60.0	4.7	3.5
		公立	18.2	45.5	42.9	37.7	10.4	7.8
		私立	25.1	56.2	46.8	38.8	15.3	1.9
		短期大学 全体	16.1	44.1	35.3	44.7	19.1	2.4
		高等専門学校 全体	46.3	81.5	75.9	57.4	3.7	1.9

学生相談に関する学外機関との連携状況

学生相談に関する学外機関との連携状況については、各学校種とも「連携している」は、5割を超えており、前回調査と比較すると、大学全体(62.9%→63.4%)が微増、短大全体(51.4%→50.6%)で微減、高専全体(70.4%→80.0%)の増加となっている。



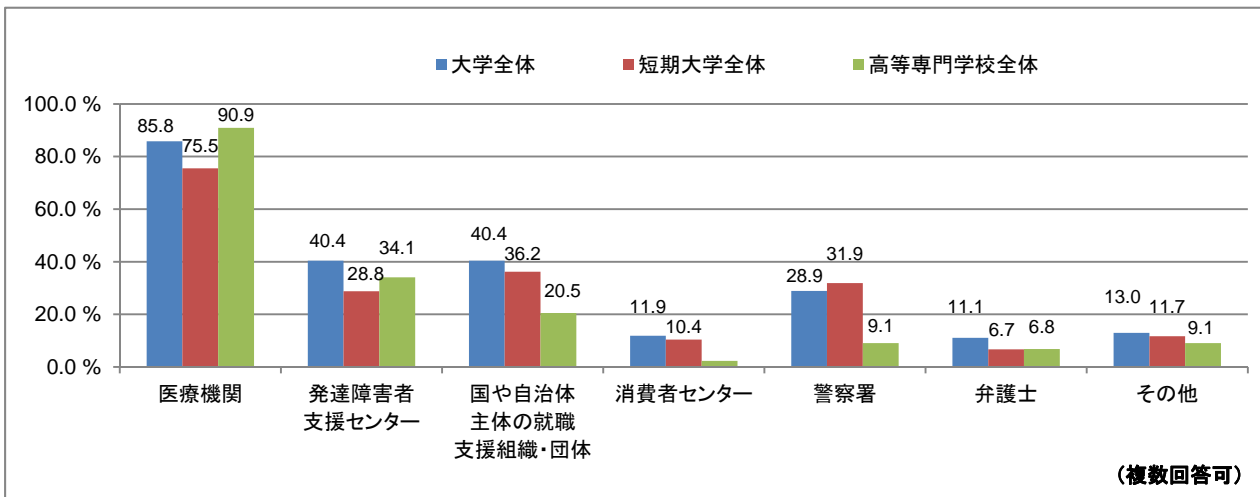
		連携している	連携していない	無回答	
平成 27 年度	大学 全体	63.4	36.3	0.3	
		国立	76.5	23.5	0.0
		公立	54.2	45.8	0.0
		私立	62.8	36.9	0.3
	短期大学 全体	50.6	48.1	1.2	
	高等専門学校 全体	80.0	20.0	0.0	

<参考>

平成 25 年度	大学 全体	62.9	36.3	0.8	
		国立	68.2	31.8	0.0
		公立	53.2	44.2	2.6
		私立	63.4	35.9	0.7
	短期大学 全体	51.4	47.7	0.9	
	高等専門学校 全体	70.4	27.8	1.9	

学生相談について連携している学外機関

学生相談について連携している学外機関については、各学校種とも「医療機関」が最も連携している割合が高く、大学全体 85.8%、短大全体 75.5%、高専全体 90.9%であった。高専全体では「国や自治体主体の就職支援組織・団体」(42.1%→20.5%)が大きく減少している。



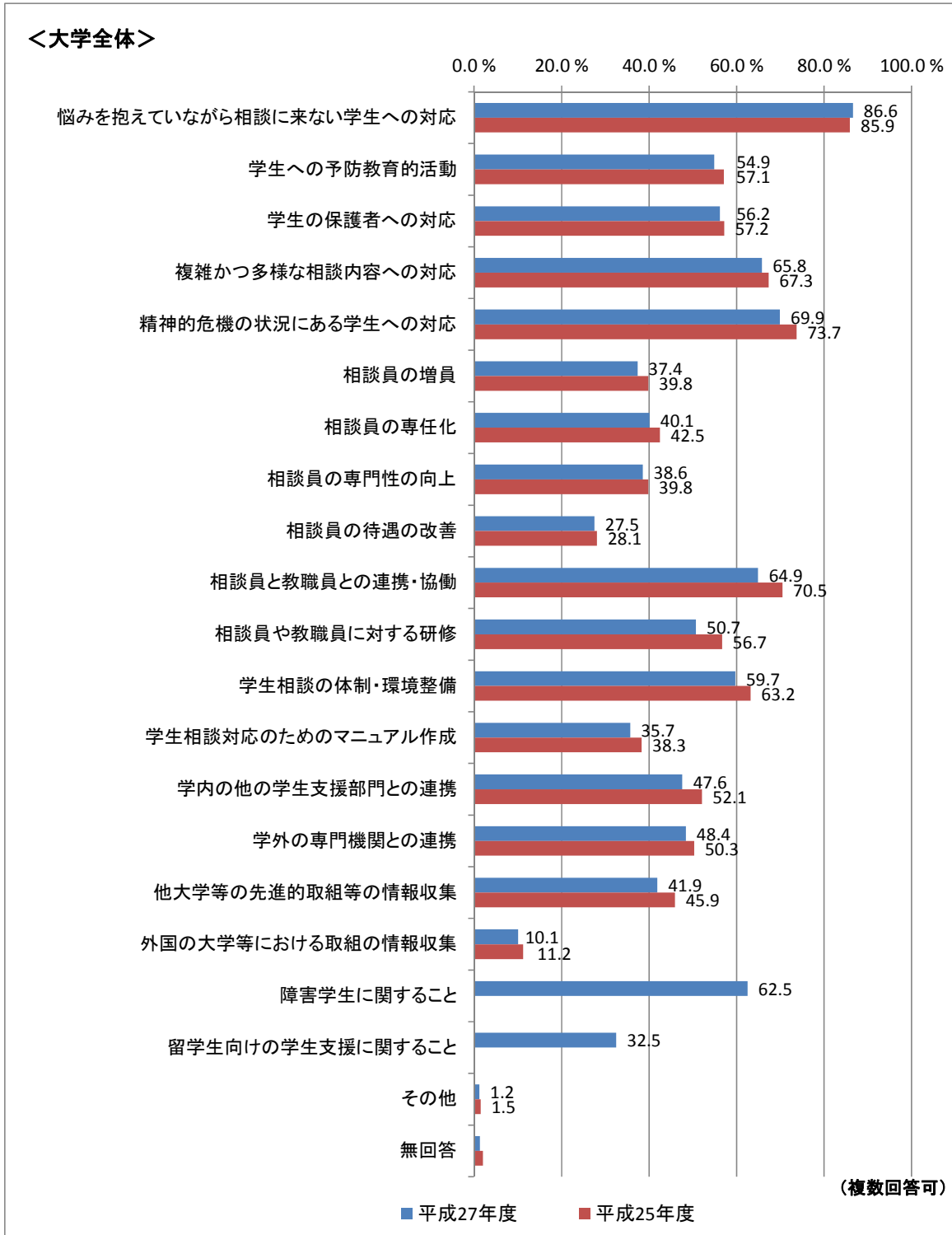
		医療機関	発達障害者支援センター	国や自治体主体の就職支援組織・団体	消費者センター	警察署	弁護士	その他	
平成 27 年度	大学 全体	85.8	40.4	40.4	11.9	28.9	11.1	13.0	
		国立	89.2	46.2	49.2	20.0	32.3	15.4	12.3
		公立	86.7	35.6	33.3	15.6	28.9	2.2	11.1
		私立	85.1	39.9	39.7	10.1	28.3	11.4	13.3
	短期大学 全体	75.5	28.8	36.2	10.4	31.9	6.7	11.7	
	高等専門学校 全体	90.9	34.1	20.5	2.3	9.1	6.8	9.1	

<参考>

平成 25 年度	大学 全体	86.7	37.6	38.9	12.7	28.8	13.8	11.2	
		国立	86.2	41.4	44.8	24.1	32.8	6.9	13.8
		公立	92.7	29.3	31.7	14.6	24.4	7.3	4.9
		私立	86.1	38.0	38.8	10.7	28.7	15.6	11.5
	短期大学 全体	77.5	27.8	37.9	5.3	33.1	9.5	7.1	
	高等専門学校 全体	78.9	44.7	42.1	2.6	5.3	0.0	28.9	

学生相談に関する今後の課題として特に必要性が高いと思われる事項

学生相談に関する今後の課題として特に必要性が高いと思われる事項については、各学校種ともに「悩みを抱えていながら相談に来ない学生への対応」が最も高く、大学全体 86.6%、短大全体 81.7%、高専全体 89.1%となっている。今回の調査から新たに加えた項目「障害学生に関すること」については、各学校種とも 5 割以上となっている。



		平成27年度 (特に必要性が高いと思われる事項について該当する項目を全て選択)	<参考> 平成25年度 (特に必要性が高いと思われる事項について該当する項目を全て選択)	
悩みを抱えていながら相談に来ない学生への対応	大学 全体	86.6	85.9	
		国立	90.6	97.6
		公立	84.3	84.4
		私立	86.3	84.4
	短期大学 全体	81.7	82.1	
	高等専門学校 全体	89.1	79.6	
学生への予防教育的活動	大学 全体	54.9	57.1	
		国立	72.9	70.6
		公立	38.6	50.6
		私立	54.6	56.0
	短期大学 全体	44.4	48.0	
	高等専門学校 全体	60.0	64.8	
学生の保護者への対応	大学 全体	56.2	57.2	
		国立	68.2	65.9
		公立	42.2	53.2
		私立	56.5	56.5
	短期大学 全体	52.8	54.7	
	高等専門学校 全体	70.9	66.7	
複雑かつ多様な相談内容への対応	大学 全体	65.8	67.3	
		国立	75.3	72.9
		公立	61.4	59.7
		私立	65.0	67.4
	短期大学 全体	58.1	58.1	
	高等専門学校 全体	60.0	57.4	
精神的危機の状況にある学生への対応	大学 全体	69.9	73.7	
		国立	83.5	84.7
		公立	73.5	77.9
		私立	67.4	71.6
	短期大学 全体	60.9	66.3	
	高等専門学校 全体	70.9	70.4	
相談員の増員	大学 全体	37.4	39.8	
		国立	62.4	61.2
		公立	30.1	31.2
		私立	34.8	37.8
	短期大学 全体	28.0	27.7	
	高等専門学校 全体	32.7	29.6	
相談員の専任化	大学 全体	40.1	42.5	
		国立	56.5	54.1
		公立	31.3	35.1
		私立	38.9	41.8
	短期大学 全体	29.8	35.0	
	高等専門学校 全体	47.3	37.0	
相談員の専門性の向上	大学 全体	38.6	39.8	
		国立	54.1	55.3
		公立	28.9	31.2
		私立	37.7	38.6
	短期大学 全体	27.0	30.1	
	高等専門学校 全体	43.6	37.0	

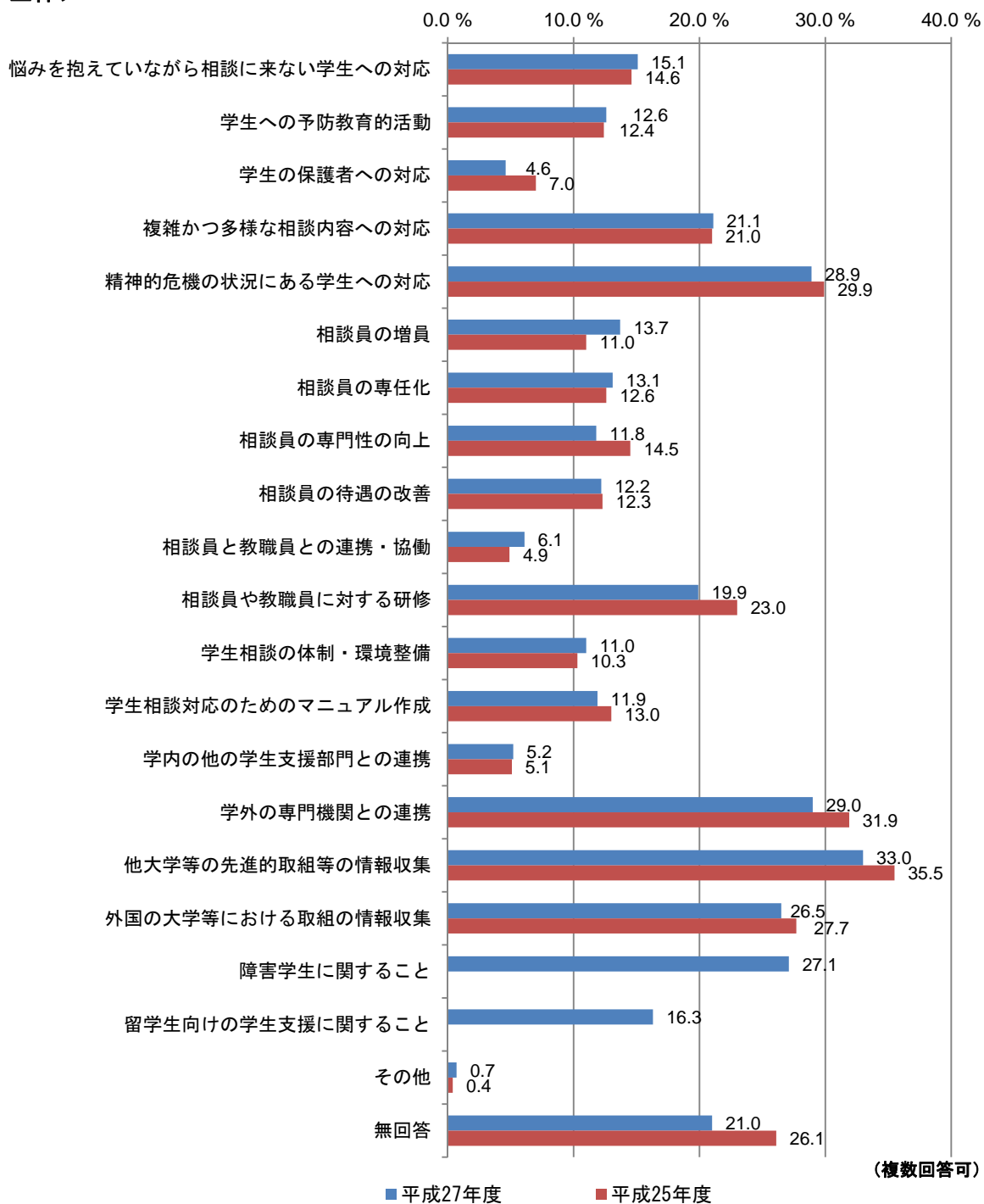
		平成27年度 (特に必要性が高いと思われる事項について該当する項目を全て選択)	<参考> 平成25年度 (特に必要性が高いと思われる事項について該当する項目を全て選択)	
相談員の待遇の改善	大学 全体	27.5	28.1	
		国立	44.7	42.4
		公立	20.5	20.8
		私立	25.9	27.0
	短期大学 全体	15.5	19.8	
	高等専門学校 全体	30.9	33.3	
相談員と教職員との連携・協働	大学 全体	64.9	70.5	
		国立	74.1	82.4
		公立	61.4	68.8
		私立	64.0	69.0
	短期大学 全体	54.7	59.9	
	高等専門学校 全体	76.4	59.3	
相談員や教職員に対する研修	大学 全体	50.7	56.7	
		国立	67.1	60.0
		公立	41.0	48.1
		私立	49.7	57.4
	短期大学 全体	44.7	48.6	
	高等専門学校 全体	63.6	59.3	
学生相談の体制・環境整備	大学 全体	59.7	63.2	
		国立	74.1	72.9
		公立	54.2	54.5
		私立	58.4	62.9
	短期大学 全体	50.3	61.4	
	高等専門学校 全体	58.2	53.7	
学生相談対応のためのマニュアル作成	大学 全体	35.7	38.3	
		国立	48.2	42.4
		公立	32.5	32.5
		私立	34.3	38.5
	短期大学 全体	33.2	35.0	
	高等専門学校 全体	38.2	27.8	
学内の他の学生支援部門との連携	大学 全体	47.6	52.1	
		国立	70.6	62.4
		公立	30.1	36.4
		私立	46.8	52.7
	短期大学 全体	31.4	40.1	
	高等専門学校 全体	38.2	42.6	
学外の専門機関との連携	大学 全体	48.4	50.3	
		国立	63.5	51.8
		公立	30.1	37.7
		私立	48.8	51.8
	短期大学 全体	45.7	42.2	
	高等専門学校 全体	61.8	57.4	
他大学等の先進的取組等の情報収集	大学 全体	41.9	45.9	
		国立	64.7	57.6
		公立	33.7	33.8
		私立	39.8	45.8
	短期大学 全体	28.6	34.3	
	高等専門学校 全体	16.4	27.8	

		平成27年度 (特に必要性が高いと思われる事項について該当する項目を全て選択)	<参考> 平成25年度 (特に必要性が高いと思われる事項について該当する項目を全て選択)	
外国の大学等における取組の情報収集	大学 全体	10.1	11.2	
		国立	23.5	21.2
		公立	6.0	3.9
		私立	8.7	10.7
	短期大学 全体	4.7	4.9	
	高等専門学校 全体	7.3	3.7	
障害学生に関すること	大学 全体	62.5	/	
		国立		80.0
		公立		55.4
		私立		60.9
	短期大学 全体	50.9		
	高等専門学校 全体	61.8		
留学生向けの学生支援に関すること	大学 全体	32.5	/	
		国立		57.6
		公立		20.5
		私立		30.5
	短期大学 全体	16.5		
	高等専門学校 全体	29.1		
その他	大学 全体	1.2	1.5	
		国立	3.5	2.4
		公立	1.2	1.3
		私立	0.9	1.4
	短期大学 全体	0.0	0.0	
	高等専門学校 全体	1.8	1.9	
無回答	大学 全体	1.3	2.0	
		国立	0.0	1.2
		公立	1.2	3.9
		私立	1.5	1.9
	短期大学 全体	3.1	1.8	
	高等専門学校 全体	0.0	1.9	

今後、学生相談に関する取組を充実するうえで学校単独では実施困難な事項

今後、学生相談に関する取組を充実するうえで学校単独では実施困難な事項について、各学校種において最も高いものは、大学全体が「他大学等の先進的取組等の情報収集」33.0%、短大全体が「精神的危機の状況にある学生への対応」30.1%、高専全体は「相談員の専任化」43.6%であった。各学校種ともに共通して高いものは、「精神的危機の状況にある学生への対応」「学外の専門機関との連携」であった。

<大学全体>



		平成27年度 (学校単独では実施困難と思われる事項 について該当する項目を全て選択)	<参考> 平成25年度 (学校単独では実施困難と思われる事項 について該当する項目を全て選択)	
悩みを抱えていながら 相談に来ない学生 への対応	大学 全体	15.1	14.6	
		国立	25.9	23.5
		公立	12.0	10.4
		私立	14.0	13.9
	短期大学 全体	12.4	14.3	
	高等専門学校 全体	14.5	16.7	
学生への予防教育的活動	大学 全体	12.6	12.4	
		国立	16.5	8.2
		公立	7.2	14.3
		私立	12.8	12.8
	短期大学 全体	10.6	11.9	
	高等専門学校 全体	18.2	11.1	
学生の保護者への 対応	大学 全体	4.6	7.0	
		国立	5.9	8.2
		公立	4.8	10.4
		私立	4.4	6.4
	短期大学 全体	5.0	7.6	
	高等専門学校 全体	10.9	5.6	
複雑かつ多様な相談 内容への対応	大学 全体	21.1	21.0	
		国立	22.4	20.0
		公立	30.1	26.0
		私立	19.6	20.5
	短期大学 全体	19.3	24.9	
	高等専門学校 全体	30.9	35.2	
精神的危機の状況 にある学生への対応	大学 全体	28.9	29.9	
		国立	24.7	35.3
		公立	28.9	23.4
		私立	29.5	30.0
	短期大学 全体	30.1	32.8	
	高等専門学校 全体	40.0	40.7	
相談員の増員	大学 全体	13.7	11.0	
		国立	21.2	12.9
		公立	16.9	10.4
		私立	12.1	10.7
	短期大学 全体	16.5	13.4	
	高等専門学校 全体	18.2	18.5	
相談員の専任化	大学 全体	13.1	12.6	
		国立	21.2	21.2
		公立	15.7	9.1
		私立	11.6	11.8
	短期大学 全体	15.2	14.9	
	高等専門学校 全体	43.6	33.3	
相談員の専門性の 向上	大学 全体	11.8	14.5	
		国立	18.8	20.0
		公立	9.6	10.4
		私立	11.1	14.2
	短期大学 全体	10.6	14.6	
	高等専門学校 全体	32.7	40.7	

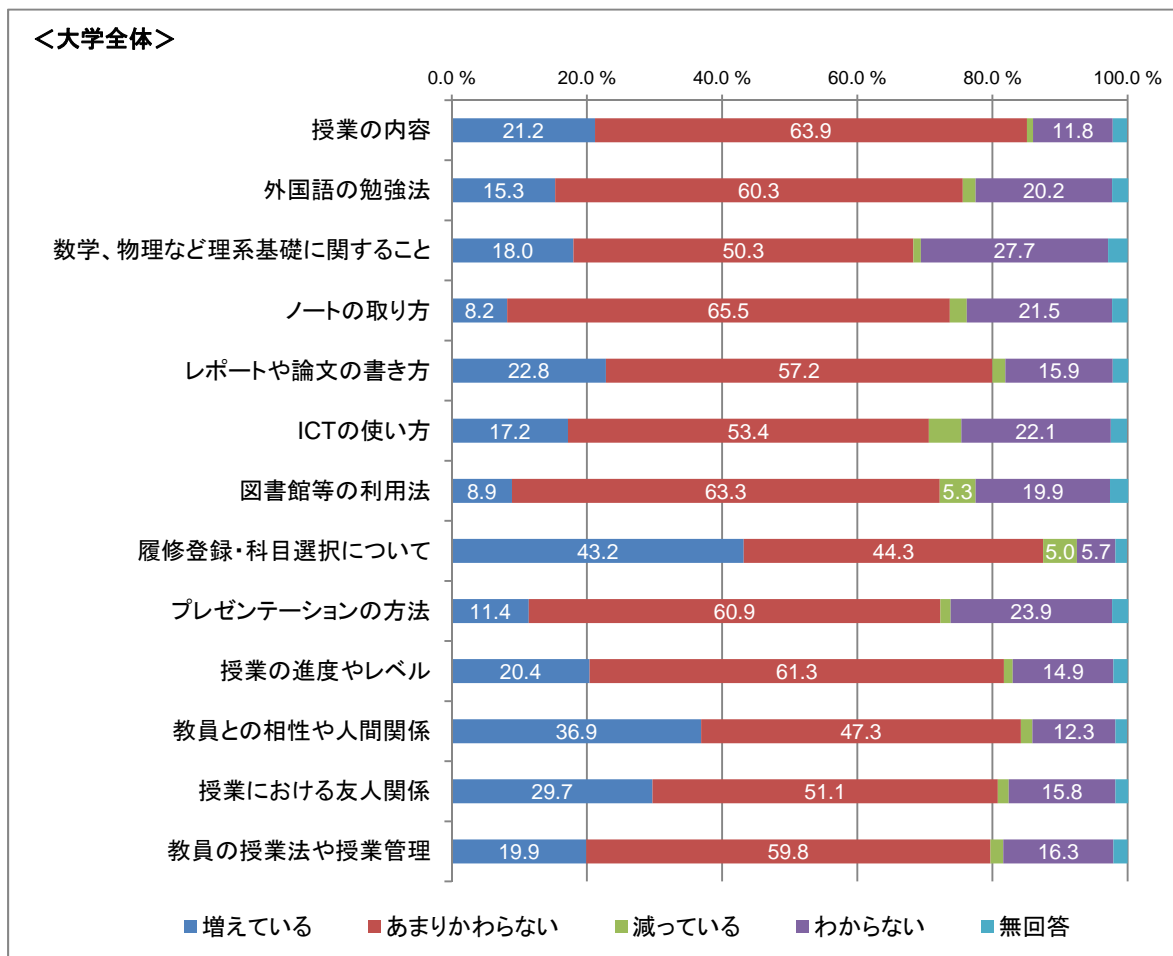
		平成27年度 (学校単独では実施困難と思われる事項 について該当する項目を全て選択)	<参考> 平成25年度 (学校単独では実施困難と思われる事項 について該当する項目を全て選択)	
相談員の待遇の改善	大学 全体	12.2	12.3	
		国立	21.2	17.6
		公立	8.4	9.1
		私立	11.4	12.0
	短期大学 全体	10.9	11.2	
	高等専門学校 全体	21.8	31.5	
相談員と教職員との連携・協働	大学 全体	6.1	4.9	
		国立	7.1	8.2
		公立	2.4	5.2
		私立	6.5	4.3
	短期大学 全体	4.0	4.3	
	高等専門学校 全体	10.9	3.7	
相談員や教職員に対する研修	大学 全体	19.9	23.0	
		国立	23.5	28.2
		公立	16.9	24.7
		私立	19.8	22.0
	短期大学 全体	15.8	21.0	
	高等専門学校 全体	27.3	33.3	
学生相談の体制・環境整備	大学 全体	11.0	10.3	
		国立	16.5	17.6
		公立	9.6	13.0
		私立	10.4	8.8
	短期大学 全体	7.1	5.2	
	高等専門学校 全体	18.2	20.4	
学生相談対応のためのマニュアル作成	大学 全体	11.9	13.0	
		国立	16.5	16.5
		公立	12.0	11.7
		私立	11.3	12.7
	短期大学 全体	13.4	14.6	
	高等専門学校 全体	7.3	27.8	
学内の他の学生支援部門との連携	大学 全体	5.2	5.1	
		国立	5.9	7.1
		公立	3.6	6.5
		私立	5.3	4.7
	短期大学 全体	3.7	4.3	
	高等専門学校 全体	7.3	11.1	
学外の専門機関との連携	大学 全体	29.0	31.9	
		国立	32.9	32.9
		公立	31.3	31.2
		私立	28.2	31.9
	短期大学 全体	28.0	26.7	
	高等専門学校 全体	40.0	42.6	
他大学等の先進的取組等の情報収集	大学 全体	33.0	35.5	
		国立	45.9	44.7
		公立	24.1	28.6
		私立	32.4	35.0
	短期大学 全体	25.5	28.9	
	高等専門学校 全体	18.2	42.6	

		平成27年度 (学校単独では実施困難と思われる事項 について該当する項目を全て選択)	<参考> 平成25年度 (学校単独では実施困難と思われる事項 について該当する項目を全て選択)		
外国の大学等における取組の情報収集	大学 全体	26.5	27.7		
		国立	38.8	45.9	
		公立	19.3	18.2	
		私立	25.8	26.3	
	短期大学 全体	20.2	20.7		
高等専門学校 全体	16.4	29.6			
障害学生に関すること	大学 全体	27.1	/		
		国立		32.9	
		公立		30.1	
		私立		25.8	
	短期大学 全体	20.8			
高等専門学校 全体	29.1				
留学生向けの学生支援に関すること	大学 全体	16.3		/	
		国立			23.5
		公立			12.0
		私立			15.9
	短期大学 全体	11.5			
高等専門学校 全体	20.0				
その他	大学 全体	0.7	0.4		
		国立	3.5		0.0
		公立	0.0		0.0
		私立	0.3		0.5
	短期大学 全体	0.0	0.0		
高等専門学校 全体	1.8	1.9			
無回答	大学 全体	21.0	26.1		
		国立	12.9	15.3	
		公立	24.1	41.6	
		私立	21.7	25.6	
	短期大学 全体	23.6	26.7		
高等専門学校 全体	12.7	16.7			

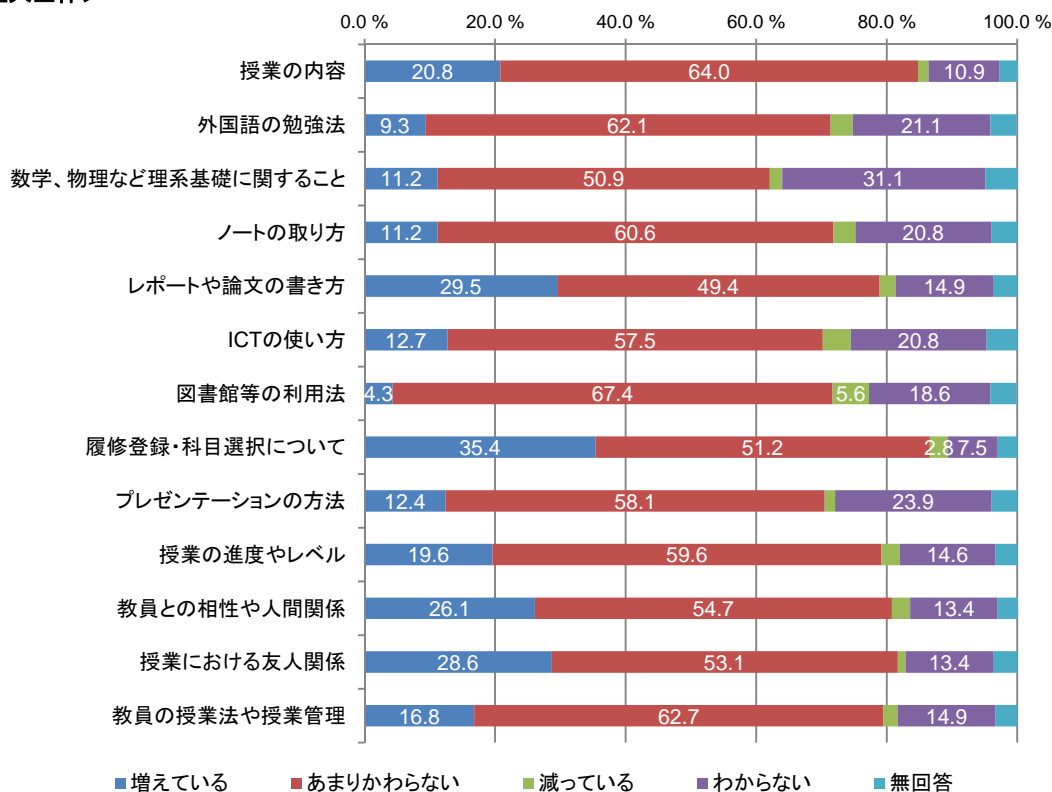
VII 成績不振学生・不登校学生等

修学に関する相談の傾向

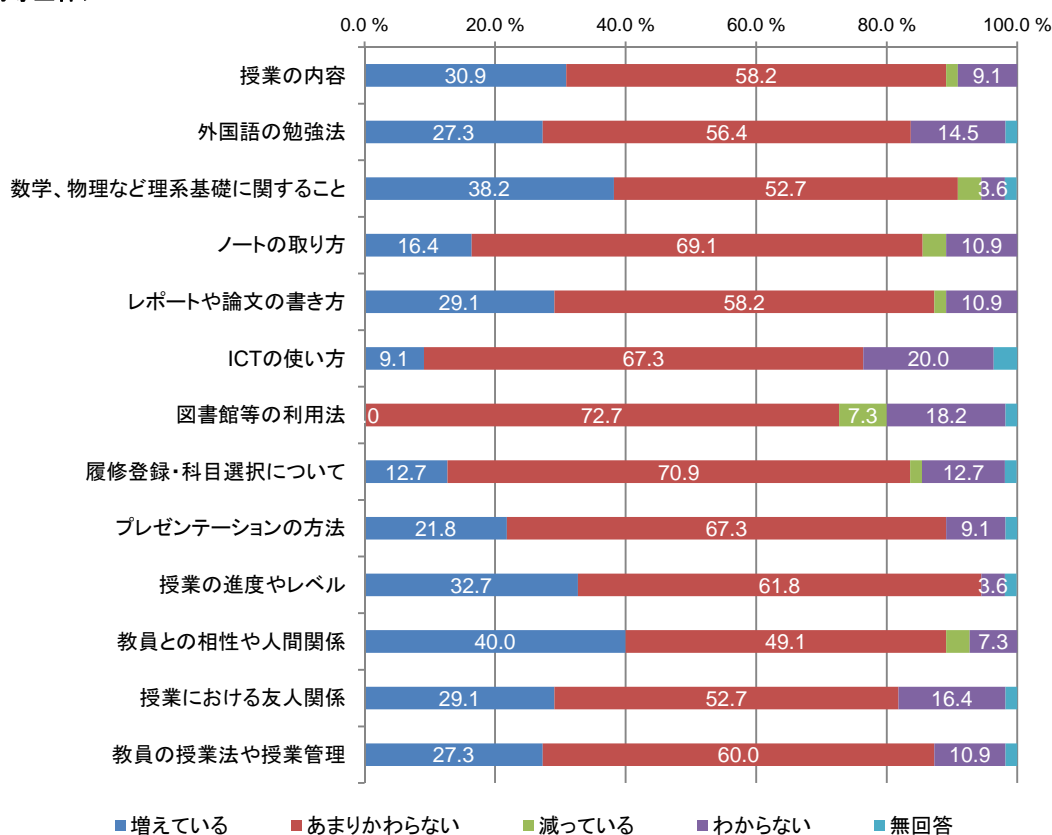
修学に関する相談の最近3年程度の傾向について、「増えている」割合が最も高いのは、大学全体・短大全体で「履修登録・科目選択について」(大学全体 43.2%、短大全体 35.4%)、高専全体では「教員との相性や人間関係」(40.0%)であった。大学における「増えている」割合の高い上位、「履修登録・科目選択について」「教員との相性や人間関係」「授業における友人関係」については、前回調査と変化はない。



<短大全体>



<高専全体>

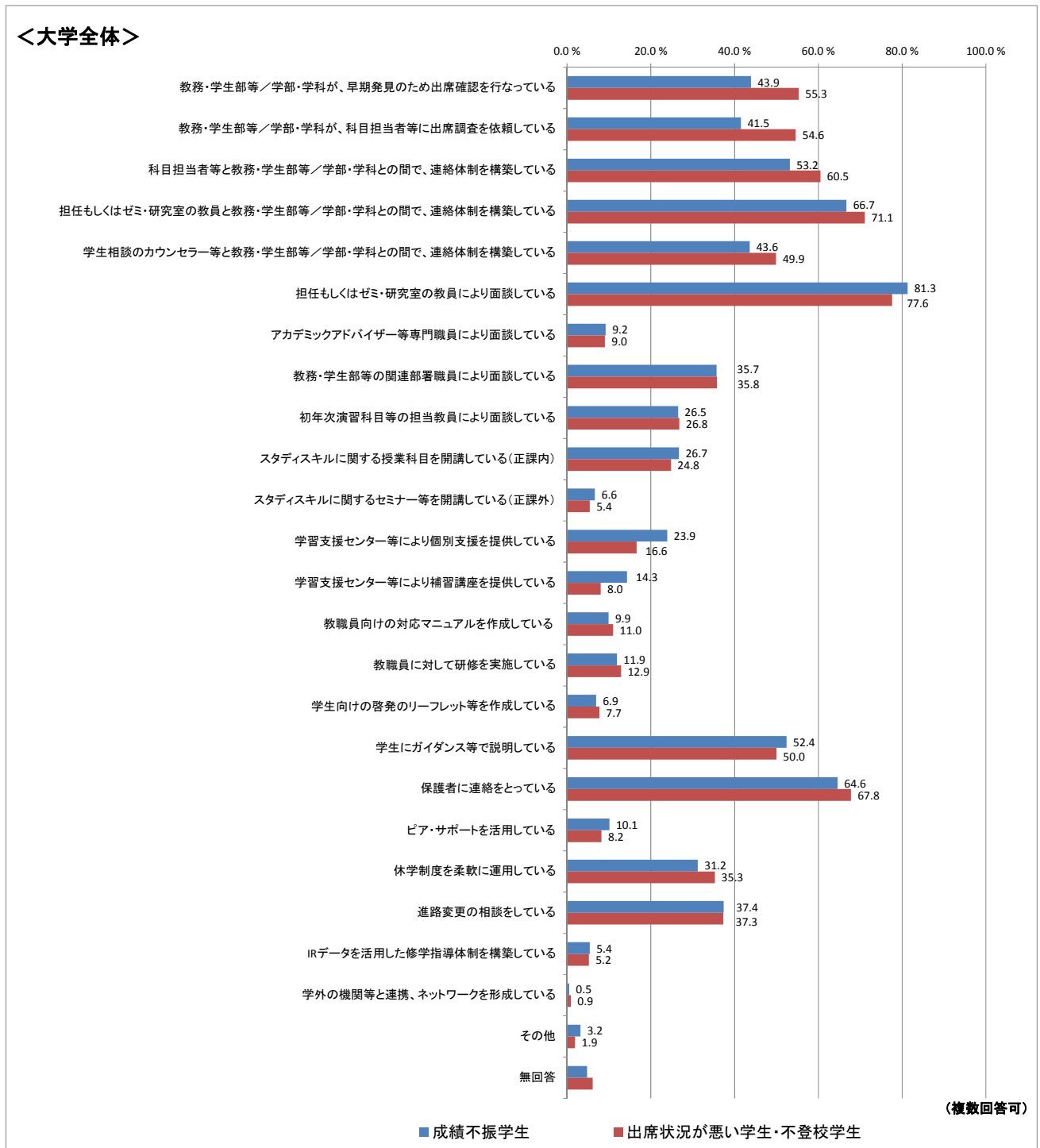


		平成27年度 (修学に関する相談について最近3年程度の傾向として該当するものを1つ選択)					<参考> 平成25年度 (修学に関する相談について最近3年程度の傾向として該当するものを1つ選択)				
		増えている	あまりかわらない	減っている	わからない	無回答	増えている	あまりかわらない	減っている	無回答	
授業の内容	大学 全体	21.2	63.9	0.9	11.8	2.1	23.4	70.6	1.9	4.1	
		国立	20.0	62.4	0.0	17.6	0.0	24.7	71.8	1.2	2.4
		公立	10.8	60.2	0.0	26.5	2.4	10.4	77.9	1.3	10.4
		私立	22.9	64.7	1.2	8.9	2.4	25.0	69.5	2.1	3.5
	短期大学 全体	20.8	64.0	1.6	10.9	2.8	21.6	72.6	2.7	3.0	
高等専門学校 全体	30.9	58.2	1.8	9.1	0.0	18.5	75.9	3.7	1.9		
外国語の勉強法	大学 全体	15.3	60.3	1.9	20.2	2.4	17.7	74.8	2.3	5.1	
		国立	30.6	44.7	0.0	24.7	0.0	28.2	68.2	0.0	3.5
		公立	8.4	57.8	1.2	30.1	2.4	13.0	76.6	0.0	10.4
		私立	14.0	63.0	2.2	18.1	2.7	16.8	75.6	2.9	4.7
	短期大学 全体	9.3	62.1	3.4	21.1	4.0	7.9	81.5	4.9	5.8	
高等専門学校 全体	27.3	56.4	0.0	14.5	1.8	31.5	63.0	0.0	5.6		
基礎学、物理など理系に関すること	大学 全体	18.0	50.3	1.1	27.7	2.9	18.3	70.9	3.8	7.0	
		国立	28.2	49.4	1.2	21.2	0.0	23.5	71.8	1.2	3.5
		公立	7.2	50.6	1.2	37.3	3.6	9.1	77.9	0.0	13.0
		私立	18.1	50.3	1.0	27.3	3.2	18.7	69.8	4.7	6.8
	短期大学 全体	11.2	50.9	1.9	31.1	5.0	10.0	72.3	7.3	10.3	
高等専門学校 全体	38.2	52.7	3.6	3.6	1.8	31.5	61.1	3.7	3.7		
ノートの取り方	大学 全体	8.2	65.5	2.5	21.5	2.3	9.9	81.2	3.0	6.0	
		国立	5.9	62.4	0.0	31.8	0.0	8.2	85.9	1.2	4.7
		公立	3.6	57.8	1.2	34.9	2.4	3.9	81.8	2.6	11.7
		私立	9.2	67.1	3.1	18.1	2.6	10.9	80.4	3.3	5.4
	短期大学 全体	11.2	60.6	3.4	20.8	4.0	7.3	83.0	4.3	5.5	
高等専門学校 全体	16.4	69.1	3.6	10.9	0.0	5.6	85.2	1.9	7.4		
レポートや論文の書き方	大学 全体	22.8	57.2	1.9	15.9	2.3	25.7	67.9	1.4	5.0	
		国立	28.2	50.6	0.0	21.2	0.0	25.9	69.4	1.2	3.5
		公立	7.2	56.6	0.0	33.7	2.4	14.3	75.3	0.0	10.4
		私立	24.2	58.2	2.4	12.6	2.6	27.2	66.7	1.6	4.5
	短期大学 全体	29.5	49.4	2.5	14.9	3.7	27.7	65.0	2.4	4.9	
高等専門学校 全体	29.1	58.2	1.8	10.9	0.0	24.1	66.7	3.7	5.6		
ICTの使い方	大学 全体	17.2	53.4	4.8	22.1	2.4	18.7	70.8	3.7	6.9	
		国立	12.9	52.9	7.1	27.1	0.0	21.2	71.8	2.4	4.7
		公立	6.0	59.0	2.4	30.1	2.4	14.3	70.1	3.9	11.7
		私立	19.5	52.7	4.8	20.3	2.7	18.9	70.7	3.8	6.6
	短期大学 全体	12.7	57.5	4.3	20.8	4.7	17.6	71.4	3.3	7.6	
高等専門学校 全体	9.1	67.3	0.0	20.0	3.6	7.4	83.3	1.9	7.4		
図書館等の利用法	大学 全体	8.9	63.3	5.3	19.9	2.7	12.9	76.9	4.3	6.0	
		国立	8.2	58.8	3.5	28.2	1.2	12.9	78.8	3.5	4.7
		公立	2.4	61.4	3.6	30.1	2.4	6.5	77.9	2.6	13.0
		私立	9.9	64.2	5.8	17.2	2.9	13.7	76.4	4.7	5.2
	短期大学 全体	4.3	67.4	5.6	18.6	4.0	9.1	79.9	5.5	5.5	
高等専門学校 全体	0.0	72.7	7.3	18.2	1.8	7.4	74.1	11.1	7.4		
履修登録・科目選択について	大学 全体	43.2	44.3	5.0	5.7	1.7	47.1	45.7	3.1	4.1	
		国立	51.8	35.3	5.9	7.1	0.0	47.1	49.4	2.4	1.2
		公立	27.7	48.2	7.2	14.5	2.4	32.5	57.1	2.6	7.8
		私立	44.2	45.1	4.6	4.3	1.9	49.0	43.7	3.3	4.0
	短期大学 全体	35.4	51.2	2.8	7.5	3.1	43.8	50.5	4.3	1.5	
高等専門学校 全体	12.7	70.9	1.8	12.7	1.8	13.0	77.8	5.6	3.7		

		平成27年度 (修学に関する相談について最近3年程度の傾向として該当するものを1つ選択)					<参考> 平成25年度 (修学に関する相談について最近3年程度の傾向として該当するものを1つ選択)				
		増えている	あまりかわらない	減っている	わからない	無回答	増えている	あまりかわらない	減っている	無回答	
の 方 法 の シ ョ ン	大学 全体	11.4	60.9	1.5	23.9	2.4	12.3	79.2	2.0	6.5	
		国立	11.8	52.9	1.2	34.1	0.0	14.1	80.0	1.2	4.7
		公立	6.0	59.0	1.2	31.3	2.4	6.5	81.8	0.0	11.7
		私立	12.1	62.3	1.5	21.3	2.7	12.8	78.7	2.4	6.1
	短期大学 全体	12.4	58.1	1.6	23.9	4.0	11.6	79.0	3.3	6.1	
高等専門学校 全体	21.8	67.3	0.0	9.1	1.8	18.5	75.9	0.0	5.6		
授 業 の 進 度 や レ ベ ル	大学 全体	20.4	61.3	1.3	14.9	2.1	18.7	75.4	0.9	5.0	
		国立	18.8	61.2	1.2	18.8	0.0	16.5	78.8	1.2	3.5
		公立	9.6	60.2	0.0	27.7	2.4	10.4	79.2	0.0	10.4
		私立	22.2	61.4	1.5	12.5	2.4	20.1	74.4	1.0	4.5
	短期大学 全体	19.6	59.6	2.8	14.6	3.4	17.9	75.1	2.7	4.3	
高等専門学校 全体	32.7	61.8	0.0	3.6	1.8	20.4	72.2	1.9	5.6		
関 係 と の 相 性 や 人 間	大学 全体	36.9	47.3	1.7	12.3	1.7	35.0	58.6	1.4	5.0	
		国立	47.1	41.2	0.0	11.8	0.0	34.1	60.0	1.2	4.7
		公立	32.5	37.3	2.4	25.3	2.4	26.0	63.6	1.3	9.1
		私立	36.0	49.7	1.9	10.6	1.9	36.4	57.7	1.4	4.5
	短期大学 全体	26.1	54.7	2.8	13.4	3.1	32.2	61.4	2.4	4.0	
高等専門学校 全体	40.0	49.1	3.6	7.3	0.0	29.6	66.7	0.0	3.7		
授 業 に お け る 友 人 関	大学 全体	29.7	51.1	1.6	15.8	1.9	25.4	67.3	1.4	6.0	
		国立	27.1	52.9	1.2	18.8	0.0	29.4	63.5	1.2	5.9
		公立	25.3	47.0	0.0	25.3	2.4	14.3	72.7	2.6	10.4
		私立	30.7	51.4	1.9	14.0	2.0	26.3	67.1	1.2	5.4
	短期大学 全体	28.6	53.1	1.2	13.4	3.7	28.0	66.0	1.2	4.9	
高等専門学校 全体	29.1	52.7	0.0	16.4	1.8	25.9	68.5	1.9	3.7		
管 理 の 授 業 法 や 授 業	大学 全体	19.9	59.8	1.9	16.3	2.1	18.1	74.4	2.4	5.0	
		国立	17.6	57.6	1.2	23.5	0.0	15.3	78.8	3.5	2.4
		公立	9.6	51.8	2.4	32.5	3.6	9.1	77.9	2.6	10.4
		私立	21.7	61.3	1.9	13.0	2.2	19.8	73.3	2.3	4.7
	短期大学 全体	16.8	62.7	2.2	14.9	3.4	20.7	73.9	2.1	3.3	
高等専門学校 全体	27.3	60.0	0.0	10.9	1.8	22.2	70.4	1.9	5.6		

成績不振学生、出席状況が悪い学生や不登校の学生に対する取組

成績不振学生、出席状況が悪い学生や不登校の学生に対する取組について、大学全体では「担任もしくはゼミ・研究室の教員により面談している」が最も高い。各学校種共通して「担任もしくはゼミ・研究室の教員と教務・学生部等/学部・学科との間で、連絡体制を構築している」「担任もしくはゼミ・研究室の教員により面談している」「保護者に連絡をとっている」の割合が高くなっている。高専全体では「進路変更の相談をしている」も割合が高い。



【成績不振学生】

	教務・学生部等／学部・学科が、早期発見のため出席確認を行なっている	教務・学生部等／学部・学科が、科目担当者等に出席調査を依頼している	科目担当者等と教務・学生部等／学部・学科との間で、連絡体制を構築している	担任もしくはゼミ・研究室の教員と教務・学生部等／学部・学科との間で、連絡体制を構築している	学生相談のカウンセラー等と教務・学生部等／学部・学科との間で、連絡体制を構築している	担任もしくはゼミ・研究室の教員により面談している	アカデミックアドバイザー等専門職員により面談している	教務・学生部等の関連部署職員により面談している	初年次演習科目等の担当教員により面談している	スタディスキルに関する授業科目を開講している(正課内)	スタディスキルに関するセミナー等を開講している(正課外)	学習支援センター等により個別支援を提供している	
大学 全体	43.9	41.5	53.2	66.7	43.6	81.3	9.2	35.7	26.5	26.7	6.6	23.9	
	国立	36.5	28.2	50.6	74.1	57.6	88.2	15.3	42.4	29.4	25.9	11.8	23.5
	公立	22.9	15.7	44.6	54.2	34.9	74.7	3.6	36.1	15.7	15.7	1.2	4.8
	私立	48.0	47.1	54.8	67.4	42.8	81.2	9.0	34.6	27.6	28.3	6.7	26.6
短期大学 全体	49.7	47.2	60.9	70.8	36.0	80.1	3.7	24.2	16.1	18.3	4.3	10.9	
高等専門学校 全体	65.5	61.8	78.2	89.1	70.9	94.5	14.5	21.8	14.5	5.5	5.5	23.6	

	教職員向けの対応マニュアルを作成している	教職員に対して研修を実施している	学生向けの啓発のリーフレット等を作成している	学生にガイダンス等で説明している	保護者に連絡をとっている	ピア・サポートを活用している	休学制度を柔軟に運用している	進路変更の相談をしている	IRデータを活用した修学指導体制を構築している	学外の機関等と連携、ネットワークを形成している	その他	無回答	
大学 全体	9.9	11.9	6.9	52.4	64.6	10.1	31.2	37.4	5.4	0.5	3.2	4.8	
	国立	29.4	27.1	16.5	61.2	71.8	20.0	48.2	50.6	4.7	1.2	8.2	1.2
	公立	4.8	6.0	6.0	41.0	42.2	1.2	25.3	25.3	0.0	0.0	3.6	3.6
	私立	7.8	10.6	5.6	52.7	66.7	9.9	29.5	37.2	6.3	0.5	2.4	5.5
短期大学 全体	4.3	10.2	4.7	50.6	66.5	4.7	27.0	40.1	3.7	0.0	0.3	8.7	
高等専門学校 全体	23.6	25.5	9.1	40.0	96.4	18.2	38.2	81.8	1.8	3.6	5.5	1.8	

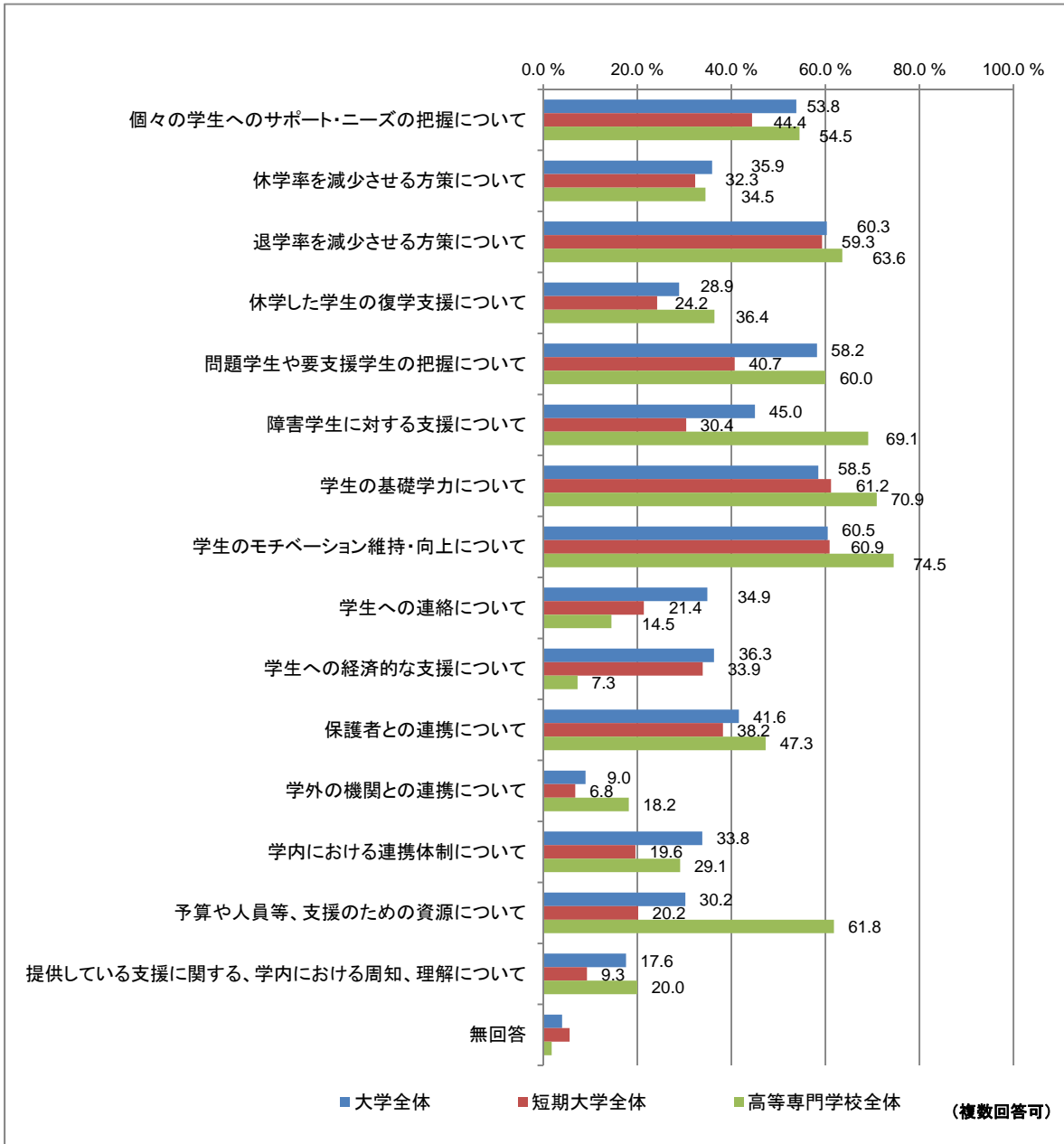
【出席状況が悪い学生・不登校学生】

	教務・学生部等／学部・学科が、早期発見のため出席確認を行なっている	教務・学生部等／学部・学科が、科目担当者等に出席調査を依頼している	科目担当者等と教務・学生部等／学部・学科との間で、連絡体制を構築している	担任もしくはゼミ・研究室の教員と教務・学生部等／学部・学科との間で、連絡体制を構築している	学生相談のカウンセラー等と教務・学生部等／学部・学科との間で、連絡体制を構築している	担任もしくはゼミ・研究室の教員により面談している	アカデミックアドバイザー等専門職員により面談している	教務・学生部等の関連部署職員により面談している	初年次演習科目等の担当教員により面談している	スタディスキルに関する授業科目を開講している(正課内)	スタディスキルに関するセミナー等を開講している(正課外)	学習支援センター等により個別支援を提供している	
大学 全体	55.3	54.6	60.5	71.1	49.9	77.6	9.0	35.8	26.8	24.8	5.4	16.6	
	国立	42.4	38.8	55.3	70.6	57.6	82.4	17.6	41.2	32.9	27.1	9.4	15.3
	公立	32.5	27.7	50.6	59.0	43.4	74.7	3.6	34.9	18.1	14.5	1.2	2.4
	私立	60.4	60.8	62.6	72.9	49.7	77.3	8.5	35.2	27.1	25.9	5.5	18.8
短期大学 全体	62.4	64.9	70.2	75.5	46.0	81.4	3.7	23.9	14.9	17.1	3.4	7.1	
高等専門学校 全体	72.7	67.3	76.4	87.3	80.0	90.9	14.5	25.5	12.7	5.5	5.5	18.2	

	教職員向けの対応マニュアルを作成している	教職員に対して研修を実施している	学生向けの啓発のリーフレット等を作成している	学生にガイダンス等で説明している	保護者に連絡をとっている	ピア・サポートを活用している	休学制度を柔軟に運用している	進路変更の相談をしている	IRデータを活用した修学指導体制を構築している	学外の機関等と連携、ネットワークを形成している	その他	無回答	
大学 全体	11.0	12.9	7.7	50.0	67.8	8.2	35.3	37.3	5.2	0.9	1.9	6.1	
	国立	30.6	31.8	17.6	60.0	71.8	17.6	50.6	48.2	4.7	2.4	4.7	9.4
	公立	7.2	10.8	9.6	32.5	61.4	2.4	28.9	26.5	0.0	0.0	1.2	4.8
	私立	8.7	10.4	6.0	51.0	68.1	7.7	34.0	37.2	6.0	0.9	1.5	5.8
短期大学 全体	5.6	10.9	4.7	51.9	74.2	3.4	32.6	40.4	3.7	0.0	0.3	6.2	
高等専門学校 全体	21.8	30.9	7.3	38.2	90.9	12.7	43.6	81.8	1.8	5.5	5.5	1.8	

成績不振学生・不登校学生に対する支援の課題

成績不振学生・不登校学生に対する支援の課題について、学校種別でみると、大学全体・高専全体では「学生のモチベーション維持・向上について」(大学全体 60.5%、高専全体 74.5%)、短大全体では「学生の基礎学力について」(61.2%)で最も高かった。各学校種共通のものとしては、「退学率を減少させる方策について」も高い。



	個々の学生へのサポート・ニーズの把握について	休学率を減少させる方策について	退学率を減少させる方策について	休学した学生の復学支援について	問題学生や要支援学生の把握について	障害学生に対する支援について	学生の基礎学力について	学生のモチベーション維持・向上について	学生への連絡について	学生への経済的な支援について	保護者との連携について	学外の機関との連携について	学内における連携体制について	予算や人員等、支援のための資源について	提供している支援に関する、学内における周知、理解について	無回答
大学 全体	53.8	35.9	60.3	28.9	58.2	45.0	58.5	60.5	34.9	36.3	41.6	9.0	33.8	30.2	17.6	4.0
国立	70.6	41.2	43.5	40.0	76.5	55.3	50.6	56.5	64.7	38.8	54.1	11.8	42.4	51.8	21.2	1.2
公立	34.9	12.0	19.3	22.9	55.4	42.2	28.9	38.6	33.7	24.1	30.1	2.4	32.5	19.3	12.0	4.8
私立	54.1	38.6	68.6	28.2	56.0	43.9	63.8	64.2	30.7	37.7	41.5	9.6	32.8	28.7	17.9	4.3
短期大学 全体	44.4	32.3	59.3	24.2	40.7	30.4	61.2	60.9	21.4	33.9	38.2	6.8	19.6	20.2	9.3	5.6
高等専門学校 全体	54.5	34.5	63.6	36.4	60.0	69.1	70.9	74.5	14.5	7.3	47.3	18.2	29.1	61.8	20.0	1.8

(単位:%)